

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-155)、  
廃棄物管理施設(130)、MOX燃料加工施設(2-107))」

2. 日時：令和6年2月22日(木) 10時00分～12時00分  
13時30分～18時00分

3. 場所：原子力規制庁 7階会議室、10階会議室(TV会議により実施)

#### 4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他11名

三菱重工業株式会社

原子力セグメント 安全高度化対策推進部 主幹プロジェクト統括  
東電設計株式会社 土木本部 耐震技術部 部長 他1名

#### 5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和6年2月21日及び当日提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・設工認申請の対応状況(次回審査会合での説明事項)
- ・設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の設計項目の整理方針
- ・今後の進め方

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・設工認申請の対応状況のうち、地盤モデルの説明内容については、単に結果を並べるのではなく、その妥当性の考え方がきちんと説明できるように、内容を精査して整理する。
- ・設工認申請の対応状況のうち、申請対象設備に係る具体的な設備等の評価の説明内容については、評価における代表以外の差分の視点や各種数値等の根拠を拡充しつつ、後次回の申請対象設備との関係性等を整理して今回の説明範囲を明確にする。また、グローブボックスの耐震設計の説明内容

については、次回会合では基本的な設計概念の説明までとし、具体の設計の考え方は次々回の会合で説明できるように作業を進める。

- ・設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の設計項目の整理については、第36条の多様性、独立性、位置的分散に係る基本設計方針に対する具体的な対応を、重大事故等対処設備の機能に係る各個別条文への対応を踏まえて整理して、設計基準対象施設の設計項目への紐付け等の整理を進める。
- ・今後の進め方については、当面の課題やそれに向けた作業を整理しつつ、次回以降の審査会合での説明方針を明確にした計画を立てる。また、類型して説明する際の代表設備選定については、申請対象設備、各条文の説明すべき事項及び代表選定の視点の関係性の整理を進める。

## 6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

## 7. その他

提出資料

「DB/SAの設計項目の整理方針」

## 参考

- ・日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)
- ・日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)
- ・日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)
- ・日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)

- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)

「日本原燃(株)から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書(令和5年2月28日)

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000242.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html)

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書(令和5年2月28日)

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000243.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html)

- ・ 令和6年2月21日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	規制庁の、それは日本でネットのヒアリングを開始します。
0:00:05	本日は、
0:00:07	では4年12月26日に申請のあった、最終移設及び管理施設、また、
0:00:16	令和5年、
0:00:19	2月28日に申請のあったもうイセ
0:00:20	で、
0:00:28	昨日の、あとは本日ですかね、提出された資料をもとに、事実確認
0:00:29	です。
0:00:39	出席者ですけども、規制庁会議室側から、コウノキシノハバサキコウは
0:00:42	補足関係。
0:00:46	まだ後コードハセガワがあります。
0:00:47	あとウェブから、
0:00:49	ます。
0:00:57	それでは日本原燃
0:01:00	から、まず出席者の紹介と、議題の紹介ぐらい。
0:01:05	はい。日本原燃事務局の中浜です。
0:01:10	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:11	自タイミングチームより、
0:01:15	伊シハラ。
0:01:19	サポートメンバーといたしまして、タニグチオガセ。
0:01:22	三菱重工様よりサトウ様。
0:01:24	東電設計様より、
0:01:31	宇野様、真下様。
0:01:33	午前中はWEBからの参加となりますけれども、Steeringチームのハセ
0:01:38	ガワイシカワ。
0:01:49	イシグロタカヤ。
0:02:01	再処理MOXの事務局参加させていただいてございます。
0:02:08	本日午前中にご確認いただきます資料でございますけど審査会合資料
0:02:10	ですね、こちらの共通中にパートの部分と、一番のパート、
0:02:13	及びグローブボックスの耐震関係評価スパンですね、こちらの資料のご
0:02:17	確認をお願いしたいと思います。
0:02:17	以上となりますよろしく申し上げます。
0:02:17	規制庁川部です。
0:02:17	今、今日、
0:02:17	はい、乳井西田でございます。本日、
0:02:17	午前から抜けてありますので後、

0:02:19	ディー・ディー・エスへの設計項目の整理の話、あとは今後の進め方の
0:02:27	本文とあと別添がついてます。それが全体になります
0:02:33	午前中を関係ということで、
0:02:37	まずは、
0:02:39	構造設計等のところですけど、最初何か説明すると、あまり時間もないんで、特にはい、ありません。はい。
0:02:48	あれば、規制庁側から何か、確率の資料に対して何か。
0:02:54	規制庁の荒井です。簡単に確認なんですけども、
0:02:59	大分フローとかをまとめていただいてわかりやすくなったのかなとは思っていますね、代表のところ少し確認がありますので、少し、
0:03:10	時間をとらせていただきたいと思います。18 ページ目。
0:03:14	ですかね。
0:03:19	代表の指定を書くときに、一つの二つ目があると思うんですけども、
0:03:26	別途進めかたの日アノアノ資料として取りまとめている。
0:03:32	支店のどれに該当するのかっていうのがいまいちよくわからなくて、これは資料 4 に特有する視点での、
0:03:40	代表の整理っていう考えでいいですかね。
0:03:43	ニシダでございます。どこまで、何でしょう、努力する川白特異な医師の考え方は基本同じだと思ってますので、説明すべきご事故に対して、網羅的に説明できるものを、まずは代表ですね。
0:04:00	Dの項目の中で、差分として示すものがあれば差分として取りをするというようなことだと思ってますんで、
0:04:07	あとは設計項目、説明性項目、漏らしたと言いながらも、もう一つ、別にまた代表立てないと全体が網羅できないようなものがあれば、代表がダブルになったり、三つになったりということだと思ってます。
0:04:21	はい。
0:04:22	わかりました。ここは網羅性というところで一応書いてありますので、最も包含できるっていうところの要素が、ベップ含めている進め方の方で、そっちもセットしたらですね、そことのリンクが図れるように、今後
0:04:37	精査を進めていただければいいのかなと思っています。
0:04:42	コサクですけど、
0:04:44	代表はまだいいんですけど差分が書いてないので、はい。これだと全体の構成がは説明できないから、差分をちゃんと書いてください。
0:04:53	それによって次の 19 ページ。
0:04:56	に繋がるという、いうことで、ここでもうちょっとちゃんとですね、どれが代表で、差分は何のために、うん。はい。どこで登場するのかみたいなのがわかるようにしてもらわないと、その次から見れません。

0:05:10	はい。与儀西原でございます。はい。特にそうですね、19 ページの表の中で、
0:05:15	差分の目的みたいな、ちゃんと書いて、次につなげる。
0:05:19	はい。
0:05:21	はい。
0:05:22	規制庁新居です。それで差分の話も言ったので、ついでに 16 ページ目。
0:05:27	携帯容器の話が代表設備の差分として書かれているんですけども、
0:05:33	差分を抽出した理由っていうのは、ここになくなってですね、何でここに登場したのかっていうのが書いていないと。
0:05:42	はい。一方で 38 ページの欠損部の方は、ちゃんと代表設備は巻末の運用がないので、一応 29 を用いて差分を示すっていうところを書いてあるので、同じようにこちら整理をお願いしたいと思います。
0:05:57	はい。
0:05:59	これも約束だったら、すいません。
0:06:01	はい。
0:06:04	はい。
0:06:05	それで、もう一つ最後なんですけど、換気設備関係の話で同じく代表選定のところなんすけど 65 ページ目。
0:06:16	あの換気設備の評価対象って結局、排風機、三種類っていうところもあるんですけど、
0:06:23	代表の選定の視点がいまいちわからなくてですね、(2)代表設備の選定というところで、代表を設定する側の後の文章のところ、いまいちピンとこなくて、
0:06:35	別途取りまとめるあの説明会型日アノ代表の視点使って、言わんとしてることってシンプルな形に出すことできませんかね。
0:06:45	要するに、要求に対して一対一の設備であることからなんですかねここは単独で代表とする。
0:06:52	日本ニシダでございます代表の説明でいくとどちらかというと系統で繋がっていてその系統全体としての説明が必要だという項目が確かあったと思うんですけどその絡みが、
0:07:04	この換気設備なのかなと思っています。ちょっと、おっしゃっていただいてる通り、代表をどう考えるかと。
0:07:10	いうところ、あとグローブボックス工程室建屋、それぞれ村瀬という意味では全体カバーできるものがあるかないかも含めて、
0:07:23	代表 1 個ではなくて、系統ごとに全部やるのかどうかということの全体の説明も含めて、拡充したいと思います。

0:07:31	はい。結論は多分これでいいのかなとは思んですけども、そのロジックダテってところが、もう少し明確化するといいのかなと思った次第です。私からは以上です。
0:07:42	コサクです。
0:07:45	これもさっきと一緒にですけど、代表としてはそれぞれ上げるものの関連する事項があるのは法律的にまとめますと、いうことと、あと、これ、系統でいうと、確かに排風機としてはこうなっちゃうんだけど、
0:08:00	その説明の中にはグローボックスだったりなんアノた部屋だったり、
0:08:04	かなりの数があって、それも代表です。なん内数としての代表の説明を、
0:08:11	していくと。
0:08:12	いう旨は書いておかないと、これ以降のページで、何でこれだけ説明してほ
0:08:17	もっとぶら下がってんじゃないのみたいなことになるので、
0:08:20	その点もちゃんとここに書いて、
0:08:24	この資料全体としてどう、
0:08:26	説明していくつもりなのかおわかりしてください。
0:08:30	はい。乳井ニシナでございます承知いたしました。はい。おっしゃっていただいているグローボックス、負圧のやつなんかは、
0:08:36	301 個の中で一番でかいやつで代表してみたいだ。一律それでやりますよと言っているのも、当工程室建屋も、境界にあるところを代表にしてやりますみたいなことになって、
0:08:46	その説明が繋がるように、整理をします。
0:08:56	はい。他規制庁側からあれば確認をお願いします。社長からです。
0:09:00	今回追加されたところで幾つか確認させてください。まず 4 ページ目の、
0:09:05	最初に廃棄物管理の状況を説明しているところで、
0:09:09	上のポツでは、外部衝撃に係る説明グループ一応説明の体系的な整理を進めているってあって、
0:09:18	二つ目の矢羽根のところで外部衝撃等の説明すべき事項とひもづけってなっていて、この等は溢水を表現しているんですよ。
0:09:28	上からの津波、はい日本イシダでございます。はい。ちょっとやってることを、
0:09:35	こう思いながら書いてるのであわせて外部衝撃以外のものも含めて紐付けをしようとやってることと、今説明対象にしているものとの関係がちよっとミスマッチは、おっしゃっていただいている通り、

0:09:47	文章を一度お願いしますはい、規制庁笠野今のミスマッチの件がされるように、どちらかで調整いただければと。
0:09:55	あと5ページ目の、
0:09:57	上の1ポツのところを追加されたところの及び以降のところは、
0:10:02	前のところとの関わり方がよくわからなくて、はい。続き評価等に係る説明事項の整理及び、また同じことを書いてるんですね。はい。なので、この辺は、
0:10:14	フィックしたっていうことがお金がいっぱいなので、そういうふうな
0:10:18	うん。がちゃんと伝わるように、
0:10:20	直していただければと思います。
0:10:23	はい。入園者ございます。ありがとうございます。資料4自体の拡充と、その資料4の家庭での指導さんへのフィードバックみたいなことがわかるように、端的に方お伝えすればですね。
0:10:36	あと6ページ目の、
0:10:38	上の、
0:10:39	一番上に追加された矢羽根のところも何か、
0:10:42	ルールが伝わらないけど及び及びなってるから、一番の要因だと思うんですが、ほぼ、
0:10:49	何を、
0:10:50	説明したのかっていうことをもう少し端的に、
0:10:54	説明いただけると。
0:10:55	はいます。
0:10:58	聞いたところで、
0:11:00	流れとして気づいたところはそれぐらいであとその詳細のところ、昨日のヒラモトナガエで確認したいんですがちょっと午前中に1点だけ、
0:11:14	搬送設備の受けた処理を、今回、前回議案を踏まえて、ちゃんと整理していただいたところではあったんですが、
0:11:23	説明、
0:11:28	注釈4にして、ヒグチであることを示すため小数第3位まではちょっと乱暴で、前回の部屋での通り、その有効数値の考え方が、
0:11:40	これだとおかしくなってしまうので、
0:11:42	あくまで有効数値が3桁以上の場合で、99.99。
0:11:48	よりも、
0:11:49	オギ場合、
0:11:51	について、ちょこっとつけて、その下の懈怠で実際の受けた処理は、
0:11:57	その少数からさらに下の方の切り上げだっということがわかって統一的な経過処理がわかるようにすると同時に、



0:12:05	有効数値がちゃんと担保されている範囲内で、ここまで見てます 4 の 99 億。はい。
0:12:11	ちゃんと説明していただければと思います。はい。
0:12:14	午前中は、私から以上です。
0:12:20	コサクです。最後の件はそれ、素行もそうですけどその前に、数ページにわたって、
0:12:27	書かれている内容が大事なんですけど、それが的確かどうかってのはちょっと私には、ぱっと見てわからないので、午後に話を聞かせてもらえればと。
0:12:38	僕も佐藤さん来ていただい
0:12:43	はい。よろしく。
0:12:45	その前の最初のページ、
0:12:49	ですけど、
0:12:52	日、前回のヒアリングで話してたのは、4、特に 4 ページ。
0:12:58	グループ 1 もっかい、違う。
0:13:00	やっぱり、再処理のグループ 1、
0:13:04	ライン、
0:13:06	について、
0:13:08	なんで、
0:13:09	遅れてるのかっていうことがわかるようにということでしたけど、これやってる項目が書いてるだけで、なんで時間かかっているのかわかんないんですけどそこをどう考えています。
0:13:19	はい、乳井西田でございます。はい。おっしゃっていただいているんで一番は、一番最後の矢羽根ですかね。これがちゃんとできてないっていうところで今、時間がかかっていると、あとは
0:13:31	一番上の代表差分の話の整理っていうのが、体系的にまず、考え方も含めて整理が、次、時間がかかっていると。
0:13:40	そういうところ時間がかかっている要素が何かを明確にこの中にモリタて記載をしたいと思います。はい。
0:13:47	はい。
0:13:52	と、あと、6 ページの、
0:13:55	グローボックスの件はこの後、話をしますので、それを踏まえてどこまでの説明というつもりなのかが明確になれば
0:14:06	加えるということで、数字となっていないんでしょうから、まずその理解できますのでよろしくお願いします。以上です。
0:14:15	生協関係ですけども、
0:14:17	49 ページのところ、タナオカ、

0:14:24	なんで、
0:14:25	建築基準法施行令の方、
0:14:28	ずっと行って、教育要求かかってて1時間1回程度のっていうのはわかるんですけど
0:14:34	汚染発生時の空気を希釈できるHuberとしてってということなのかなと思ってるんです。
0:14:42	はい、西原でございます。ここも昨日もお話をさせていただいて、
0:14:48	汚染された空気の希釈って、汚染されてない家の話を一番下のコミュニティっていうのについていうのはちょっと、
0:14:55	ミスマッチがあとグローボックスでのイチカワて6回も、そもそもどうやって設定したんだっていう、
0:15:02	話も含めて、今の正しく整理をさせていただいてますので、
0:15:07	はい。この
0:15:09	意味も含めて、はい。整理しますと、規制庁さん。
0:15:13	根本的なヒガシ吉年目の思想っていうのは、万一汚染があった対策としても、コサクラ不適。
0:15:25	あの子他の説明しただけでも分って思うんだけど、これを書いてるだけで何かそもそも、
0:15:32	わかってる。
0:15:33	すごい。はい。
0:15:39	前鶴。
0:15:45	補足ですけど、今の徹底、いつ、
0:15:48	消えるんですか。
0:15:49	月曜日提出するまでにちょっと整理をしてはい何と申します。
0:15:54	はい。
0:16:02	学生とか、他はないですか。
0:16:08	では、
0:16:11	これ、地盤の方ですか。
0:16:25	普段説明を、
0:16:29	思います。はい。現在、ノモトでございます。昨日提出させていただいた場合ですね、今日フルセットという形で今回お出ししてるんですけども、若干まだちょっとですね荒尾取りきれないといいますが、
0:16:41	ハヤシ気づけないところがございます。ちょっとスタッフと、ちょっとどういところがになってるかというところだけ、冒頭に説明させていただきたいと思います。ですね、まずですね8ページなり、

0:16:55	10 ページにあるQRの形のものを、冒頭にお示してるんですけども、これ後のですね 1 ポツ以降に、フクイコマツかという疑問を反映したいと思ってるんですけども、
0:17:06	ちょっと何か 1 のコメントそれから 7 番のコメントがまだちょっと後ろに溶け込むか、長谷南波後にまたつけ込みが、ちょっと完成してないのとあとナンバー1 のところですね、これうち後に飛び込んでるんですけども、
0:17:21	むしろ、どこに溶け込んでるかという記載がですね、今この 8 ページの方にはないというのはちょっとまた仕事に聞いたことありますんでそういうのは、整合性を行って参りたいと思います。
0:17:33	それからですねえと、それはちょっとどういう場合、
0:17:38	ナンバー3 とか 12 ページにありますけど、この 10 ページはなくなる。
0:17:42	No.9 ページですか。これはこのまま残ります。ただ、後のですね、2 ポツ以降のところですね、この内容っていうのは、結局あれです。内容が確認されることになるので、
0:17:56	2 ポツ以降、看板みたいな形で、きちんとですね反映する形で、2 ポツ以降に反映したいということです。
0:18:04	はい。
0:18:08	はい。それが 1 点目でございます。それからですね、この資料の中で、前回会合資料に対して加筆とか、いったところが書いてるところがあるんですけど、どこが課されているのかというのが見えてきてない状態でございます。これ着作業して、
0:18:23	すいませんけど月曜日の提出版に反映したいというふうに考えてございます。
0:18:28	それがですね、194 ページ以降の、はい。はい。
0:18:35	全部。
0:18:36	深井規制庁のハセガワですけど。
0:18:38	前回の別に過失なくて、
0:18:40	今回毎回さ前じゃないじゃないんだけど、はい。
0:18:45	今回で完結してるように出してるから、別にそんなのどうでもいいんじゃない。
0:18:50	はい。リバイスした形で今回お出した資料と、
0:18:55	ようだ。
0:18:58	常に、この資料さえ見ればいいんじゃないっていうことでやってるんじゃない。
0:19:04	はい。その通りでございます。

0:19:08	だからもう前回使わなくていいでしょう。前回の再掲というやめて、もう一式新しい、
0:19:14	になってるんでしょ的ななんていう、だからさっきの1ポツの指摘の回答っていうのもね、全部溶け込めますよってということなんじゃない。
0:19:27	そんな毎回加筆修正化して修正した加筆修正だけになっちゃうんですよ。
0:19:34	すべて。
0:19:36	見えるような気がするけど、そうすると、コメントを受けて、検討した結果、それらを以前お出した資料のリバイス版を再提出。
0:19:47	ということが書いて、日本サンポスズエベッショしてきたんじゃないかなと思ってんだけど、
0:19:54	そこは好きにしてるんです。
0:19:59	ちょっとあのやり方考えさせてもらった総会で、もう新しく出し直したというスタンスで、
0:20:04	オーガナイズ。
0:20:09	いや、検討は要らないんじゃない。
0:20:12	オーバーライドをいたしますので、この資料はそういうものであるということがね少しわかるような形でということがいいかなというふうに思っております。
0:20:23	杉下。
0:20:25	毎回そうだ。
0:20:30	それからですね続けてですね194ページからのですね信頼区間の記載のところはですね、これ我々の中でちょっと整理がきちんとできてないところがございます。
0:20:43	とですね記載が少し揺れているところがございまして、ですね、ちょっと我々の中でも整理しまして、もうちょっとこういうふうに修正したいなというところを、
0:20:53	考えてございましてそれをすいません、ちょっともう口頭で申しわけないんですけども、お話をさせていただきたいと思います。194ページにつきましては、図が三つありまして、これ、
0:21:05	そうですね。アビルのベップ定数を、
0:21:11	これを設置していく上での、このプロセスを追って書いてるところでございまして上から二つ目の図それから下の、最後はカセず、これにつきましてはですね、これ肥後Cさんの
0:21:26	このデータですね、信頼区間の話とも縁が切れていると言ったらあれなんですけれどもちょっとここではもう書くことはないということでこれはアノザイゼンアンドウ作業したいというふうに思っております。

0:21:38	それから 195 ページのですね、藤ヒガシさん、これも同様でございます。これを含めまして 195 ページ、2 番の部分もですね、ハッキングはもうピンクのところが入る形。
0:21:50	になろうかというふうに思っております。
0:21:53	それから 196 ページでございますけれども、これ右下、明キタニですね岩盤部分の構成の非線形性というタイトルでこれ、これ線形でやりますということで下線を引いてるんですけどもこれ、
0:22:06	設計でやりますということを宣言させていただいてるところでございますので、ここで採択は岩盤部分の剛性についての説明であるということなので非線形性といったような、
0:22:17	ちょっとタイプが不適切なんでこれは相神たいというふうに思います。
0:22:20	それからほとんどですね、井清系のグラフをちょっと重ねられておりますけれども、これは適当にウタいいのかというところでいくともうここは選挙に設定しますということを言いたいだけではありますので、
0:22:32	これもですね、これは不要であるというふうに考えているところでございます。
0:22:36	また、ところのですね下側の真ん中のオオシマ区間の入ってるのもこまでのものと平仄を合わせたいと。
0:22:44	いうところでございます。
0:22:45	最後はもう 1 点だけなんですけれども、とですね。
0:22:50	200 ページのところのですね、ここはですね、その赤線で徹底したこの減衰定数に、
0:23:00	なって、これは金この伝達関数の比較による検討を、について、このですね、②のエリアについて、
0:23:16	の説明をしようとしてるところでございますけど、これ 195 ページの①のエリアと、これを導入してるものでございますけどもともとですね、この定評自体が、
0:23:30	伝達関数、すいません。観測記録が見られているエリアに田井に、でやるべきものであると。
0:23:40	いうことを踏まえましてですね、②とか③とかそういう、観測記録が来ていないエリアでですね、何かあたかもですね①と②を比較してといったような、ちょっと記載をちょっと不していくというのも、
0:23:56	ちょっと混乱を招くだけではありますので、ちょっと冒頭のところで、その中央エリアについては、このですね、各局のをとらえているエリアでこれ、
0:24:08	研究すると、いうことを設定した上で、このですね、検証内容というのは丸井家に入っていくと言ったが、構成にした方がいいんじゃないかという

	ところがちょっと整理していくとこんな形でお出しさせていただいていると、いうことになりましても 100、
0:24:23	ございます。ご説明以上でございます。
0:24:28	はい、では、規制庁側からお願いします。
0:24:33	はい。規制庁浜崎です。ちょっと今、野崎さんの話ですけど、例えば 74 ページ。
0:24:41	これに対する加筆で回答ということで、今回右下の図面と追加されてですね、対象建屋の周辺の断面変化、
0:24:53	追加されたと。
0:24:54	さっきこれ管理課が話があったように、これはもうこれで新しい資料という、
0:25:00	ならば、わざわざ右上にこんなこと書く。
0:25:03	思います。はい。
0:25:06	書くべきものとかからなくていいの。そこきちんと使い分けて、あと、書くならばやっぱり何を開発したのかわかるような形で、それが必要なと思いますんでそこは精査してくださいという感じです。はい。
0:25:19	ありがとうございます。はい。規制庁野辺です。もう 1 点最後に説明された 200 ページの話は、結局、中央エリアについては中央中央 0123%がある中で、
0:25:32	①しか地震断層加えられてないんで、
0:25:36	一応②とか③に関しては、例えば 200 ページの図は出てこなくなるという理解でよろしいですか。①の結果だけで、危険性を決めますと。はい。
0:25:46	はい、わかりました。じゃあその修正の方、お願いします。とりあえず以上です。
0:26:01	ページで、結局道路中央②の赤線タケノ。
0:26:06	290 万円でございます。はい。ホームページそのものがなくなるということだと。
0:26:15	うん。
0:26:16	100 ページですね、中央②の、
0:26:20	説明ですよ。はい。
0:26:23	今、10、今、中国の減衰、
0:26:26	定数。
0:26:29	これはどうやって作ったなくなるんだ。
0:26:31	この 1 点、
0:26:33	県の岩瀬ですけど作ったものについては 199 ページで線ひい田丸の配置シナリオは書いておりますので、はい。99 ページの右下の洲鎌で管理をするというそういう位置付けになります。

0:26:44	この比較をするっていうプロセスが無駄だと思います。はい。
0:26:59	修正の話をしてるからさ、ついてるんですよ。
0:27:03	3 機能例示だけしか。
0:27:06	ちょっと、
0:27:09	全然見てないんで、
0:27:11	あとさ、
0:27:12	グラフの中にいろいろ説明文が入ってたよね。
0:27:15	いろんなところに、こういうのは要らないんだよね。
0:27:19	うん。
0:27:21	こういうのを書きたいんだったら、ねえ、ちゃんともう文字にしてさ、横にやらないとさ。はい。
0:27:29	無駄な説明だし、みんなここに入ってる。
0:27:32	無駄な説明によってさ、グラフがちゃんと見れなくなっちゃったりさ、するわけだよね。
0:27:40	ていうのとそれでささっきの、例えばさ、
0:27:44	今ちょっと開いたやつだと、196 ページのさ、
0:27:48	結果なんだけど、
0:27:53	岩盤部分のこれ、合成の何か非線形性いらないけどこのグラフ自体はさ、どうなんだ。いらない。
0:28:00	推計だからね。
0:28:03	設計だとどうなっちゃう。
0:28:06	結論としては、下の段、ここむしろですねトラブル兜岩を引きで帰ってしまうというのがおそらくインチキだとか、
0:28:17	あくまで元年度オガセですけど、ここでグラフにしますと、赤線だけが残るといふところになってしまってあまりグラフとして意味のないものですので、上の、196 ページの上の表の中の剛性低下率の中で線形条件と書いておりますのでこれでもう十分必要 10 分は出している。
0:28:32	いらないんだよね。
0:28:36	いふのとさ、次の岩盤部分の減衰定数ってなんだけど、各手法の信頼感を踏まえた減衰定数という意味目指さ
0:28:45	ね、そこ、こういうのも、
0:28:48	うん、決めたやつですよ。これですね。いや、決まってるわけでしょ。なかなかそういうのも、
0:28:54	コマタセンナ。
0:28:56	説明とかもあるし、いろいろなんかいらないやつがちょこちょこ入って、
0:29:01	で、
0:29:02	むしろさ、

0:29:04	この上のAのサービス、地下構造とさ。
0:29:07	隣の表のさ、標高合わせたほうが面白いよ。
0:29:12	うん。
0:29:14	元のってございます。これ、確か前回、ここは分けて合わせるのが大変だっというんだったら別にいいけどっていう、むしろそういうふうに使って欲しい。はい。
0:29:25	どこに対応するか見えるように破線でこのレベルに対応するよとかって表とつなぐとかいろいろやり方あると思うので。はい。対象です。
0:29:35	パッドに使ってるんです。
0:29:38	他にも何かあってますし、
0:29:44	でさ。
0:29:48	ホンダ行く。
0:29:51	問題の話をしますか。
0:29:55	全部さ、6%でセットして、
0:29:58	5%になって、
0:30:00	中央っていうのは昔からずっとデータもね、見てた。
0:30:05	だからさ、それほど違和感はないんだけど、中央エリアってやつはね。
0:30:10	分子とかヒガシとかっていうのがさ、何でこういうふうになった可能性を説明してなんでさ、ヒガシとちょっと違うよねいろいろ様々なデータ見えてきたんでさ。
0:30:21	ちょっと違いはあるよね。
0:30:23	なんででもさ、何でこれがさ一緒。
0:30:28	とか、感じたやつはね、6が5という
0:30:32	のが4とか、
0:30:33	世界にもあり得るんじゃないかな。
0:30:38	最初から5で設定して、朝、何か、
0:30:42	みんな僕で設定してる一さ、同じにする根拠はどこにある。
0:30:50	玄加瀬です。今なんですけれども、7ポツの、例えば5なんかを、
0:30:56	なければ土佐 263 ページ。
0:31:01	はい。
0:31:02	で、これヒガシ-01 というエリアなんですけれども、今回どういうふうはこの一定減衰弾いてみようかというので我々と6%ナカ君内で聞いたわけでは実態ないです。
0:31:13	実際そのいわゆる周波数依存性が見えてくる中でもし見えてくる周期体で、しかもなおかつ建物の保有周期田井っていうところを見てみたら、たまたまどンドン、



0:31:23	エリアも6番タグチではないよ。だったんですね、なので、⑥に書いてある、それ。
0:31:29	はい。各グループ個別にどこに書いてあったんで、今のオガタのご説明は263ページですね矢羽根の中の説明を入れさしていただいたところになってまして、
0:31:42	ここで一定のところといたしまして伊ワマの一つ目でこのポツ二つのところで、今言ったようなお話を聞かせていただいてこれはグループごとにデータを見たときに、
0:31:54	結果的に同じような文章にはなってますけれども、それぞれのデータに対応したヒロキというふうに考える周期もそう。
0:32:01	ちゃんと表に入れた方がいいよね。
0:32:04	うん。
0:32:07	むしろサービス、最初の6ポツの里コウ
0:32:14	全体が、
0:32:15	これ何建屋がよくわかってます。何を入れるんですか。
0:32:21	これだから、例えばヒガシとか土佐CEAとかCBとか、三重とこうみんな入れとかないといけないよね。
0:32:32	皆さんカシマはまってるのでね。
0:32:35	例えばアノ田丸ベップ世界が言ってるんでしょ。
0:32:41	ね。
0:32:42	4から4クノチートですとかさ、そういうことではないんでしょ、何々から何々って言うてるぐらいだから。そうですね。だからそういうところをちゃんとチェックしてるんですかっていうことなんだけど、どうなの。
0:32:54	してますな長い施設の下例えば排気塔みたいのが実際あったりします。ただそれはいわゆる1秒とかのところで、長い方なので、おっきい方に行くってところがあるので、
0:33:07	現状規模でちょっと進みでね、
0:33:11	やったね、重要な部分っていうのが、
0:33:17	そういう説明にあるんでしょ。
0:33:19	これ、データがね、どこに書いてあるんだ。
0:33:23	それがすぐね、ちゃんとわかるようになってないんで、今は日程的から出てきたんだけどね。はい。
0:33:31	こういうところさ丁寧に、何かさ、基本的なルールなり、そういうものをです、やっていくわけじゃない。そのルールっていうのを、
0:33:41	がね、結果が重要ではなくて、そのルールが、
0:33:47	なりの考え方っていうのが、我々との関係で、許容できるかどうか。

0:33:54	そのルールに当てはめればそんなに間違いはないよねとか、そういうことなんじゃないの。
0:34:00	そこが重要なんだよね。それであと当てはめなんだよ。うん。
0:34:07	細井です。ごめんなさい。いやいや、今の点で、
0:34:12	考え方が私はまだわかってないんですけど、
0:34:16	このポツで書いてあるのを、宗派隣臓セイノ傾きが大きく変わらずっていうのは意味があるように、まず今の説明で思えない。
0:34:24	ということと、
0:34:25	主
0:34:28	その特性、周波数特性を踏まえると、
0:34:32	多種、
0:34:34	周波数が小さいもの、周期が小さい短周期側、
0:34:39	のものを意識をする必要があるんです。
0:34:42	ということで、
0:34:45	それ、この他、モデルの範囲に於いて、どうなってるかっていうのを整理しますというのがまずありますということで、先ほど管理課言われたように建屋それぞれどうなってんですかと。
0:34:58	いう話が、まず最初はないとおかしいですよということだとは思いません。で、これ、
0:35:05	その上で、ずっと前からですけど、一次周期でフクイでいいの。
0:35:11	いう話があって、それクリアにしないと結局ここで、
0:35:15	設定しますっていう説明にならないと思うんですけども。はい、原燃のオガセです言葉が足りませんでした。あくまでこの青線の一定の、何かしら何%かの線を引くときってのは、その目安として、1回いわゆる一次固有種、
0:35:28	とか、その散乱減衰が卓越し始める周期体での数字を聞いたら6%だったというところなんですけど、多分今小阪さんおっしゃったところの本質っていうのは、じゃあ、短周期側でちょっと、
0:35:38	減衰を大きく評価してるじゃないかというような話、あと、高振動数成分違うなら高次成分か何かを見ていくと当然この青線のほうが減衰大きい周期に当たってくるじゃないかというようなところの、
0:35:50	危機というかそういう課題が残っている。それを、この応答スペクトルという右側のところで、実際全周期の応答スペクトルで見たら、そこが、いわゆる過小評価にならないか、そういうようなところの確認をやった上で、ちょっとだけこの短周期側で減衰が大きく評価されているけどそれは地盤応答に影響を与えないんだから、全周期体としてこの値を使っていいんだ。

0:36:09	そういうような考え方になりますその辺がちょっとまだ、すみません、かけてないのがあと補足です。今のだと、管理課の先ほど言った結果でしか説明してないっていう感じ。
0:36:21	な
0:36:22	今の言い方だけでは、考え方が残っている。なので、まずは
0:36:28	一次がどれぐらいの企業であり、二次三次はどういうことなのかっていう基本的な特性っていうかですね、いうことをちゃんと説明をして、
0:36:39	はい。なので、まずは一次で設定をして、
0:36:44	その上で本当に影響がないかっていうのを確認しますというプロセスをちゃんと説明をしていただく必要があるんじゃないかなと。
0:36:53	よくわかりました日本原燃オガセ、何でもまず一次をあてにしたのかっていうところの考えが多分そこに、その前に入ると思ってますので、はい。そこを変えていく上でやりますんで多分それは多分7ポツの、
0:37:04	全体の多分方針的なところをちゃんと書いてあげるべきだと思うので、やはりそういうふうになれば、規定に収まるかと思いました。はい。
0:37:13	だからといって、二次とか三次とかさ、CX係数で流行するとかコウとしてる。いえ、ぜひそこまではやるちょっと言葉で言うてみてどうということ。
0:37:23	コサクの言った工事性ね。どういうだろうと思いますし、今元オガセですけど、今管理官おっしゃった刺激係数とか高次成分ごとに神経するとかあるんですけども、これっていうのは、
0:37:37	1個1個の数字を出すことに正直意味があるとは思っていません。ただ、うちの建屋内にある建屋の組織係数とかの傾向というのを調べてもわかっているところがありますので、
0:37:47	ちょっと実際どうなってるかな、わかんないですけど例えば一次と二次で刺激係数がワンオーダー違うような感じになっていて、だからもう一次による振動がうちの手やというのは支配的なんだとか、言えればそれが根拠になるかなとか。
0:37:59	これ根拠じゃないルールだね。
0:38:01	うん。
0:38:03	名倉例えばだからさ、一次と二次さ、要は、聞き方みたいのがさ、結局刺激係数がまあね有効質量とか、そういうそういう寄与率みたいなやつがあるわけだよね。
0:38:15	それは例えばも9割以上とか、8割以上とかっていう、なんかさ、すごい簡単なルール化しちゃえばっていうことなんでね、ここを東部の
0:38:26	一次がもう80%以上で一時決まっちゃうんですよっていう設計、多分そういうことを言いたいんだと思うんだよね。
0:38:37	そうすると20%ぐらい大したことないよねっていう。

0:38:41	多分そういうざっくりしたルール。
0:38:44	でしかやってないんじゃないのか、体験に終わらせるおっしゃる通りです。一時を見たところの根拠はそういうざっくりとしたというふうに基づいてます。それが今、自分たちの建物を全部見ていくと。
0:38:55	うん。もうみんなね、すべてがこうだからっていう、共通のルール化みたいにできるっていうことだよ。
0:39:03	排気塔なんかはちょっと違うかもしれないけど、
0:39:07	うん。
0:39:08	違うかもしれない。
0:39:11	ちゃうかもしれないけど、ここでは減衰がでかいほう行ってるわけだから、違う部分なんだよ。はい。
0:39:17	そのイレギュラーです。はい。ヒトミ田井のやつはね。だからね、
0:39:22	イレギュラーとして別のルールでっていうだからどのルールに当てはめたんですかっていうのが、
0:39:29	ちゃんとわかるようにしないといけないんで、そうすると簡単なんで、ルールだけコミットすればあと当てはめだから、
0:39:42	前年はそういうルールがないんだよ。
0:39:46	資料。
0:39:54	それだけです。
0:39:56	規制庁の野木です。
0:39:59	これ、
0:40:00	減衰をです 263 ページ経験しやすい定年制という土地を一つに使用しようとしてルールを決めましょう、それは建物の塩素でずタテなどという振動数なり、
0:40:13	これ
0:40:15	こういう特性との対応で決めましょうと。
0:40:19	決めます、ルールこれは一つあると思うんですけども、
0:40:22	今ここで考えとしてはやっぱり設計を地盤モデルなんで、地盤の特性として、ここは、
0:40:29	アノでもいいんですが、ここは 5 ですと、というような、
0:40:32	そういうアプローチの方法ってないのかなと。要は、
0:40:35	極論しちゃうと、建物が変わっちゃう。いや、地盤モデルまた変えるんですかね。そう。そういうことです。それ、前、松本さんも言われてましたけれども、例えば、
0:40:48	これ、昔やってたんですね。私はそう言って件数 1 と同じだったら、中央下水。
0:40:55	小さかったんですね。

0:40:56	6.1 オオクマ 6.78 に対して、当然、5.5 あるわけですよ。
0:41:04	そういったところも明らかに。
0:41:05	地盤の特性として、出てきてるわけですね、ファクトとして、地震は観測の結果として、
0:41:12	それにもそういう傾向も踏まえて、ここでは一定減衰の話は推定件数はこうしますっていうような、
0:41:19	それってのは地盤であり、地震観測の結果に基づいてるわけで、これ、上の建物が変わろうがないからないわけですね、そういう観点の考察って。
0:41:31	ここにはない、ないですよ今。原燃の大橋です。今今完全にグループごとで独立で走ってるので、そういうのは今ないんです。今野ハバサキさんおっしゃったようなことは実際頭にはあります。ただそれやる時には、やっぱり、
0:41:44	中央と比べてどうだみたいなのところの観点がやっぱ入ってきちゃうと思うんです。で、ちょっとごめんなさいこんなに考えたっていうのちょっと1でご紹介したいんですけど、多分、はい。
0:41:54	ちょっと打田さんじゃ、規制庁のハセガワですけど。
0:41:57	個別で見てった時のルールがちゃんとしてないだけで、
0:42:02	例えばこういう種みたいなやつは、実はおまけなんだよね。浜崎さん言うような、
0:42:07	ね。
0:42:09	さらにみたいな世界。
0:42:11	うん。うん。
0:42:13	だからもともとこれ、地盤値の方見てるから、これまでのデータを、をずっと見てきたわけだよね。はい。
0:42:23	その時に、さっき言った伝達関数で、
0:42:27	原石セットしたときに、違ってたっていうのっていうのが、地盤の特性として、やっぱり違うんだ。
0:42:36	ことなんだよね。だから、決して別に比較をしちゃいけないとか、あれするとかってのは決してなくて、そういう部分を、最終的には一緒だって言っちゃってる。
0:42:53	ということだから、はい。はい。結果的に、だから結果じゃないんでだからねそういう部分をどういうルールに、
0:43:01	頭ん中のルールに当てはめてきたんですかっていうことなんで、
0:43:07	権利ノモトでございます。えっとですねそれみんな独立して、はい。
0:43:12	共通したルールで独立した事象を当てはめるっていうふうに考えた方がいい。はい。

0:43:22	そうすると綺麗に収まる。
0:43:24	本当にそうですちょっと追いつけなかったんですけど、
0:43:29	そもそもその建屋に依存する。
0:43:33	こと地盤モデルって考えることですかっていう。そうそう。土肥になってるような気はするんですけど。
0:43:41	次、
0:43:42	一方で何どっかのところの考えをす整理しなきゃいけないと、いうことが、はあるんだろうと。
0:43:51	ていうときに、実態として乗っかるものってどういうものですかっていうのは何らかの考えがあってもいいかなと思ったんですけど、それが 0.20. 3 だとしてですよ。
0:44:02	259 ページ見ると、とてもそれで設定したようには見えない。
0:44:10	59 ページ。
0:44:16	0.20. 3 で 0.2 側でいったら、
0:44:19	いや、C4 下回っている。
0:44:26	4 個目のご質問は、
0:44:32	のに平気で録音に引いて、
0:44:35	乾固書いてること自体が間違っているような、
0:44:38	ことを平気でやっている。
0:44:41	ですよ。
0:44:42	コンセプトからしてそもそも、
0:44:44	嘘言ってますか。
0:44:47	むしろね。
0:44:49	これ引いたまま、最終的にコウを使うっていう選択の方またいいわけよ。こういうケースはね。
0:44:56	6 を 5 にする。
0:44:57	6 億にするっていうのは、それはちょっとね、他の文献からそういうものないし、
0:45:04	年次ニツタつけましょうっていうお約束なんだよね。だから後に入ってたから 5 月の方がっていう方が、まだお約束のルールがそういうルールにしたんならば、
0:45:15	ルール通りになるわけ。
0:45:21	結局ね、結果見て大したあれじゃねえし、結局 6 と 5 の使い方を保守的だみたいな感覚が残ってるから、こういうことになるんだよ。
0:45:33	ね。だからね、チャンネル全部捨てないといけない。こういうところは、
0:45:39	なんか詰めが甘いわけですよ。
0:45:46	勝手に。

0:45:48	ルールを決めたんならルールの通りにやったルールが、
0:45:55	出したルールがないんだよ、もしくはルールあったとしても、ルール違反はしたんだよ。
0:46:04	私もね、重大なルール違反じゃないかもしれないけど、
0:46:07	この決め方についてちょっと私は考える。
0:46:13	もともとアカセルっていうのは、
0:46:15	観測記録を説明するような曲線になってる。
0:46:19	ちょっと前の方で説明。
0:46:22	この赤線に相当するような一定減衰は何かって言ったときに、家族記録を説明するような一定減衰は何かっていうことで同じことなんですよ。うん。
0:46:33	そうです。それは以前観測記録を説明するってやつ作ってますので。なるほど。そこがスタートラインだと私は思ってます。
0:46:41	ですから、東側については 5.5 はスタート。はい。はい。
0:46:46	ということで、5.5 でやって、
0:46:49	それで、
0:46:51	赤線と比べてどうだったことがサードラインであって、それで満足してれば、5.5 ハットリから、
0:46:58	最終的設計は 5%にすると、そういう流れになるのかな。はい。はい。思っていますし。はい。
0:47:06	はい、規制庁ヤマザキサノソウノナガエていいと思うんですけど、今、5.5 は 50、6 になってますよこれ。
0:47:14	そうです。東野です。
0:47:16	そこは、しかも考え方を、
0:47:20	清木、あとね、この原資にコンマ幾つ入れるかっていうのが、実際あるんだよね。
0:47:32	なぜそうずっと、中央とかは 6. 幾つとかでやることになるんだよね。うん。それはそれでいいかもしれないですよ。
0:47:40	解析上のあれとしてね。
0:47:44	だから飛ぶ宛メールって、
0:47:47	だからそういうところを、
0:47:50	やっぱ共通化が図られてないわけですよ。ただね、おい、
0:47:54	例えば小数点みたいなのはみんな切り下げでやってるっていう、全体的なルールに収めた場合、中央は多分いいんだよ。
0:48:03	ヒガシはね。そのルール違反を犯して、
0:48:08	だからそういうふうにしていかないと、
0:48:13	自分たちのいいふうになってますよっていう。

0:48:17	結果部分とは別にね。
0:48:23	緒方さんの説明は、だからね、完全に死んじゃうパターンだよ。
0:48:30	そうですね。はい。
0:48:32	つまり、毎回いるけど、非常に詰めが。はい。
0:48:37	甘いわけで、
0:48:43	だからどういう部分かっていうのをちゃんと示してないといけないんですね。
0:48:48	セットして、ワンランク下げるのかとかね。
0:48:53	あと、すいません、もう1点、私がずっと疑問に思って、アップされず、思っているんですけど、
0:48:59	これ比較してるのが、
0:49:02	今回、平均化し、
0:49:05	適切な言い方ではないけど、イメージ的には平均化した減衰の特徴を作ったというのがこの赤線。
0:49:16	のもので、それを世にして、一定の値を作って、
0:49:22	ていきますと。
0:49:24	ということだとすると、やはり平均の評価でしかない。
0:49:29	不確かさはってなると、もう物性だけでやりますって後で、そのいきなり出てきちゃって、ここ平均でやっていい理由はってというのがどこにもないんですけど、
0:49:39	それはどう整理してるんですか。はい。原燃のオガセです。今の考えといたしましてはおっしゃる通り尾崎さんおっしゃった通りでアカセンは、いわゆる平均値でしかないと思う。
0:49:49	ないわけですから、それに等価なものとしての、その青線っていう一定を低う弾いているわけなんです。それは正直元は確かにばらつきを含んだアカセデータっていうようなところになってんですがそれに等価なものっていうところを引いた時点で、何て言うんすかね。
0:50:06	ある意味そのデータの、ちょっと言い方が、
0:50:10	Dた自体はある意味、1回コウデータに基づくものじゃ1回属性がなくなつて、
0:50:16	何かこう、いや、そうです。持続性がないものになりますは別にいいんですけど、じゃあその時に不確かさを考慮してセキグチ清木聞いてたら、その説明でいいんですけど。
0:50:28	元オガセおっしゃる通りで、その時に不確かさで引いてないところなんですけど、そこで引いたその青線っていうところが本当にいいかっていうところを正しく右の応答スペクトルで確認して、ごめんなさい、これその応答スペクトルでフラン平均のもので比較してるから、



0:50:44	意味ないんですよ、これじゃあ。
0:50:48	あの話です。はい。はい。
0:50:50	全体したってさ、前回答えたらちょっと違うじゃないや。そうです。今回のこれはどっかの方でそれで、今ちょっと議論されてるイシヒガシのところを、
0:51:06	ちょっと途中で議論します。建屋がこういう振動数でこうずっと落ちていくのか、観測記録の 5.5、6.7 の切り下げでフィッティングさせて。
0:51:16	で、向こうは殺すとかそこまで行くのかといった時に今、
0:51:20	今、いただいたご質問で 6 から 5 に下げるところは今みたいな答えがあるのかなと。もし、後から合意するところは答えがないのでその辺ちょっとよく考えないと、やれないということで認識しましたので、
0:51:33	ちょっとこれ、建屋の固有振動とかこう引いて一生懸命同定をかけていくのか、先ほど真下さんが言っていた 5 点。
0:51:41	もう 6.7 の値をベースにやっていくのか、ちょっとアプローチの仕方があろうかと思しますので、そこをもう少しマシモさんとか、議論をさせてもらって、かつ小ダテさんのいただいた宿題であるその締結かという、
0:51:56	どうなのかといったところも、答えがあるような解を見つけなきゃいけないと思います。ちょっとすいません今この場で、どちらがええかちょっと。
0:52:04	難しいのでちょっともう一度議論
0:52:08	なるべくさしていただいて、ご提案させていただきたいなど。
0:52:12	はい。コサクです。整理をしてください。現状だと 6% の設定を設計に用いることに差し支えない設定となっているかとかかって書いちゃってですね。
0:52:23	論点挙げてもいないのに、言い切っちゃって、だけど、何となく保守的にやりますって、
0:52:29	いう非論理的なやり方になっちゃってるんで、やっぱり何らかの考えがあるから、
0:52:35	イケダっていうのは出せるっていう
0:52:38	考えます。わかりました。
0:52:49	詰まってないわけですよ。
0:52:51	移行性ね。
0:52:53	最後だから、当てはめて機械的に、
0:52:57	持ってくるまで、
0:52:58	すべてにいろんなことが、
0:53:03	我々だよ、言ったようなことがすべて、

0:53:07	綺麗に説明できるエスパ共和ルールっていう言葉使ってるけど考えだよね。
0:53:13	そそこさえしっかりしてれば、あと漢字に当てはめない。
0:53:19	でももう、結果出てきたから、
0:53:23	そういうことなんですかっていうな形だから、
0:53:28	運協からもう完全にね、もう自分の中で破綻しちゃってるんだよね。ハママツまってないってこと。
0:53:34	聞き方を変えたときに答えが変わるっていうことがあってはならないわけですよ。こういう世界がね、ここまで持ってきたんだから、
0:53:51	何ての新城イソダ君。
0:53:54	一方、この結構広い敷地なんすけども、ホソノセキで減衰は変わるというのもどうなのかなっていうのを専門家からいろいろ言われてるんですね自分が違うんだ。
0:54:07	いやだからさね。
0:54:11	それはね、全体としてはそう思うよ。
0:54:15	ねそういうところあるよ。でもそういうシナリオでやってきてないんではない。
0:54:19	同一なものですよというふうに持ってきてなくて、個別で直下のところを個別で考えていきましょうという、
0:54:29	そういう流れでやって、そしていろんなデータを、
0:54:33	旨、データを重視しましょうっていうふうにやってきたわけだよね。そこでね、もうばらつきの範囲なのかもしれないよね。
0:54:42	このぐらいはね、結果的にはね。ただそういうのはもう考えずに、直下とかその周辺のね、データから見てやっていきましょうというのが、
0:54:52	基本的なルールになったんじゃないの。だからそんなのは違ってたって知らねえよってことだよね。或いは、違う、知らないで、そうそうないとおかしいんだろうかっていうことなんですよ。そう。ルールに従えばそれでそれをさらに一緒にしたいんだったら、
0:55:10	何かしらの考察なりっていうのを、さらに、データの段階で入れていかないといけないんだよ。
0:55:18	コサクですけど多分、
0:55:20	同じように従来してた。
0:55:23	ですよ、この状態です。
0:55:25	県の方が何かっていうとばらつきを見て、
0:55:29	どこでも使えるような値をセットしたんですよ。
0:55:33	多分、
0:55:34	私はそう理解して審査してます。そうですね。はい。だけど、

0:55:38	そうではなくて、
0:55:40	敷地それぞれの状況にしてセットしますということで今回取り組んでるんだから、その入口をちゃんと理解をするっていうことがないと、従来のその発想だけっていうわけにはやっぱりいかない。
0:55:56	のセットのときの考え方なり何なりっていう、その何だろう、数字の理解っていうのは従来から変わらないと思いますけど、
0:56:05	そこんところ履き違えないようにしっかりと考えていくということです。
0:56:11	だから、あとねさっき言ったルールの中に、建物の特性との関係、そこを入れると、毎回新しいものをやったときには、そのの、
0:56:21	当てはめから始まりますよっていうのをさっき言ったんだよね。
0:56:26	でいいんだよ別にそれはね。なるほど。で、これも結局その設計コンセプトになって、
0:56:33	極論言えば、建屋をこの周期体で作りますと、
0:56:37	宣言してしまえば、その範囲で設定すればいい。そうです。名神なんかまさにそういうことじゃない。
0:56:44	地震のピークからね、相当ホリウチ外して設計しますっていうのはさ、そういう発想はある。
0:56:58	一つは、先ほどちょっと奥さん言われた、
0:57:02	そうなんです。
0:57:03	広い範囲でも明らかに中央は、ちょっと、
0:57:12	一応なんですね、中央の3グループ15013は同じです。
0:57:17	東西は明らかにこれ、岩種岩相違いますよね。33番であったり、
0:57:24	先ほど真下さん言われたように、地震観測のシミュレーションからいっても、減衰の値が、中央は6.7に対して5.5という値が出てるわけです。
0:57:34	明らかにそういうファクトあるのか、今回、同じ6Sっていうのが、説明が、はい。
0:57:41	繋がってないなということなんで、
0:57:44	はい。日本における私の発言が先ほどちょっと
0:57:48	できてなかったという認識で、それでいくと、まさに今までやってる所なんだという話にまた戻ります。
0:57:55	大丈夫、そういう話になりますので、結果していただきたいと思います。わかりました。
0:58:05	しちゃうわけです。あとですねさっきの真下さんの発言がまさに、一つのポイントになると思います
0:58:13	観測シミュレーションの同定で、遮水点の場合で、
0:58:18	0.4、6.7%だとか、5.5っていうのは、ほとんどアノ基盤。

0:58:25	田井オオクボはもうちょっと小さい0.3です。3%の数字なんですよ。その人はさ、かなり水で、基本的には、ダイゴ基盤より上が6.7なり、
0:58:36	もう5以上なんですよね。そうすると、
0:58:40	もともとそう6.7とか5ということで決めますっていうのを、アズイズれ、これはミニバンゴトウってなといえるんですよね。だからそれから植野層に関しては話が違っても、
0:58:51	減衰はそれ以上の値に本来はなってるんで、後、
0:58:55	6.7、或いはそれを丸めたところで問題ないです。
0:58:59	いうロジックに繋がるんで、各岩種と田井大前考えてくださいって言いましてけども、そういう説明の仕方が一つあると言うのと、あと6を5にするときに、
0:59:10	先ほど小坂調査官入れたばらつきのお話を、そこにまずやりたいんですね、の中に吸収できるのか、これは各グループのエザワ検層のばらつきから、
0:59:20	この範囲に収まっているかとかですね、そういう話で説明がつく。
0:59:24	かどうかというところもあるんで、これは、
0:59:27	次の会合のマターじゃないかもしれませんが、いずれにしても3月まで、
0:59:31	説明が必要になると思っておりますので、そこがきちんとされました。
0:59:40	浜崎さんの花椎野、二つ。
0:59:42	ちょっとあったけど、このコサクの質問に対する答えもその二つの枠に実は入ってるんだよね。
0:59:54	でも、多分これは、そういう意味でのコサクの質問の、
0:59:59	話っていうのをある程度、やっぱり、
1:00:02	今回の会合の中でやっとかないと、
1:00:07	いけないんで、私3月いったんだけどやっぱりこの問題は、
1:00:14	少なくとも中央とかっていうのが中央はね、全体的に見たときにはそんなに悪いとは思ってないんだけど、
1:00:22	ロジック的な説明を考えるみたいなのは、やっぱりこの時点で、
1:00:29	いるんじゃないかと。
1:00:33	少なくともコサクの質問には、今答えて入ったね。
1:00:37	ていうか答えたんだけど前回ね、
1:00:39	でも、今日は違っちゃったしね。
1:00:45	と思うんで、こうだここが一番大事なところなわけですよ、この辺りのね。
1:00:51	なので、もうちょっとしっかりやった方がいいんじゃないかな。
1:00:55	おっしゃっていただいて、
1:00:58	中国で66で、5といったところが小崎さん。

1:01:02	話だとか、
1:01:05	そうかなという感覚もあります。ただ、ちょっと西ヒガシのところ私はイデという形で、ハヤシヒガシ問題だけではないからね。
1:01:14	コサクの話をする。
1:01:17	どちらかという、そもそもの考え方を、
1:01:20	ロジック通るように整理してくださいという入ロイワマイシイヒガシの考え方を整理すると、今度ヒガシに影響を及ぼす可能性もあるのですね。
1:01:31	何、何%のね、使った数字を打ち込むんだったらこいつも 6. 幾つってもっとでかいやつで、
1:01:40	やっていかないといけないかもしれないしね。
1:01:44	そうしないと合わなくなっちゃうからね。
1:01:48	やり直しが発生して、いやだからなんか、
1:01:51	考えて、
1:01:52	さっき 5.5 ヒガシナカニシコウ. 5 をセットするとすると、中央もとおつきい数字を最初にセットしないといけなくなるっていう、
1:02:02	うん。
1:02:03	うん。
1:02:05	いうことになるんで、
1:02:09	結果は変わらないかもしれないけどね、切り捨てという話。
1:02:13	だから何かそういうところをね、どうやってちゃんとね、
1:02:20	ルールというか考えを、
1:02:22	セットして行って、全体が、
1:02:25	綺麗に美しい説明が、
1:02:29	できるかっていうことが、
1:02:33	あとそれはそれでちゃんと
1:02:37	次回、
1:02:41	話を書いてもいい。
1:02:43	いいすか。
1:02:44	283.3。これさなんか二つとかやってるっては、これなんかちゃんと読んではないんだけど。
1:02:51	これはどういうこと。はい。これなんです、175 ページをちょっと。
1:02:58	次 14. はバンと下盤ミックスされてるところなのでまだそういう話なんだろうねババの検診を見るしても、それをまぜるわけじゃなくてちゃんと両方見ましょう。
1:03:09	はい、植田先生が二つあります。だからそれをじゃあ平均していいかっていうのは平均していい根拠つくれません。

1:03:15	やっぱ、はい。そこは個別に見ましたので、すごく二つ使ったんだから平均は駄目だよ。
1:03:22	ということになる。
1:03:24	なので個別、
1:03:29	そういうふうになんと書いてある。
1:03:32	コジマ。
1:03:35	このエリアっていうのは、あとね、
1:03:38	すげえ近接してるじゃん、距離的に。
1:03:41	この問題はさ、
1:03:42	違う、一緒なん。
1:03:46	データの最終、あなたたちのユキ本地盤モデルという世界になったときには、違うんですが一緒なんですよ。
1:03:57	違う人で、
1:04:00	ます。
1:04:00	急なルールをつくれなかったっていうので、いや普通にルールに当てはめたら違っちゃったわけじゃないっていうことなんですね。うん。
1:04:14	そして、半分ぐらい乗っかってるか端っこの方と、
1:04:18	ねっていう問題はそこはどうなん。
1:04:24	あ、ごめんなさい、半分ぐらいにやっぱり嫌な長い長方形のさ。
1:04:30	右腕と下盤側切りに慣れてる 114 についてはどうなんだっていう、
1:04:38	ちょっと今、そういう建物の前わかんないからさ、これ。
1:04:43	お前探し二木てんだけどさ。
1:04:46	そうそうそう、自重よ。
1:04:49	次 14 のさ、ね、西側と東側の端っこのっていうのはさ、
1:04:56	今度はどうなんで設計上どうなっているのか。
1:05:02	その直下のデータ。
1:05:03	それから東西南北の構造設計上さ、地震力をさ、違う地震力入れる。
1:05:12	元のオガセです。今そこっていうのがここに書いてから、ちょっとお待ちください。
1:05:21	100、170 何ページ。
1:05:28	282 から 180。
1:05:35	すいません場所を変えればいい。
1:05:37	結論としての設計としてどう扱うかというご質問だったので、282 ページに書いています。ここのポツの二つ目の矢羽根になってます次 14 で担当による影響があるということで、今上川もおっしゃって、右と左で地盤が違いますね。

1:05:51	話があって、これってアノ断層の影響評価ってことで、それと、右端の地盤考慮した時の左端の地盤を考慮した時の応答っていうのを、物性値を決めてあげて、その事を確認してあげています。で、今後我々設計として地盤物性のばらつきってことで、
1:06:05	フジイず動かすわけなんですけど、そのときに、じゃあ、さっき考慮した断層の挟んで右側と左側の地盤物性も一緒に見に行って、そのばらつきにプラスアルファのもう1個のばらつきを加えるのかもしくはその中におさまってることを確認して、
1:06:19	例えばプラマイワンシグマで十分考慮できますねっていう判断をするかとか、こういう今後ばらつきの検討の中で、さっきの断層の違いによるVsを吸収できるかどうかっていうところも検討した上でばらつき幅決めますというふうなそういうようなところになると思っています。
1:06:34	違う答えが、でかい方使うんちゃう。
1:06:39	二つ。
1:06:41	違う。だからそのでかいんまででかく出てきたやつっていうところは、そういうVsの構造を無視できないので、
1:06:53	頭がでかいって全部やるの。
1:06:56	いえ。
1:06:59	141 ページで、
1:07:05	これはas-isです。
1:07:09	のに本数、
1:07:13	構造は、
1:07:15	向こうも
1:07:16	さ、最初のやっぱり、
1:07:21	そこに来ない。
1:07:24	左が作るんだろうっていう。
1:07:26	なるわけ。
1:07:35	そうですね。これでいい。
1:07:36	1個しかない。141 ページ、ここしかないのはちょっと。はい。
1:07:42	104 ページの前に、これは5ポツで、
1:07:47	こっちでまとめてだからいいんで別にas-isではこの辺はね。西来休み違うんですよということは別にそれはそれでいいと思うんだけど、
1:07:56	だから設計を、の時にはどうするんですかって聞いているだけなんだよな。1個。
1:08:05	はい。設計です。さらに
1:08:08	そうすると1個っていうのはさ、今度いいことじ14と次16の差がさ。
1:08:14	ね。

1:08:18	なんかね、パズルみたいなんだけど、そうですね、次 14 の東側とG16 っていうのはすごい近接してるけど、次 14 の東側西側。
1:08:30	でいいんですよって言ってるようなもんじゃ。
1:08:35	はい。
1:08:36	ね。
1:08:37	順番にいくとね、じゃあ何で次 14 はね。
1:08:43	Gなんだっけ。
1:08:45	東側の方のやつと似てるのに、違うんですかって。
1:08:53	だからそこは、さっきご指摘あったように、その両方特性が、意味上回ったバンドウ特性が入り乱れてる人といいますかまじってるところなので、
1:09:05	どちらで取っていいかっていうのが、これわからないんじゃないか二つあります。はい。厳しい方をとりますよっていう。
1:09:16	いうふうにas-isとしてはだからもう、
1:09:22	両方とりますと、
1:09:23	それで厳しいほう。
1:09:25	すいません。設定では、だから輸送じゃなくてだから全部やるってことでしょ。
1:09:34	ここはさ、ね、波がさ、2 種類できるわけで、このエリアね、すごい近接して、
1:09:43	すいません。
1:09:44	細井です。管理課に言われてるのは、今、自重 4636 と、三つに分けま すってなってる 36 は
1:09:54	30、ごめん。
1:09:57	36 の話は今してなくて、
1:10:01	こいつはそもそもこの、この宇和版でカッチ載ってるから、はい。よくて、 次 14 と次 16 二つの、この強化で違ってるわけだよね。この業界は多 分 10 メートルもないんだよ。はい。はい。
1:10:15	現実の世界でね。なんだけど地震は違うんだよね。
1:10:21	まずね。
1:10:23	違うんで違うのでやるんですかっていう。
1:10:27	うん。
1:10:27	違うのでやるんでしょ。1 違うでしょ。そうするとこの次 14 の東側の方っ ていうのは、じじ。
1:10:37	16 人すごい近くじゃないね、じゃこの次 14 の設計ってどうするんですかっ て話だよね。どっちの地震は使うんですかって。
1:10:50	でもね、次 14 の、
1:10:53	こっち側でとれた波を使うんですよってということだよ。



1:10:58	だから、違うところです。私が原燃が行っていることを理解をすると。
1:11:04	G16 は、うん。
1:11:07	今 169 ページ見てますけど、
1:11:10	江藤上盤側っていう東側の 12 億は重々わかっているんで、そちら側のデータを使いますとなっていて、
1:11:18	反対側の G36 は下盤側に載っているんでそれを使います。
1:11:25	それが入り乱れている。G14 については両方のデータを使います。
1:11:34	言っている。
1:11:36	なので、次 14 農東側部分っていうのは、
1:11:42	殊上盤側のデータを使いますと言ってもいいような感じはするけど、
1:11:49	下盤側のデータも使いますと言っていて、
1:11:53	そちらの方が多ければ、保守的にそっち使いますっていう、
1:11:58	ことになってると理解すればいいですか。
1:12:01	だから、14 というのはヒガシ-6 とヒガシ-4 の、から獲られた。
1:12:08	自身は両方やってみるっていう。
1:12:12	それがですね、158 ページで、まさに矢田がそれぞれイエスかノーでいいのような話として、まずはさ。はい。
1:12:21	まずそっからいって、データを使うわけです。
1:12:24	ね。はい。
1:12:25	そうなのは、ヒガシ-6 とヒガシ-4 の二つの地震は両方ともやってみて、大きい方を取りますっていうそういうそうですね。
1:12:39	まずはイエスかノーかでき、成長かみさん今それをやって、速度を決めて物性値と。
1:12:46	これ、減衰のとり方家タカノ別々そこだったら、いや、その話ではなくてだからもう、
1:12:58	ね、これ東側の 6 っていうエリアと東側の 4 とエリアもう違うと。
1:13:02	いや、構造的にもうこの辺は違うんですよって言って、それはそれで、ね、結果からずっと道に変えたからもうそれでいい。
1:13:11	わかった。
1:13:13	ね。
1:13:14	なんだけど次 14 っていうのは現実的にはそっちに近い部分もあるから、応答としては見られるんじゃないのかっていうことが懸念されるから、44 の設計に対しては、
1:13:26	どう考えてるんですかっていうのがそうですね、そもそもの質問なわけですよ。

1:13:31	ね。そしたら東側の6と東側の4の両方使ってみますと、結果的にでっかいコウ設計だから工学的に判断さえますと、うん。ていう説明なんですかって。
1:13:45	ある程度正確に言うと、そうではなくて、6と4の厳しい方とってるということじゃなくって、6-a内田cをとってるような、6と4の、何を両方ともやってみて、
1:14:01	結果がおっきい方を使うっていう、
1:14:05	日本原燃の疇津アノやってることはその通りです。言いたいことはデータ整理の時にそれをやっていますという
1:14:13	です。今、家データ整理ってどこの提供すると。
1:14:17	小野田フジサキのゴトウの話をしてるんだけど、ですよ。建物の設計の話をしてるんだけど、6を作るときに、宇和版とヒラガんの。
1:14:28	影響を、抜け、いくつかパターンを作った。これは地下構造を作っています。その中で、はい。
1:14:39	なぜ、いや、ごめんね。だからね、今迫の84なんていう建物ないんだよ。
1:14:48	ないんだよ。
1:14:52	そもそもね。でも皆さんは、最初からあると思って、
1:14:57	ね、その考慮しても地下構造を決めてるんですかっていう
1:15:01	ずっとやってるんじゃない。
1:15:06	14の地下構造。
1:15:09	次14付近の地下構造は西と東でね、微妙にありますのでこの辺に建物を作るとね、ね。
1:15:22	言えたことなっちゃうよね。
1:15:25	ていうのが地下構造的にわかったわけよ。はい。そう。はい。
1:15:30	ね。はい。
1:15:32	ていうだけでしょ。だから地下構造は、確実にデータだけから見から、僕は違うからいいよね。もう現実的に114っていうのはそこでこれから低角しようとしてるわけですよ。だからね将来の設計はどうするんですかって聞いてんだよ。
1:15:51	でもあなたたちはそういうので、すぐ即答でイエスではなくて、もうすでにねじ14がそこにあることを地盤モデル組み込んでいますみたいな説明をしてないかな。
1:16:06	いやだからこの、さっきね、
1:16:09	それ言ったのが、
1:16:10	ね。
1:16:11	僕の質問では、

1:16:13	この紙にはそんな話は載ってこない。
1:16:18	その答えはね。今日のペーパーにはないはずなのに、すでに何ページに、こう見てくださって言った瞬間にね、
1:16:28	何かどっかにもうそれが組み込まれてるんですかって。
1:16:37	買ってない。
1:16:38	皆さん、私もちょっとよくわかんないですけど、
1:16:44	地盤モデルを、
1:16:46	複数作るっていうんであれば複数書いてないのがおかしいよねだし、
1:16:51	一つ、まぜたものを作るというんだったらまぜ方が書いてないし、
1:16:57	どちらにしてもわけわかんないんすよ。
1:17:02	堤防ヒトミアノすみません、158 ページをちょっと見ていただいて場所が悪いのはもうわかりました。ここじゃないのははい、重々承知したんですが、158 ページ。
1:17:17	まさに、G14 の右側と左側でも、地盤が全然違います。
1:17:23	ちなみに、この水色の建屋の直下にたまたまコウアンドウボーリング孔もあるので、そのボーリング孔も見ってみました。したら右の、いわゆる地震動をちゃんと比較してあげて、大きいので、
1:17:34	水色っぽいんですね。ですので、水色使いましょ。
1:17:39	だと思えます簡単に言うと考えて、これっていうのをやっているの、このG14 グループってのはこの水色の物性値を決めてあげましょっていうのが、
1:17:49	そしてやっていたここの、いわゆる建屋ありきでっていうふうに、今回やってしまってます、やってしまってるんですが、この建屋が配置される計画になっている場所での地盤状況を見たら、この水色の子を使うことで問題なかろうというところを、はい。断層の影響、地質の違いみたいなどころを見てやってあります。はい。そうですね。
1:18:08	そもそもG、
1:18:10	この水色浅地中 6 だって一緒だよね。
1:18:13	ねそしたらこのエリア一つね。
1:18:18	ですね、設計用の
1:18:21	ねモデルとしては、このピンクのさね、ものはもう使わなくて捨てるわけだからさ設計調査。
1:18:30	だからここの部分の考察っていうのがすげえ重要になってくるけどね。
1:18:37	ですね、このときの議論としては、いやだからそこはね。これ水色使えますって言った時にピンク消したんでしょけしてないのどっち。消して消し消えますね。さっき。

1:18:50	うん。その説明が何もないからさ、最後までさ、そうするときこれ消えたらさ、そもそも次 14 エリアっていうのは存在しなくなるよね。
1:19:01	だから次重要エリアと次 16 エリア使ったデータ一緒なるからさ。
1:19:06	そうなりますね。
1:19:08	自主的に自需要エリアっていうのはさ、いなくなるよね。
1:19:14	でしょ。
1:19:15	おかしくない。
1:19:17	ない事情をこの
1:19:21	ブルーでするならば、次 16 号グループして、二つのエリアだと言ったら他、だから、いや、二つ目、駐車場とは別にあって、
1:19:31	36 タナベ 36、
1:19:34	8-36 は別々に要則はね、その話はもうしてないんだからさ、ここに乘っかってるし、違うやり方しましたね、背弧ブルー使うなら。
1:19:45	16 だって近いんですよ。
1:19:48	同じような評価して、
1:19:50	同じような評価をしておるとい結論にして、
1:19:55	要は数字が、
1:20:01	まず、44 から最後までいるんだよ。
1:20:07	給料が安いですね。
1:20:11	おかしいことをやってないか。
1:20:16	だけ二つ、二つ。
1:20:18	が斜めになってるがゆえに二つやって、いろんところがそれ下なんかどこにも書いてないんで捨てるってどこに書いてある。
1:20:25	158 ページ。
1:20:28	ピンクは使えません。今は書いてないんです。入ってないよね。そうですね。はい。物性値等を設定するとかって書いてあるだけだよ。
1:20:37	だからこれはずっと引きずったまま行ってるんじゃないの。
1:20:44	要望だから最後どうすんだよってここ、
1:20:53	でもこれだけで応答なんか別にして、最後、決定づけるのはさ、まだやや危険だよ。
1:21:09	この時点でね。
1:21:11	ページのね、50 日すごいちゃんとした考察が要るよね。うん。
1:21:18	だから、だからね、実設計でやるのかって聞いてるんだよ。
1:21:26	そもそもだからね、この 158 ページのやつを見ると、
1:21:30	この辺もともとせ、こいつは分離されたわけよ。

1:21:33	ね。これ 9114 グループになってるんだけどね、ここでいろいろ、これって もう一緒に扱えないよねってなったから、最後、分離したんだから、絶 品。
1:21:45	行くと、水色は今度別のグループになったんでしょ。はい。ポポツです ねなんでしょうね。
1:21:53	だからそのラインで言ってるんじゃないの。
1:21:57	うん。
1:21:58	ノダミツイ。
1:22:00	ここをこれを分離したんじゃないの。
1:22:03	データの的にデータの的に、ポポツ分離してるのは今すいませんハシモト戻 って申し訳ないですけど、36 と 20496。これも一つFAXの話ですよ。
1:22:22	すいません。で、議 16 と 14 ワダからねじ 16 にはね、この 158 ページ の間でいいけど、ツジ 14 ニワ等のデータを使ったの。
1:22:35	24 ニ木 14 パの建物に対しては、うんだよね。
1:22:43	イナダの水色、水色は、
1:22:48	青で水色、ピンクでおっしゃった、
1:22:52	ピンクはG14 では使わなくてもよさそうだと 36 で使うそうです。
1:23:02	違うんですよね。169 ページで書いてある。はい。こっち
1:23:08	右下の下盤側で、R593 と言ってるのがもともとこの点線で書いてあった ところでピンクで表してまして、今年ですね 36 月。そうです。
1:23:21	品
1:23:21	の復興Q3 であって、G30 しか使えませんし、
1:23:28	だから、宇和版の話なんですけど、私田端さん、志田坂だよね。
1:23:33	G36 っていうのは下盤なんです。そうです。だから、R5-03 ってやつで しょ。はい。で、はい。
1:23:41	R5-03 は、当然G36 のエリアで使うよね。はい。ね。でも次 14 のエリ アっていうのいるんだよね。はい。
1:23:51	にも使ってるわけでね、ここにはだから使ってない。
1:23:57	先ほどの 258 ページ、158 ページで、使わないことにします。
1:24:03	すると関係ないんですけど、ちょっと
1:24:07	の代表できる。はい。
1:24:10	としてっていうことでそちらを持ちますっていうのが、明確になって、
1:24:16	いる方でそうするとさ、ねじ 14 ニワR5-9 の 4 点です。
1:24:24	根井使ったの。
1:24:27	いいえ。
1:24:28	ここは、

1:24:31	このコウポツのデータ整理としては、結構違うんですか。はい、えっとです すね、多分、あれ、R594 の原水下水として使うときには、
1:24:45	これ考えますけれども、ちょっと安全速度想像を決めるときにはこれは 158 ページの図の通り、江藤光洋採用してるのもうこのときに、この です、もともとの上盤側のデータというのはこれは、
1:25:01	今、直接使わないことになってるということになってます。だからお金全 然わかんなかった。ごめんなさい。4 ポツで言っちゃってるからやっぱり よくない。
1:25:13	だと思うんですよね。今のであれば 105、168 ページの、今C、
1:25:20	普通の話として図が載ってるから、よくわかんないですけど、
1:25:25	ポツの方で話をしなきゃいけないということで、はい、そうですよね。
1:25:30	169 ページのこの文面。
1:25:36	言うと、一つ目の矢羽根は、G36 だから下盤でやりますよってそれはも ういいです。
1:25:44	二つ目がG16 に東側になっててその次が次重要ではなかった。はい。
1:25:52	で、44 は、いわゆる直下のあなた共産処理市場X通行という排圧を参 照するという結論。
1:26:00	ちょっと順番に言うと真ん中は、はい。このエリア機周辺には二つデータ がある。つか呉先生使うASR594 よりも、
1:26:13	1 パーンエックスバー2 の方が近いんだけど、はい。
1:26:19	ここでは減衰がとれていないっていうイメージはどうでもよくて、近いん だけど少し下盤側のデータが入り込んでるので使いたくありませんと書 いてあり、はい。
1:26:32	一方野地 14 にはなると、そもそも下盤側載ってるし、と。
1:26:38	いうのと近いからっていう、
1:26:42	ことかな、アノてるからいらっしゃるルールでっていうことにしか書いてな くて、
1:26:49	その先ほどの 158 ページで言ったような、その下盤側の影響云々という ことが何もなくこう書きちゃっているからよくない、そういう思います。
1:27:01	その上で、結局 158 ページのあれでよかったのっていうことに、
1:27:07	なるんだと思います。
1:27:10	個人で勝手に何かいろいろなこと言っちゃってんだ。
1:27:14	データに従って素直にやってるんだよ。
1:27:18	アノコサクです。まずはここしっかりと、
1:27:22	はい。書いてねという、
1:27:24	ことでその上でよ。結局、先ほどの応答スペクトルちよろ
1:27:31	と比較してみたいな感じなのがいいのかどうかっていうことで言うと、

1:27:35	前に
1:27:38	周辺、
1:27:39	の断層の影響っていうところで、いろいろと分析したときに、
1:27:45	横からの影響を受けて変わってきますよねと言っていたやつが、
1:27:50	ちゃんとはこれで、
1:27:52	分析評価できた形になってるのかというのがよくわかんないんですよ。結局その単品での比較でしかない。
1:27:59	複合要因っていうのを見てないんで、
1:28:06	そう。
1:28:07	作る。
1:28:10	R5 の 9-4
1:28:12	に基づいて作るものと、Hの何かXなんなので、
1:28:18	作ったものとR5-9-3 で作って三つ。
1:28:23	いうこちらが分離されてるようなもんなんでしょう。はい。
1:28:27	根井。
1:28:30	丸ごと乗ってない時 14 人に対してはね。
1:28:34	うちらミナミ三つやって、
1:28:38	一番大きいの使えますみたいな方が、話としてとればいいのかもしないけどね。
1:28:44	わかんないからって、
1:28:46	その時にあとは自重 4 ずらす。
1:28:50	はい。
1:28:52	大丈夫。
1:28:53	小さくしたいと思ってみました。
1:28:56	ここ説明できないヤマジ 14 ずらした方がいいよねって。
1:29:01	言われた兄弟。
1:29:03	なんで、
1:29:10	ユリとピンクってどっちが。
1:29:13	すいません。
1:29:14	見るのか、そう。
1:29:18	硬さですか。赤沢アノ 158 ページの真ん中の図を見ていただければなんですがピンクが硬めです。
1:29:29	谷中猪野さん。
1:29:33	会田二本木抜けてるんです。ここ、自重欲求ロジ 14 グループの整理の方についてちょっとルール通りというか、ちゃんと一貫したロジックがあるかというところとちょっと、

1:29:44	端的に答えられませんでしたので、ここ、もう一度次、9 フジイ 14 グループ、
1:29:51	5、どうぞ。
1:29:53	何のあれどう何を確認していったのかというのがちゃんとわかるように
1:29:57	整理し直して、
1:30:00	説明したいと思います。はい。
1:30:04	前期 5 件、理解しました。はい。
1:30:08	力なのかな、ちょっとルールがよくわからない感じ。
1:30:15	38 ページで言えない。
1:30:21	これはねているっていう中で、断層を挟んで使えないとかそういったもの イワイを基本ルールがあったんじゃない。
1:30:37	御説明とまた違う。
1:30:40	いや、それでもその一貫性っていう、それをちょっと今まで説明いただいて、 わかるように説明しなきゃいけない。
1:30:46	はい。逃げられると思うんですわかるように説明しなきゃいけないと思います ので、当てはめをちゃんとやってます。そっからの展開をやって欲しい。当然、 ルールが出てきたら例外もある例が例外でちゃんとわかるように記載しないと、
1:31:01	完全にそこだけやるというのはないと思いますので、でもそのケース、 建物との関係で何かやるっていうのは、あんまり、
1:31:11	整理としてはさ、
1:31:13	うん。
1:31:16	あれが最初に向けておっしゃっていただいて、
1:31:20	親切度はね、
1:31:23	建物ありきでするのはないかというのは、
1:31:26	考え方としては、
1:31:28	計画上の位置っていうのはね、別にあってもいいけどね。
1:31:31	これはだからあくまで計画上の位置なんですよ。
1:31:44	わかった。
1:31:46	さっきのページ等の、古作です。さっきのページの傾きから言うとまず平均 できる。
1:31:51	地盤に設置をするという前提があり、
1:31:55	だからこの領域のデータを平均して設定するのを基本にしますと言っ ていると思うんですよ。
1:32:02	一方でこの場所は違う。そうですね。だから基本を適用しないできない 場所に設置する計画を立てて、
1:32:10	いうことなんですよ。



1:32:13	その上でじゃあどうすんのっていう、
1:32:16	ウノをちゃんと整理をしなきゃいけないっていうことで、そうすると一つの建屋の領域でさえも、
1:32:25	どの位置をとるかで大分
1:32:27	その下、
1:32:29	積み方が違っていると。
1:32:31	いうときに、どう評価をしたらいいか。
1:32:35	それに適切なモデルってどうですかっていう。単純にそういうこと。はい。
1:32:41	なので、
1:32:43	そういう、その流れをちゃんと明確にさせていただいて、次、
1:32:51	そういう意味ではないですね。
1:32:53	で、結局先ほど言いましたけど断層が横にある場合っていうのありましたよねとその時に影響を考えますって言いましたよねと。
1:33:03	言ったときと同じことが多い。
1:33:05	いや、
1:33:06	いけません。
1:33:07	元の場所ですはい。いわゆるここっていうのはごめんなさい。これ全部端の方で載ってるやつで介護中ではそこまで細かい計算までしゃべってないんですけど、いわゆるその二次元のモデルでやったときと、この
1:33:20	いわゆる大げさに1次元で、ニシノ地盤がずっと広がってる過程とヒガシの地盤がずっとかさかアノやってる過程でやってる1次元、これってやっぱり1次元すごく大げさな検討になります。それと、二次元の現象っていう意味で、いや、そうね。断層が近くにあるときはちゃんと示してましたよね。地名して、
1:33:39	なのにこれ乗っかってる時に示してないって何で、
1:33:43	それも何か基本ルールから外れてないっていう。
1:33:47	はい。
1:33:52	当然設計の部分でございませう。ここにつきましてははですね、このSF6っていう断層自体は、
1:33:59	面なし断層、
1:34:01	と言われてまして、通常はですね。
1:34:04	もうこれ1000万年以上経ってますんで、断層ができてるんですね。うん。
1:34:08	ババネット上の荷重で大体同じように物性が発達していくものなんですね。

1:34:14	で、他の断層といますか我々ってそのF1 ですかユフミイとかっていうふうなおっきなアノ断層とはですね、
1:34:23	区別して、我々取り扱ってたんですね。で、もともとはここまで速度差が今ちょっと出てますけども、
1:34:31	当初のこの市場へのXa1、バーのXのカッコ2 というやつなんですけども、
1:34:39	その速度が全体的にこの辺支配してるんじゃないのかなっていうふうなことで思って、うんで、基本的に緑とピンクってのは大体速度が同じぐらいなんです。
1:34:49	で、その下にはちょっと茶色というところの薄茶色のやつがですねちょっと速度が高いんで、その辺の影響はちょっとボーリングをやった時に出てて、
1:35:00	その辺は何かその見た目といますかその速度構造的に、もうポイントでしか取ってませんけども、何かこの取った時で悪さしてるっていうふうなことになります。悪さっていう形じゃなくて、自分が思ってたのと違うデータになってしまったんじゃない。
1:35:18	衛藤関野でございます。はい。その通りだと思います。だから、自分が思ってた通りでなかったのを自分が思ってた通り、戻そうとしてませんかという、
1:35:29	そういう解釈に持ってってませんかという。
1:35:33	だからね、もうちょっと客観的に物を見たときにそもそも、このエリアをこういうふうな構造をしていて、データ1日っ子はとてもやりきれないよねっていうのが一般的な見方で、
1:35:46	D値で三つとったけどそれぞれバラバラだよねってねわかんないからもっと取るかっていう。
1:35:52	ものと、まあね、とつてもね。
1:35:56	結局みんなバラバラになっちゃうから、もう取らずに、個別にするかとか、そういう今、もうちょっと客観的な言い方じゃないと、
1:36:05	いけないし、今の、
1:36:07	ウノさんの説明を裏付けるんだったらもっとデータいるよね。
1:36:14	はい。当然関野でございます。おっしゃる通りでございますが設計とあわせて、もう1回ちょっと私の方も考えて土木設計の段階でどうするのかっていうところから聞いたんですけど、そしたらもっとその前からいろんなことを
1:36:32	ということがわかった。
1:36:38	存在しない、しなくてもいい、良くなっちゃう。次14というエリアが、
1:36:44	作られちゃう。

1:36:47	向こうで地震動を出して、何使う。
1:36:53	ニシノ何番とかわかって、何が降ってるってことでも皆それぞれ載ってたじゃん。
1:36:59	何が持ってる。
1:37:04	タケヤでしょ。
1:37:05	G10 ヒガシの 6 番、麻生ヒガシの 6 万人はさ。
1:37:14	ていうヒガシ 6 は 24 が載ってるからヒガシの 6 番の、
1:37:19	で、
1:37:21	ウノデータ使ったんですかっていうことだよな。
1:37:28	さっきの話からするとヒガシの 4 番と 6 番。
1:37:31	同じぐらいなっちゃう。
1:37:36	この辺がからくりがよくわからない。
1:37:55	提供、
1:37:56	何かおかしくねえか。
1:38:03	ですね、もう本当に客観的に調査を進めていくしかないんですよ。
1:38:09	データ重視で行ってんだからさ。
1:38:16	先ほど C-14 の新ヒガシ 6 ですけど、
1:38:20	は乗っかって下盤側版あってという、いうのを、
1:38:27	まずちゃんと整理をするって話はあるんですけど、
1:38:31	ヒガシの 4 番、G16、
1:38:35	について、先ほど直近ではあるけど、下盤側の影響が入るデータは使いませんと言ってますけど、いやすぐ横にした分岐点でしょ。
1:38:47	いうのに使えませんっていう意味がよくわかんない。
1:38:52	それが先ほどの周辺のやつ平均しますっていうこと。
1:38:56	と、
1:38:57	どうかで、下盤にないデータが引っかけちょっと周辺のやつとまで取りに行く必要はないですよねだったらわかるんだけど、
1:39:06	一番直近のデータ。
1:39:08	なのに、
1:39:10	使えるものじゃないっていう判断がよくわからない。
1:39:14	いや本当にこれ載ってないのっていうのもちょっとよくわかんないですよな。
1:39:20	83 ページ。
1:39:25	一つ。
1:39:27	そうそう。
1:39:29	ミツイの方は、

1:39:30	これは本当にシンプルで、減衰として、弊社がやるのが二つ目の、いやだから、このページだけ見たらそういう説明できるから、今まで言ってきたで流れるわけです。
1:39:44	下盤は阪高重なっているときに、減衰の仕方ってそうな、こつとこつちになるのっていうと、
1:39:53	ばカナダにならないですよ。
1:39:56	だからそれは、これはねそれを表してるのはいいんだけど、速度構造とか明らかに違ってる中で、金戸どうなんでこういうふうな結論になってくるのかもわかんない。
1:40:07	片方もデータ捨てちゃってんだよね。
1:40:10	捨てるというよりはするということを使ってないと思って扱ってないというよりはですね、さっき 24 は、三つボーリングコン速度構造がある。これを全部使ってでもこの
1:40:22	三つをそのまま使うんじゃなくてこの建物のあるところの規格構造に即した形でありきサカタで当然なことって、三つ優先していると、今の説明はどこにある。
1:40:35	いや、今の説明、その説明がここに防波壁で言おうとした話にはなってます。で、減衰の時はこれは二つ、上林様の方のデータがあるので、これを両方使います。だから、非常にあるものは全部使ってますという、
1:40:50	説明なんですけども、ただそれがちゃんと書ききれてないっていうのは、ちょっと説明が正しい。
1:40:56	申し訳ないです。はい。あるんですよ。ありきっていうのはこれ 158 ページの、このオオツカ構造の設定のところ、ご説明するアレンジって具体的に何。
1:41:09	えっとですね、24 の下の岩種構造を見たときに、そのですね、東西南北負担のところでの
1:41:21	岩種構造に江藤オオクマ松取りまして、
1:41:25	それぞれの場合は、もうすごい観点によってアレンジって、
1:41:30	ある意味、
1:41:31	ウノは、あれじゃないもんね。まぜこぜデータをね、それっぽいところだけ取り出しました。
1:41:40	いえ、ワン共和版とふやした場合のデータが取れているのかそれぞれのボーリングでありますからそのデータを見たときに、だから二つを合体させたデータを作りました。だから最初からそっち、何でかったりしていいんだよ。
1:41:56	だからそしたら平均的な中央のね。
1:41:59	場所でセットしたのかね。どこで切り取ったんだよ。

1:42:03	この斜めてるところの、はい。それを、あれですアノ西来、西橋と東橋で、
1:42:08	ちゃんと考えました。二次発電はそれがちゃんとなんかもよかった。
1:42:13	ちゃんと書いてないことを書いてないことを今口頭で説明する。間違いで、審査会合直接、きっちりと評価して、
1:42:25	御説明を1からちょっと、ロジック、立て直して多分これ破綻する。そう。
1:42:34	だから、別にミナミていけばいいだけなんで、こんなわかんねえんだから、当然、別に、
1:42:42	ちょっと尾崎さん。
1:42:47	いや、ないんだけどさ、別にいいけどやりたいことがあるわね。でも相当ここはちゃんと説明してもらわないと、あと応答なんかの、で比較するんだったら、こんな程度で済まないよね。
1:43:02	建物の応答を見て、おっきいのをこの時点で選ぶっていうのは、
1:43:14	自分たちの中で、予測感みたいなのはあるかもしれないけど、それが根拠にならないよね。
1:43:27	考えてください、議論すればいいだけだから。
1:43:36	いずれにしろ、
1:43:39	大きなところはすごい
1:43:42	あと、
1:43:43	何か、
1:43:43	ちょっと質問とかああいうところはちゃんと見てないけども、皆さん、
1:43:48	昨日の今日だからね、入れてないと思う。
1:43:51	そんなところにありそうだね。
1:43:53	前回の資料からちょっと変わった点についての確認です。
1:43:58	うん。
1:44:08	プラップの結果、
1:44:13	影響は小さいけど、
1:44:15	業者に否定できないんで、
1:44:27	はい。日本原燃の土橋です。すいません。ここはすいません。田野主事だったので、ここでは、
1:44:34	すいませんE+Fという両方について、影響が小さいかどうかでまとめる。止めた。
1:44:41	はい。
1:44:42	はい、野呂でございます。このところはですねインフラ政府のヒトミ等で国井出野っていうコメント等を

1:44:52	前回会合でもいただいでいて、ここの非線形性に対する検討っていうのを、今回改めてですねちょっとフカホリといいますか、やってきたところでございます。
1:45:04	検討をやってきたところの結果清掃 2 まで含めて、ちょっと我々ですね、ここまでのデータをもう見たときに、これですねこのす
1:45:17	非線形性というのが、もうこれは非常に小さいといいますか、もう設計とみなしていいようなデータであろうなというところまでも最初のデータをする段階で、
1:45:29	言っていないんじゃないだろうかということでこれ、すいません記載を変えてきたというところでございます。
1:45:35	すいません。つまり、評価を変えたんですけど、それは 147 ページ、2 のグラフが変わったことで、見方が変わったと。
1:45:43	現状でございます。このデータが加わったからという因果関係がですね一対一に対応するものではないんですけども、今回をやっていただいたことで、改めてこのデータを俯瞰的に見て、そういうふうにもいえるんであるということ、
1:45:58	ある意味我々の整理を変えたといえはその通りでございますしてそういうことだというふうにご考えてございます。
1:46:11	はい。そうですアノ 2 を見た上で、はい。やはり看板中の影響というところについては、ないというふうにご整理して、
1:46:20	そのイセでございます。以上です。147 ページは前回の説明会を書いているので、大体理由とともに公開をしたっていう、ちょっと説明、はい。はい。はい。
1:46:30	黒文字 159 ページの方に、
1:46:36	なんてさ、
1:46:40	もう 1 回コンセンサス出す。
1:46:43	ある程度ね取られてもうちょっと補足してくださいねって言われたやつがまた変わってきたりする。
1:46:54	そうでございます。ですね。
1:46:59	いいけれども、
1:47:01	別にいいんだけど、
1:47:05	そしたらこうしましたって最初の段階で言えばいいし、
1:47:16	コメントはメントワダから作業員に入れましょうっていうだけであって、決して良いよとかこれは無駄だっていうようなことは言ってないでしょうから。そうですね。消すのは余計な作業でしたよね。もうちょっと根拠をね。

1:47:29	確証を高めるために、そういうのを追加してくださいねって言っただけで追加して、
1:47:36	そんなにおかしくなければね、ていうだけだったら、補強材料っていうかね、そういうだけだったんだよね。
1:47:46	この二つのグループに関しては、結論が逆になったんで、
1:47:51	影響は評価しますって言ったのは、影響は小さいです。すいません。うん。
1:47:57	だからそこはきちんと説明をしないといけないので聞きますけど、何をもって、小さい何をもって影響があるっていう。
1:48:04	判断してるのか。
1:48:06	それもなかったら結論しかない。
1:48:08	だから、判断したときには根拠がしっかりしてないといけないんですね、今後ね、それに検討しますっていうのは、それだけのデータがまだ足りないからね。
1:48:22	その先に持ち越してるっていうふうに見ていっては我々もある種流していくわけですよ。
1:48:30	何かしら判断がそれぞれ入ったところっていうのは、非常に根拠をしっかりと説明していかないといけないんですよ。
1:48:39	だからね、現状今そういう段階に、いろんな物の整理ですねそれで近づいてきてるんだよね。
1:48:51	その段階なんてまたロジック。
1:48:54	すごいし、
1:49:01	規制庁。
1:49:09	前回の会合、ちょっと説明ぶりについて指摘をしたところ、
1:49:15	下から二つ目。配置。
1:49:19	これは持ってきて、はい。はい。
1:49:23	書いてある内容とずっと不整合みたいな。
1:49:26	いまだにありましてですね。
1:49:28	例えばこの指従って3速度、
1:49:32	ジェイのFounderが-Dアンダーが二つあって、
1:49:35	区別がつかない。
1:49:37	左側の柱状図。
1:49:40	今、
1:49:40	受
1:49:42	んとんアノ田井オオツカなくなりましたということと、この二つ。
1:49:52	へえ。
1:49:55	角度協会、

1:49:56	そこが振り返る状況って第1は、
1:50:00	無料の方も拡大する。
1:50:06	泥岩と砂岩なんぼソウノ境界評価について、
1:50:12	何か事故もあってないと、そこ
1:50:16	ですね。
1:50:20	けど、
1:50:21	はい。日本原燃の大賀です。すいません。今岸野さんおっしゃったところは多分ですねイソザキイソダis発足の図で、これちょっと速度がこう段差になってるところは、コウウエダセイノ上と下に二つにこう矢印、名前つけてですがちょっとそれがすごく見えにくくなってるので、
1:50:37	それは何か色を開けるなり、船首を点線とかにするなりしてわかるようにする。
1:50:43	します。で、その上でそれ説明して開ければすいません。それとこの文字の説明は間違っていない。いや、間違っていない。間違っていないんですよ。ずっと。
1:50:54	はい。照らし合わせて、そう見えないだけですカトウ工夫します。はい、おっしゃる通りです。ちゃんと、どの速度どの側溝の速度構造かが判別できるようになればここで、
1:51:06	申し上げている内容と整合した、になると思ってます。
1:51:11	規制庁後文章中に小学校、
1:51:16	⑤は、
1:51:20	はい。少々、
1:51:24	これも、
1:51:25	ですね、Officer検層違う。
1:51:30	アートナガタ抜けてる家レントゲンオガセ、これちょっと名前をちゃんとつけてあげなきゃいけないんですが、その追加調査っていうやつがあるっていうファイル。
1:51:44	実際、
1:51:50	黄色い線です。はい。
1:51:57	はい。
1:52:00	見えないんですよ。わかりません。はい。はい。
1:52:08	10章の修正ケア。
1:52:10	拡大します。
1:52:12	ピンク色が川岸凝灰岩ですけど、
1:52:16	他の柱状図の様に、凝灰岩もそっちが一緒なんですよね。
1:52:21	うん。
1:52:22	そして、



1:52:25	何らかの行い者にとりまして、グループ取り組み
1:52:40	元は説明おっしゃっておりません。ここはちょっと申し訳ありません、ご質問は収支とも違ったので申し訳ありません。ここは再確認させていただきたいんです。
1:52:51	はい。
1:52:52	植野文書もあったつけ。
1:52:56	前回会合通りですね、された文書とか細胞とかっていう観点で、
1:53:03	まだそういうのが、
1:53:04	千野会長が指摘をする。
1:53:07	はい。はい。
1:53:09	はい。現在おかしいです申し訳ありません。はい。加来笹井確認させていただきます。
1:53:18	すいません。最初の古作です。
1:53:21	木曾さんの言われた最初のやつで、
1:53:24	谷田井とかちょっと確認なんですけど、
1:53:29	ktlについて、
1:53:31	コントラストがあるよ。
1:53:33	言って、
1:53:35	それでCuと呉R595 これずっと明示してないですけど、色つきの追加調査も出たってことですよね。はい。
1:53:44	で、
1:53:45	速度が、
1:53:50	2本に分かれている。
1:53:52	それぞれの本の位置は、似ていると。
1:53:56	いうことは何となくわかるんですそれがあれですか、コントラストの大きさっていうのが、
1:54:03	それを、
1:54:04	指してる言葉なんですか。
1:54:07	おっしゃる通りですVsの、何て言うんでしょうか。落差っていうんですかねその大きさは、
1:54:15	いわゆる景気と追加の調査で、同じようになっていますよ、同じような感じの評価というそういうことを言っています。
1:54:23	はい。はい。で、ただ、その切りかわる深さは全然違うおっしゃる通り、日本原電合わせておっしゃる通りです。切りかわる深さはちょっと違いますね。
1:54:33	それを本来、
1:54:35	その岩種の岩盤における速度構造っていうのは、何を意味する。

1:54:44	どうして私がこれまで思っていたの速度構造っていうのは深さと速度の関係を言っているんだと思ったんですけど、
1:54:53	これ深さが違うのに同じ構造って言われてるのが、ピンとこなかったんですけど、
1:55:00	おっしゃるおっしゃる通り、すいません深沢違うものになっております。ただその深さの境界っていうところっていうのは、境界の深さ境界の
1:55:10	深さっていうところについては、あくまでその地盤の増幅特性からいくとそのおなじ岩種の境界が、
1:55:18	昔からこうばらついてる程度だったら大戸に及ぼすようなものにはなりませんのでそこについては、同じものとみなしてその深さの境界っていうところをある程度平均化みたいなところを考えようが、
1:55:29	ある意味ルールといいますか、そういうふう、こんだけ深さがばらついてるのを平均化しちゃっていいんですか。
1:55:40	したらのんべんだらりんとするだけ。
1:55:47	深沢の保険何だろさっきのワンスパンと同じではありませんけど、はい。
1:55:53	徐々に変わってって次に真ん中のちょうどいいところ取りますって言うてるようなもんですよね。はい。おっしゃる通り、そうそう結果的にはそう。
1:56:07	そういうことだというなら、そういうふうに言ってもらえればいいんですけど、そう考えます。
1:56:16	うん。少なくともこのポツがそういうようなことを言ってるようにはちょっと。
1:56:20	読み解けない。
1:56:24	で、一応ですけど図の方も見づらいのがあって、
1:56:28	KTKTと上の線と下の深いところの線、両方とも矢印引いてて、はい。それがですね、結局どちらも何らかの線にダブっちゃってるんですよ。
1:56:42	ktの切り替わるのはマイナス 20 メーターっていうところでいいですか。
1:56:47	いえ、マイナス 10 メーター。
1:56:51	何ですか、20t-10 何メートルなどとするとJTの切り替わってる、ごめんなさい笠野ように見えますすいません日本原燃私が、うん。
1:57:01	ということで、これじゃわかんないですよ。
1:57:06	そこら辺をちゃんとそういうのをわかりこいう説明するんだったら、
1:57:10	そういうところわかるように言って、はい。
1:57:14	その解釈を言うっていうことだと。
1:57:17	はい。日本原燃は今のご指摘については、最もですおっしゃる通りですので、きちんとばっかり
1:57:36	最初から無理だっつって、はい。

1:57:40	なるほど。
1:57:44	じゃあ、
1:57:49	あとはうちも、
1:57:51	昨日の今日だから、
1:57:53	まだまだあると。
1:57:56	いろいろ詰めて、
1:58:04	全部は大丈夫。
1:58:09	はい、規制庁じゃ。
0:00:00	らっしゃいます。
0:00:03	午前中に引き続き、さらに日本原燃とのヒアリングを開始いたします。で、本日ヒアリングは、MOX施設の設工認申請についてですね、昨日提出された資料、
0:00:14	本当に確認を行うのに、午前中から出席者が変更となっておりますので、
0:00:20	出席者だけ、規制庁側。
0:00:22	発生かは、このハバサキキシノってちょっと、
0:00:26	今遅れてちょっと、
0:00:28	ちょうど
0:00:30	とかミデが仕事ですけれどもケツクタニグチ、あとは三菱重工様からのサトウ様いただいております。以上でございます。
0:00:47	外を持ってない。
0:00:50	うん。
0:00:52	はい。はい。すいません。
0:00:57	はい。
0:01:07	スミダ商売。
0:01:10	はい。日本原燃谷口です。本日ご説明をさせていただきたい資料は、設工認申請の対応状況についてのうち、評価パターン3でグローボックスの耐震についてご説明したいというふうに思っております。
0:01:36	きょう資料使ってあげてもいいんですけどさ。はい。
0:01:40	2ページ目にさ、これは許可と違うよね。
0:01:45	この文章二つですか。
0:01:50	許可の中で、グローボックスの構造とアレンジしてね。はい。はい。
0:01:55	はい。
0:01:58	グローボックスの設計と、はい、負圧維持、9月っていうのは、はい。
0:02:06	どういう関係がある。
0:02:09	閉じ込め機能、

0:02:10	日本原燃谷口です。閉じ込め機能を確保するために、できるだけ漏らさないようにするということがうちが負圧にして、インリーク側に移行させてっていう、
0:02:22	グローボックスの設計に対して負圧なんてどうでもいいんだよ。
0:02:29	はい。
0:02:35	と思う。
0:02:37	だから、グローボックスの設計上、許可には、換気設備の機能と相まって内部を負圧にすることが入ってねえんだよ。
0:02:50	書いてあった。
0:03:12	入ってない。
0:03:14	はい、日本のタニグチです。構造として直接、はい。書いてあるところには記載がないです。書いてないので、何てアレンジするんですかっていう。
0:03:25	この間も話したように、
0:03:27	いうところをちゃんとこう絞っていくわけだよ。
0:03:31	そうした時に負圧はさ、ね。
0:03:34	グローボックスの構造の話としては、フランスは関係ないんだよ。うん。
0:03:43	でもそういうことをさ、許可の理解っていうのが適切にできてないわけですよ。もう1個ね、致命的なことを言うと、はい。この先、2、1.2Ssに対しては、負圧じゃできないことになってね。
0:03:58	ていうかね、できるケースとできないケースっていうのがあるわけですよ。それ知ってる。
0:04:04	はい。換気設備が全部止まってしまったんでもね、これは3ページには、はい。また相まってって書いてあんだよ。
0:04:13	はい。はい。
0:04:15	その時点で気づかないといけないんですね。
0:04:19	はい。
0:04:23	だから、全体がさ本当に理解してるかっていうことなんだけど、
0:04:28	グローボックスのさ、設計をフクハラね、この間さね、確認しあったよね。はい。
0:04:36	全然違うことが書いてあるよね。
0:04:42	確認したことに対して余計なことが書いてあるよね。はい。
0:04:46	根井。はい。
0:04:47	じゃない。波及的影響ってさ、何のグローボックスのさ、
0:04:52	うん。

0:04:53	の設計に波及的影響って何か関係ある会社の機器のさ、設計の話だよね。はい。
0:05:00	グローブボックスの設計はさね。
0:05:04	これ関係ないんちゃう。
0:05:07	藤は今現在タニグチです江藤を持っていたのは今グローボックス、耐震クラスSクラスのものがありまして、榎並書記は、特段、してる。
0:05:18	何でその下位クラスの波及影響で、
0:05:22	上位クラスを壊しちゃ駄目よってというのが、ここにもかかるから、だからそれは内装機器側のね、設計でどう配賦されるべき、いいことなんでしょう。はい。はい。
0:05:34	羽根。
0:05:35	だからグローボックスはまずこう作りますっていうだけだよ。はい。はい。だから、内装機器の設計の時にね。
0:05:43	グローボックスに影響を及ぼさないかっていうのが、
0:05:47	になってくるんじゃないの。はい。はい。事故、はい。
0:05:50	いや、いや、別の言い方をするとね、ダイソー機器が、
0:05:56	グローボックスに影響を及ぼさないように、グローボックスにはどういふ配慮をするの。
0:06:08	はい。日本原燃谷口です。
0:06:11	内装基金、
0:06:13	がその報告書の中に置かれるので、その地震が発生をして、揺れが生じたときに当たらないようにする、でだからそのときに、
0:06:24	グローボックスはそもそもどういう配慮をしておくんですか。主事、
0:06:30	日本原燃、衛藤ですけども、その配慮をあらかじめですね、何か細工をして、当たらないようにするんだったらそれはグローボックスの設計かもしれないけれども、
0:06:40	何の配慮もしてないんですよ。
0:06:43	内挿物における内挿物の方で配備する。
0:06:47	ないソフトの方で上下サポート、どのぐらいの作業するというのが正解ですので、はい。グローボックスの基本設計そのものには関係ない話で、そのあと波及的影響を受けないように、
0:06:59	内挿物の方も確認しないといけないということで、正しい理解をしないとさ、グローボックスの話の設計と、対象機器の設計でもこの場合で確認しようと思ってたのが、
0:07:12	できる限り変形を許さないようにしておくとか、そういうのっていうのがね、内装機器の配慮として、

0:07:23	考えているんだったら、そういうものはね。プラスっていうことになるんだけど、そもそもの思想はどうなってるんですかっていうと、思想が答えられなきゃいけない。
0:07:34	三菱重工サトウすみません、谷口さんが編集長に変わったのは、今日ちょっと議論してたんですけど、もともとグローブボックスもすごく大きな変形をしちゃうと、うん。内挿物に当たっちゃうんじゃないかっていう話があって、
0:07:48	最初書いたときの文章の中にその大きい変形を弾性ミキ系押さえるだけじゃなくてオオキ辺境材料みたいなとか、そういうのもあって、そういう
0:07:59	本来だったらない中身との位置関係によって決まる話なんで、うん、いきなり最初はそれが出るわけではないんですけど、そういうものがあつたら当たりやすくなるからっていうのを配慮して、そういう話を昨日されたんで多分その議論があつたから今、
0:08:13	返事がしにくくなってると思うんでだからそれはね、そういう話で、
0:08:17	作ってるんだったら、そもそもグローブボックス、
0:08:21	灯油自体の変形を極力、
0:08:26	小さくすると、そう。
0:08:28	それが何のためっていうのがいくつかあるわけだよね。はい。
0:08:33	理由がだから、下位クラスとの
0:08:36	できる限り相対変位を減らすために、あらかじめグローブボックスが変形しないようにしておきますと。
0:08:45	いう、そういう世界っていうのはあるかもしれないね。そうですね。はい。
0:08:51	根井。
0:08:54	そうするとね、そういう話とそれともう1個のガスケットとかああいう部分に、あらかじめこう圧縮してる量聞こえないよ、ようにとかそういうね、
0:09:06	そういうことで、変形も、
0:09:09	小さくするとか、幾つかの、何かあるんでしょ、変形に対しては、
0:09:17	だからさ、これで3ページの話の弾性設計しますっていう話と、
0:09:25	変形の話。
0:09:27	ていうのはあつたつって、ちょっと違うんだよね。はい。
0:09:32	全体としてはね。
0:09:34	男性の中で、さらに変形も小さくしますっていう、そういう二つのことがまずなんか入ってるんじゃないの。
0:09:48	違うんです。
0:09:50	それがグローボックスに対しての、
0:09:53	何か決め事にしたわけだよね。

0:09:57	具体的な量っていうのが実は、男性っていうのは、ちょっといえるんだけど男性ということで、
0:10:05	定量的になるんだけど、変形っていうのは、
0:10:09	定常化をしてるんですが、
0:10:12	例えばね相関変位なり、全体の変形量なり、何かそういうしてるの。
0:10:20	いえ、日本原燃谷口です。
0:10:23	設計の中で見ていただいているのは、実際の結果として出てきた、変位量を見て、干渉するかしてないかっていうことは見ていただいています。あらかじめその
0:10:33	涙みたいなところに抑えるっていう判断があるかっていうと、それはないと思うんですねそういう人の関係ね。はい。はい。もう1個、
0:10:43	弾性設計の方は、
0:10:46	違う、違う。
0:10:47	よくさ整理したときに、今変形の話をしたときに、変形量があるんですか。男性の方だってもうね、男性でね物量が決まったらいいんだよ。
0:10:59	ね。
0:11:00	で、変形は船の話っていうのは二つあって、対象機器とのね、干渉を可能な限り小さくすると。
0:11:10	いうのでね、これはだから最初っからあらかじめ小さくしておくっていうだけだから、結果第早期との関係でやればいいので、そこで定量化はしてません。
0:11:24	ということなんだよね。もう1個は、ガスケットとかそういう部分に対して、
0:11:30	っていうのは、例えば1ミリ以内にどっか押さえますとかっていうのがあるんですかっていう。
0:11:37	この二つのね。
0:11:39	目的があるからさ、ね、その目的に対して定常的なのかね。あとちょっと定性的なのかっていうのを答えて欲しい。
0:11:49	はい。こういうのがね、整理するものの整理なんですよ。はい。
0:12:02	はい、日本のタニグチです。そうしたら、それでいきますはい。
0:12:06	はい。あるんじゃないかと。
0:12:07	いえ、
0:12:09	ないと思ってます。衛藤問題によってちょっと正直言うと違って、パネルのガスケットみたいなやつっていうのは、比較的、
0:12:20	どういう力がかかるかってのはある程度想定できる部分については、それを

0:12:26	変形量というのを想定した上で、物の構造を決めているので、まずあります。うん。ただ一部の製品について、市販品を取り付けますみたいなやつがついてたりすると、
0:12:38	なかなかミュキ設計から意図できないものは、後から加振試験等で確認してるっていうのがあったりもするので、それがその初期段階の設計の初期段階としても、
0:12:50	もう後で確認したものっていうのが二つに分かれるっていうのがあります最初ではよくわからないっていうのが、結局残るありますことだよな。
0:13:01	それを今さっき言ったのが、試験で確認しますっていう話なんだけど、試験の結果が今どう使われるかっていうのはよくわからない。
0:13:12	よねと。
0:13:14	三菱郷サトウです
0:13:16	そうですねまだその試験の結果をどういう、どこに使うのか、どういう結果が使えるのかっていうご説明あったのでね。だから、
0:13:25	この話の中にどこにどれだけ言っちゃうかっていうのはあるんだけど、
0:13:32	そもそも完全に、
0:13:35	ゼロリンクではないんですね。
0:13:37	とかではそこまでね。
0:13:39	してるんだけど、心配ぶっちゃけた話で、25%の
0:13:46	ボリューム
0:13:48	ものだよな。
0:13:49	はい。合わないけどね。
0:13:52	これってさ、
0:13:55	地震動の、
0:13:57	揺れと、
0:13:58	そこで起こる。
0:14:00	仮に、
0:14:03	B、何かなり、生じたときの、
0:14:06	ものの大きさに、
0:14:09	圧倒的に差があるのか。
0:14:13	際どいの形。
0:14:16	はい。日本原燃谷口です。
0:14:19	具体的に定量的にちょっと評価したことがないんですが、コウノっていうイメージは、入れてらっしゃるんですよ。
0:14:26	間に出てくる隙間で、ウタって、多分そんな三菱重工藤です。ごめんなさい。計算してないっていうちょっと言葉があれなんですけど、出血しない



	の差が大きいからしてないんであって、うん。非常に微小な本間波みたいな議論と、
0:14:41	図書館時もグローブボックス、グローポートがグループ 1 個破綻したとしても大丈夫って評価してあって、寸法的には全然そんな、考えなくてもいいレベルっていうのが絶対にあって、
0:14:54	そういうのは計算してないっていう話なんですけどすいません。
0:14:57	それは許可の時にやってるから。だから原則論として、
0:15:03	は男性。
0:15:04	状態になってれば、仮に途中の経過がわからなかったとして、常にそこに隙間が
0:15:12	ね、地震を受けてる間に、常に、
0:15:17	隙間が空いてたとしても、そんなのは、許可の中の、
0:15:23	許可を受けてる範囲からすると微々たる。
0:15:27	というのが全体的にある。
0:15:30	さらにはですね、地震動、全部ね、ああいう間、そんなふうになってるわけなくってというのが、これがだから、技術的な中で、
0:15:41	我々との関係で、ある種、何も説明せずにも、
0:15:47	成立してるんですかっていうことなんだよね。
0:15:52	でもそれがね、原燃から説明できないっていう。
0:15:56	非常によろしくない。
0:16:00	事業者からね。だからコンセンサスが取れてない。
0:16:07	わかる。だからね、
0:16:10	今が問題で、これ実は定量化を図る必要は実はないのかもしれないですね。だからコウって設計思想なりに戻ると、
0:16:20	ね。
0:16:23	それでも可能な時に、
0:16:26	常に、
0:16:27	ね、リークが生じないような工夫なり配慮として、
0:16:35	ね。
0:16:36	男性の分を最初からね、押し込んで、
0:16:41	そういう、
0:16:44	ところを工夫したりこうすることで、配慮されてるんじゃないのと。
0:16:52	だから、仮にそこに隙間ができてしまったとしても、
0:16:57	最終的には戻ってくるわけだから、その間分ぐらいは、もうあんまりそこは議論しなくてもいいよねと。
0:17:05	構造的にはね。でもそんな開かないように、こんな工夫してあります。
0:17:10	工夫をしようと思ってます。

0:17:12	何か、
0:17:15	どうなの。
0:17:17	聞きゃいけないんだよね。
0:17:19	いえ、すいません。
0:17:22	答えられないと。
0:17:23	いけないんだと思ってます。
0:17:25	日本原燃大切ではなくてもいいんだけど、結局、
0:17:29	ねえ。
0:17:30	大人じゃない。
0:17:32	泉資料、
0:17:36	そういうことで、
0:17:38	大丈夫なんだけども、やっぱりここあからさまにも漏れると外に言うオオハシの話で、でき得る配慮するので、設計上は向上してたり、加振試験した過程で、検証という形で、
0:17:51	モリノ確認したいっていう思います。
0:17:54	だからさ、
0:17:58	それもれるんですカナダから漏れる。
0:18:01	というのは、
0:18:08	駄目。
0:18:16	だからその言ってる間のセトもいるんですよ。グローボックスって漏れたらいかんですか。
0:18:23	事業者的新名セキ所としても、漏れないようになるんです。
0:18:31	廣井。
0:18:33	タカハシ。
0:18:39	はい。
0:18:41	発想が存在してる。
0:18:51	許可、
0:18:54	一応、もちろん
0:19:02	ごめん。
0:19:03	二本柳です。重大事故のときに全部関係も止まって、まず維持できなくてっていう状況になって、いうシナリオになってると。はい。申し上げておりました。設計として、ごめんなさい。DBから含めてって、
0:19:16	いうところをちょっと今、含めて想像してしまいましたんで、その通常運転している状態の時に漏れていいかっていう、いうことを漏れていいですって。
0:19:25	いうのはどうなんだろうなっていうのをちょっと悩んでたところでした。なんでね。

0:19:31	一応そのさっき郡司タニグチです。先ほどおっしゃっていただいた許可の中ででもですね、一応その、
0:19:37	グローブが破損しても、
0:19:39	大丈夫ですねそうそうじゃなくてさ、大丈夫とかさそういうことをね、議論しているわけじゃなくて、そもそも論として、
0:19:50	これがさ、うん。
0:19:52	全体なんだけど、グローブボックスの周りについて、汚染が起こったら、そういう事故が、
0:20:02	ねえ。
0:20:04	事故なのかっていう問い合わせです。いえそれはそうではないと思ってます。なるほど。
0:20:12	異常事象では多分ね。はい。正直ね東電からだからグローブボックスとかさそういうね、実態とか知らないよね。
0:20:20	そんなんだってさ、ね、多少の汚染とか何だか当たり前だよ。だから管理区域をね、汚染のある管理区域、汚染がね。
0:20:30	ね。
0:20:31	許容されてるっていうかね。
0:20:33	いうだけなんだよね。
0:20:36	ね。だからみんなだそのつもりで気をつけるんだよね。
0:20:41	そういうことなんですよ。
0:20:44	色抜きをつけても、一定の汚染なりはする可能性がある区域。だから、気をつけましょうなんで、
0:20:53	そういう管理をしてるわけよ。
0:20:56	核燃料施設っていうのは非密封で扱うところっていうのは、5000万ね。
0:21:04	前提になる。
0:21:10	そういうふうな仕組みになってるからだから人間の活動が重要になってくる。
0:21:17	炉とは違うんだよ。
0:21:26	そこをそういうところだよ。なるほど。何だっけ、JAEAなんてさ、しょっちゅうそういうことわかってる。
0:21:34	だからさ、ね、あなたたちは、
0:21:36	グローブボックスグローブあるよね、グローブにピンホールなりね、どっかでね、家族擦ってね、テライちゃったりするときあるんだよね。
0:21:50	違うと思います。それぐらいで、時間。
0:21:59	後も、
0:22:01	穴が開いてしまえば、そのまま。
0:22:05	銀陸側に出ていくのかなと思いますけど、

0:22:08	外に何かそれで、
0:22:10	出てくるかっていう、いっぱい出てくるんだよ。
0:22:15	現実だね。
0:22:17	いやだからね。結局ね、地震時で揺れてる間の、ちょっとなんてね、そんな隙間があいたうち、実はないぐらいなんです、レベルで、日常的な。
0:22:30	汚染なりそういうものってのはグローブボックスもあるけど、実はいくらでもここ
0:22:34	いる中にいるわけですよ。だからさっき言ったように 0.25 ぐらいのね、リークっていうのをあらかじめ見込んで、あるので別の言い方をすると許容というよりも、
0:22:48	様々なことが起こる。
0:22:51	を見込んであるって言ったほうがいいんだよね。
0:22:53	そのくらいでもね、安全が十分保てるように、
0:22:58	ね、様々な人間活動ね。
0:23:01	も含めて、配慮していくんですよってということなんで、
0:23:07	そういうふうにして、核燃料施設っていうのはもともとそんなふうにしていくのがいいわけですよ。
0:23:15	だからこういう細かいところをあまり議論しなくてもいいとは思ってるんだけど、ただ設計者の配慮としては、そこは最善は尽くしますと。
0:23:26	ということなんだろうっていうのが、
0:23:29	そういう説明であって欲しかったよなとは思ってるんだよ。
0:23:36	はい。
0:23:40	でも最初はどうだったのっていうことだよ。
0:23:47	こういうのが、何か思想とか、
0:23:50	考えとか、
0:23:52	ある種のそれが一定のルールになっていくわけですよ。
0:24:01	だから少なくとも弾性状態。
0:24:04	途中で、
0:24:05	かなりの部分がもう吸収されているほとんどね。
0:24:11	その上で、さらに、リークしやすいとか、変形しやすいとか、なんかね、ノーマルじゃない場所は、
0:24:20	こんな工夫をしますなんてね。
0:24:25	でしょ。
0:24:26	別の言い方をすると、さらにその工夫したところに、
0:24:31	ね、試験でもね、確認しましたみたいなね。
0:24:36	世界に今なってるわけでしょ。

0:24:44	だから、それが何十人も、
0:24:48	念のため、
0:24:49	んなことをやってるのか。
0:24:52	あらかじめそのそれがないと、設計が成立しないのか。
0:24:58	弾性設計だけでは設計が成立しないのか。
0:25:05	どちらなんだろう。
0:25:09	はい。
0:25:11	はい。さあ問題です。はい。
0:25:13	井内です。
0:25:14	今日の議論を踏まえて、
0:25:17	議論が出てるんじゃないかと、はい。
0:25:21	単なる質問な答え。
0:25:23	部分ってなっちゃうよ。
0:25:35	その反対として、弾性設計がされ、
0:25:41	吉田CEO。
0:25:48	すいません。そうです。そうです。
0:25:51	いいんじゃない構造としては、
0:25:54	はい。
0:26:04	一部、
0:26:14	意見です。
0:26:16	設計上の背景なんですよ。はい。
0:26:23	そんなことを見なくても、
0:26:34	自信を持てたし、
0:26:38	こういう男性だけで十分ですよっていう自信を持って、
0:26:45	これはいえるけど、誰も実は言えない。それは難しいよね。
0:26:50	心配なんですよ。
0:26:53	シンボっていえる。
0:26:56	なんで、
0:26:58	形状が維持されて、
0:27:02	その揺れがおさまった後に、
0:27:04	ちゃんと今まで通りやってなかった状態じゃ戻ってきますと、中止決まってもいいの。
0:27:10	で、その途中の隙間は、
0:27:14	途中の隙間ができないような設計上の配慮を可能な限りするということはするんだけど、だからといって、これが生じたら駄目かということではないし、その量は、

0:27:25	その極めて小さい量であって、その営業として考慮しないといけなようなものでもないと思ってますんで、
0:27:35	それでいくと、
0:27:37	イムラというんですかね、
0:27:40	そのブロックが置いてある。
0:27:43	その部屋そのものも、外に比べたら、圧力を下げるとい設計をしていて、それがすぐさま加工外に出ていくって、
0:27:52	というようなことにはならない。
0:27:54	ように設計して、
0:27:57	すぐ言ってるんだね。
0:28:00	はい。
0:28:01	さっき、
0:28:02	いただいたんですが、どうしても発電で負圧にして、
0:28:05	中に※で打っているのでもちよつと個人的にね、まず1点だけ。
0:28:10	うん。
0:28:11	はい。
0:28:13	ここまで言っちゃう。
0:28:21	なんかさ、やらないほうがいいといいじゃん。
0:28:35	まずは出てこないようにするっていう限定されたエリア閉じ込める。
0:28:39	負圧維持ってさ、
0:28:42	そして、
0:28:43	負圧維持ってさ、そもそも積極的輩出っていうふうな感覚にならない。
0:28:52	根井は外に座布団さ出してない。
0:28:58	はい、米谷です。はい。フィルターを介してとはいいながら、はい。関係して、
0:29:04	それを全部出してるっていう。そうですね。フィルター本がさあ。
0:29:08	本当にちゃんと適切に機能してなかった場合は、バンバン出してるんだよね。だからあれはさ、限定がついてるんだよね。限定されたそういう、
0:29:19	適切な場所から積極的に排出することで、
0:29:24	ね。
0:29:25	ある場所の、
0:29:27	ということでしょう。
0:29:29	それは誰のためにやって、分厚い、
0:29:35	コウ一般公衆だと思いました。
0:29:39	それで今の話はちよつと違うじゃん。
0:29:44	最終的に
0:29:50	あげましょう。

0:29:53	目がマエダでない場合、相当積極、
0:29:59	何だ、
0:30:00	タケシタ。
0:30:02	募集
0:30:05	出さない
0:30:19	僕、僕はねだから、それは議論だったグローブボックスの負圧だと、当該グローブボックスの前にいる人のためなんだよ。
0:30:28	もしくはその部屋の、にいる人のためなんです。多分別なので、放射線業務従事者のため、
0:30:35	ていうだけなんだよね。
0:30:38	でもその人たち訓練されてる思想ユリいるんだってことを前提にした場合には、
0:30:43	その人たちが、全面マスクなりしてやれば、
0:30:51	でも、地下 3 階で地震があつてね、このぶちまけたときに、外に、
0:30:58	出にくいでしょう。
0:31:01	根井。
0:31:06	はい。
0:31:12	わかってきた。
0:31:17	だから、このケースはさ、地震時には、
0:31:21	ね。
0:31:22	そういうグローブボックスの周りとか、核燃料物質を粉とかね非密封で、
0:31:27	使ってるところではね。もしかしたら汚染してるかもしれないというものにみんなが入らないといけない。
0:31:38	そしてね、そういうところ炭は 5 とるとか、そういう作業が本来だったら、
0:31:45	稚拙な作業になる。
0:31:46	そのために、預かってさ、入ってるだろう。
0:31:52	ね。
0:31:53	うん。
0:31:55	地震が起こった時にはむしろはそこですね。
0:32:00	だから、そういうのもひっくるめて一定のリークっていうのが許容されてるわけです。
0:32:06	だから地震のリークなんて高間入れてるっていうことでだからその辺、
0:32:11	なるべくそういうのを、
0:32:15	減らすために、
0:32:17	最小化するためにいろんな今回ね、構造的工夫がされてるわけだよね。
0:32:22	ていうそういうふうなことなんだろう。

0:32:26	自分のためになってない。
0:32:28	わかってない。
0:32:30	ねえ。
0:32:32	ちょっと考え改めたほうがいいです。何かすごいでかい地震とかで、何かあったときには、排風機って、
0:32:41	やっぱ閉めて、
0:32:42	隔離した方がいいんだよ。
0:32:50	いや、だから外に漏らさない。
0:32:52	いナカノですね。
0:32:54	うち負けたんだっけ、単なる補正。
0:32:56	ね、外に、
0:32:58	出した事故、
0:33:03	ちょっとね、
0:33:05	わかる。
0:33:09	危険な。
0:33:11	よく理解しとかな
0:33:13	まず、どっか行っちゃうんだ。
0:33:17	II議論して怖い。
0:33:37	うん。
0:33:40	負圧維持。
0:33:44	ノダね。
0:33:46	グローブボックスは、ナカは廃棄により負圧なんですよ。そうっすね。でもこれってさ、
0:33:53	ね。
0:33:56	アオヤマっていうことなんです。いや、あるような情報が鹿庭ユフ庄でやりますっていうのは当然ある。
0:34:04	ただそれと、このグローブボックスの設計の話では、結構それはね、換気の話なんだよ。
0:34:12	そうそうとしてません。
0:34:14	ね。
0:34:15	でしょ。だからそれと地震時の挙動を結びつけてしまうと、常にそいつが、
0:34:21	ね、何て言うのかな前提条件になっちゃうわけ。
0:34:26	ね。
0:34:27	でしょ。
0:34:28	物で足かせになる。
0:34:32	動いてなかったら、磯貝半田、伊井、



0:34:36	ありました。
0:34:38	だから言ってること。
0:34:40	負圧が維持できなかった瞬間に、そのグローボックス許可違反だってやるか。
0:34:46	リークしてんだろうと言われます。
0:34:49	なんないでしょ。したくないでしょ。
0:34:52	なんか、ちゃんとね、リスク対応するってことはこういうことなんですよ。
0:35:01	だんだんわかってきた、俺事業者は駄目かな。
0:35:09	で、そうするとね、これ、これをもう收拾せいかよくわかんないんだけど、
0:35:14	なっていくと。
0:35:22	いろいろとおかしなところなんだよね。まず最初の2ページ目からいくと、換気設備と相まって、とてもネットですね、相まってね漏えいしにくい構造にしてるわけじゃないからね。
0:35:38	設備を要らない。
0:35:40	その漏えいした時に放射性業務従事者になるべくそっち側に行かないようにしてるだけなんで、
0:35:47	波及的影響の防止っていう意味では、
0:35:51	これは内装機器の話だから、関係ないんじゃないですね、今のところは。
0:35:58	でしょ。構造。
0:36:00	次は設計のコンセプト。
0:36:02	ていうと、
0:36:04	また何かいっぱいね、いずれ多くしたんだけど、
0:36:07	そもそも、これね、重大事故時、SA1DSS書きたくないんだっただけど、まず、要は、
0:36:17	これ、この言葉使うと重大事故時を含む地震応答ですね。
0:36:23	ね、どこどこを弾性する入ってないんだよね。
0:36:28	だから、
0:36:31	いや、グローボックス全体だよね、もうね。
0:36:35	ブロック各部だよね。
0:36:37	全部男性なんでしょうが。
0:36:41	蘇生入るとかいつもありませんよっていいんだよね。
0:36:46	構造部
0:36:51	いわゆる概ね弾性。
0:36:55	ローカルなナカイと。
0:36:59	はい。
0:37:00	男性だよね。

0:37:02	しますっていうことが、
0:37:05	基本だよ。これ、これ言ってんだよね、弾性設計しますっていうことだよ。
0:37:11	次は今度さ、ね、変形の話があるんでしょ。
0:37:16	ね。はい。
0:37:22	その辺ね、
0:37:24	変形を極力小さくしますって、可能な限りなのかわかんないけど、小さくしますって何のために、
0:37:39	はい。
0:37:41	まずは、
0:37:43	簡単に関するそういう、
0:37:48	いや、内挿物の二つ目の多少、
0:37:52	はい。さっきの、
0:37:54	さっきのちょっと、
0:38:02	安江。
0:38:04	それは、弾性範囲内に収まるように、
0:38:09	適用な
0:38:13	弾性設計をする
0:38:15	今まで運転した目的で、今の言葉の中の目的、
0:38:19	はい。
0:38:21	弾性設計する目的はない。
0:38:24	同意をしにくい構造にすると。
0:38:27	応援しにくい。
0:38:31	だからさ、面白いね。
0:38:33	ねえ。
0:38:35	問題の中から、目的 5 ね目的を選びなさいっていう問題なのに、問題ない答え書いちゃうんだよ。
0:38:49	だから言ってるじゃん。閉じ込め機能を確保するためってね、自分で書いてるじゃん。
0:38:56	ねえ。
0:38:57	だから閉じ込め機能を確保するために、グローブボックスは、こういう地震等に対して弾性範囲と、に進出なんでしょう。
0:39:10	ね、目的は閉じ込め機能を確保するためなんですよ。
0:39:14	ねえ。だから今度はね。変容極力抑えますなんだよね。だから、同じ言葉に乗っけないといけないんだよね。
0:39:25	同じコウね。
0:39:28	パターン。

0:39:30	そうその方が皆さん読みやすいじゃん。そうすると何で変形。
0:39:35	最後は、
0:39:40	はい。なんで、その理由が二つだと思ってまして。うん。
0:39:46	復習でさ。はい。
0:39:49	一つ目が、
0:39:51	貫通部、
0:39:52	なりそういう漏えいが生じそうな構造物のところからは、極力漏えいしないようにさせるために変更されます。で、もう一つは、内部の機器が設置されているので、
0:40:02	そういう干渉を防止するために、
0:40:04	できるだけちっちゃくします。
0:40:08	賞詞。
0:40:11	をして、
0:40:14	干渉を生じさせないようです。
0:40:23	そういう子、言葉遣いもあるかもしれないけど、相手がさいる話だからさ。
0:40:29	ね。
0:40:30	これ2人でした。
0:40:32	干渉しないようにしたりしないといけないんだけどね、少なくとも僕は動かないようにしますって言うてるだけなんだよ。
0:40:41	阿蘇総合影響。
0:40:43	ね、僕は10センチ動くよってね、言って、じゃあオクはですね、20センチまで動けるっていう話になるわけでしょ。設備側はね、僕は1ミリしか動かない。
0:40:55	ですよって言うてるだけじゃ僕は最初衛藤ね、30ミリ動いてもいい。
0:41:00	いいんだねってなるんでしょ。そういうことを機器側でやるんじゃないの。
0:41:08	ね。
0:41:09	ただね、単純にですね、
0:41:13	ちょっと相互影響、
0:41:15	もう、
0:41:16	のためにね、グローブボックス自体は大きな変形をしないようにするっていうだけなんだよね。
0:41:26	設計の順番がそういうふうになってるんですよまずグローブボックスの設計から始まってんだよね。
0:41:35	何となくわかってきた。
0:41:38	その前の方、

0:41:41	その貫通部とかが設備として存在するので、そういった
0:41:57	変形が大きくて、隙間が大きくなると。
0:42:00	てるよりは、たくさん出てしまうかもわかんないんですけど別に何か漏れても問題としては影響がないようなんですよ。
0:42:08	取れる話なんかしてないじゃん。
0:42:19	その周りがぼっ
0:42:22	なんでその周りが変形が、
0:42:24	変形が大きくならないようにするんだよね。はい。だからね、
0:42:28	ほっといたら変形が大きくなっちゃうかもしれないというふうに思えばいいんですよ。
0:42:36	ねえ。何で変形が大きくなっちゃう。
0:42:50	やわらかい材料を使ってるから。
0:42:54	うん。
0:42:57	なの。
0:43:03	材料が違うところでね。
0:43:06	なんだね。
0:43:14	何かそういうさ、
0:43:17	施工シフトね。
0:43:21	別にいいじゃん。
0:43:28	男性だから、
0:43:37	ねえ。
0:43:39	でいいんだよ。
0:43:46	こんな、
0:43:47	責めてるわけじゃないんだけどさ。
0:43:54	途中状態が、
0:43:56	いずれの状態だった。
0:43:59	弾性設計することで、
0:44:02	従来の形状に戻ってきます。
0:44:13	でしょう。
0:44:14	なってしまって、
0:44:15	いいよね。はい。
0:44:21	でもなんか、
0:44:23	押さえたかったんでしょう。
0:44:38	どうしても思ってしまう可能な限り
0:44:44	漏れたとしても影響が少なくなる。
0:44:50	付けたとしても影響が少ないっていうところがさ、

0:44:54	根井タカヤモリ徳田ねはい。はい。はい。
0:44:59	いや、だからそこなんだよねそこの物の言い方なんだよね。
0:45:03	ねえ。
0:45:06	だから、漏れるとか漏れないというより、
0:45:09	好きな問題だよね。
0:45:12	だね、きっとね。
0:45:14	だから、だからね、構想的に何やったかっつたら、
0:45:19	はい。
0:45:20	この隙間が課題ぐらいの世界をやっただけでしょ。
0:45:24	それはだから、リークするとかしないのかなのか。
0:45:28	ていうつもりなのかね。
0:45:31	ね、単純にね。
0:45:35	何て言うのかな。
0:45:36	コウ。
0:45:37	よく挙動なり、細かく見れないところに対して、多分、この最終的にはこの圧縮して、この変形なんだよね。
0:45:48	ね。だから、現金をちっちゃくすると何か有利なことがあるんでしょ。
0:45:57	だから少なくともね、
0:45:59	漏れるとかって言ったらね、少なくとも挙動中に、
0:46:06	リンクが発生しないように、小さくするとかさね、発生しがたいように、変形はそういう部分のパッキン部分みたいところの変形は小さくしますとかね。
0:46:18	とか、
0:46:19	なんていうのを構造的にですな。
0:46:22	ね。
0:46:23	構造的にリークしやすい部分は気をつけてるってことなんでしょ。
0:46:29	他は溶接とかさ。
0:46:31	なってるから、
0:46:35	そういうところって何なのって言ったらね、開口部とかパネル部分とか、何だかっていう、
0:46:43	全部ちゃんとあげたほうがいい。
0:46:48	ていうところはね。
0:46:51	変形が生じやすい部分なんだよね。
0:46:54	もともとね、構造的に変形がしやすい部分も小さくするようにしますっていうことだけなんじゃないの。
0:47:08	まずね。
0:47:11	大分違いますよ。そうそうそうなんだよ。そう。

0:47:14	単純にね。
0:47:18	何かシンボ
0:47:22	ちゃんとそういうところで、これ書いてある。
0:47:28	でそれであるとき、具体的にはっていうところだよ。そういう部分っていうのは、
0:47:34	ね。だから、これじゃ役割がさ、いくつかですか。
0:47:39	構造的にサポートとして、小さくするっていうのは、どっちのためなの。両方。
0:47:49	サポート。
0:47:53	どうして。
0:48:05	美味しかった鑑賞後だと思います。
0:48:09	勸奨。
0:48:10	麻生コイケ押川。
0:48:14	両方じゃない。
0:48:16	家族に対しては、
0:48:18	もちろん、
0:48:19	近くに部
0:48:38	設計配慮としては、
0:48:40	土地抑えれば全体変形させるから、
0:48:44	解放。
0:48:46	ローカルな話をして、変な変形しそうっていうことを気にしてる。
0:48:51	かもしれないけど、それをだから設計したり、
0:48:54	結果の話であって、総論としては、うん、別に開口部、さっきの設計上の配慮はなさそうあっちゃいけないっていうか
0:49:03	閉じ込め機能維持のための、
0:49:11	どっちなのね、おそらく。
0:49:14	上からついたら良いからっていうのは、
0:49:16	もう絶対なんだよね。
0:49:21	だけの話なんだよね。だからもうそれだけなんでやってる配慮って、
0:49:26	で、あとは今度はローカルな話っていうのがね、そういう開口部とかの話。
0:49:31	例えばだからその中に、少なくとも応力集中しないように、円形でやってみるみたいなのが、全部それでいけると。
0:49:42	とか、こういう、
0:49:44	構造的にね。
0:49:46	押さえて、

0:49:48	多少の変形があったとしても、隙間が開かないようにしますとか、あとは、こっちの、
0:49:56	計装の貫通部みたいなのがそこがゴムパッキン。
0:50:00	鳥羽上手してるのもありますし、ゴムで留めてるのもあります。だからそれぞれとり方が違うんでそこはさ、また、
0:50:10	円で、乾燥させてるんですよね。そっつて多分、今度ね、その前なんですけど、応力集中しないようにね。
0:50:21	でもそういうのって、共通したさ。
0:50:25	何かルールでやったんでしょ、今日ルール話したでしょ。はい。
0:50:29	根井。
0:50:35	嘘。そういう、そこだけをまず整理することだよね。
0:50:41	だからね、
0:50:42	ルール化と目的とルール化なんだよね。
0:50:46	そう。なるほどって思ったら、
0:50:49	みんなそうなってんのっていうのと、あと今度はさ、ちょっと、まずそこまでね。
0:50:56	あとさもうローカルな話としてはさ、吸気と排気コウあるじゃん。あそこのグローブボックスの。
0:51:05	何て言うのかな。
0:51:06	構造的にはさ、フランジのところ、
0:51:11	なってるっていいのかな。
0:51:14	はい。フランジ取りやってます。うん。
0:51:17	そうするとフランジから、
0:51:19	ユキなりは一井側っていうのは、
0:51:22	そっちの設計で配慮するわけだよね。
0:51:27	フランジから先の部分はそうです。
0:51:30	はい。そう。だからフランジ部分の取り付けのところは、結構応力集中しないようにとか、
0:51:37	フランジで多分パッキンとかも入れるんでしょ。そういうふうになりますっていった形でもあるわけね。
0:51:49	確認だけ。
0:51:53	でそれを当たり前の、まず整理されたとしたら、今回どこまで、
0:52:03	説明をどうすんの。
0:52:05	はい。日本原燃谷口です。
0:52:08	そういった、その上流側の整理として、
0:52:13	共通的な、
0:52:15	設計コンセプト。

0:52:17	お示しをして、そのコンセプトに沿って、
0:52:21	見られてる。
0:52:22	ていうことを、
0:52:23	今後ご説明していきます。
0:52:29	と、
0:52:33	GBの菅田井。
0:52:34	と、その貫通部なりを、その設計するための、
0:52:38	設計コンセプトとして、こういう考え方で、
0:52:41	グローボックスの閉じ込め機能を確保するような構造になっています。
0:52:48	で、その考え方に沿って、
0:52:50	今後きちんとその構造の詳細をご説明します。
0:52:57	今回は、村野です。こういう、
0:53:00	ある部分、
0:53:02	話をしたじゃんね。製図出てくるのかさ、ね、上をサポートとりますとか、
0:53:12	しますと、普通は幾つか、
0:53:15	こんなふうにして、設計上のね、
0:53:21	改良を
0:53:22	さらなる設計上の配慮として、
0:53:25	こんなことしますって、
0:53:27	というのが、それは全体の、
0:53:31	グローボックスに対する方針でございます。
0:53:34	という、いう説明までは、
0:53:37	かもしれないじゃん。はい。
0:53:39	根井イセで終わり。
0:53:43	はい。はい。そう。そうだと思ってます。
0:53:46	うん。あくまでお話ときはそこまで。
0:53:48	うん。
0:53:52	それに沿った、それに沿ったらいいじゃそれはもう確かにそこまで、
0:54:01	いう、そこまでしかできない。
0:54:06	あ、波及的な内挿物の話を、
0:54:09	だからね。決得さん、相変わらずわかってないんだけど、
0:54:14	それはもう普通の話してない。なるほど。ブロックの設計も終わったなん ていうのはたくさんあるような内挿物の設計の話をさしたがるんだよ。いや、ブルーボックス終わりますんで理解します。すいません。
0:54:27	いや終わってもないけど始まりの最初のところだけだね。
0:54:32	いい話だとだから、



0:54:34	総体に対してサポートのずれがあります、こういう物でありますこういう構造がありますそれぞれ、
0:54:40	こういう範囲をしてます大井所長の種田コウです。それから、この反力を、出ないようにこうしようとかっていろんなパターンで、全部並べたければ形までわかるっていうところまで今回出すっておっしゃったんですよね。
0:54:57	そうすると、今回は形までしかわかんないんだけど、
0:55:03	今後、
0:55:05	等、
0:55:06	今後の評価とか、
0:55:09	どういうことを考えて評価したかに繋がるようなところまでは書かずに単純に並べるだけおしまいよっていうこといいんですよねってのが今の、
0:55:19	質問なんだけど。
0:55:22	私もその
0:55:25	まだ実際その評価に入るまでじゃその構造、
0:55:28	どういうふうに、
0:55:29	分解して評価するんですかっていうのもまだステップとしてご説明しないといけない。そうそう。
0:55:37	はい。
0:55:39	投票したんでしょ。
0:55:41	はい、了解はしてあるのをしております。はい。
0:56:00	メーカーさんになってない。
0:56:03	いや、評価なんかさ、グローボックスの確保がさ、男性だったら俺がこれ、
0:56:13	説明をしてからいくとそうなるんだよ。
0:56:22	鹿庭ご説明すること。
0:56:26	ディテールの部分っていうのは、パターンね、あって、ディテール部分はこれこうしてマスクをしてますっていう、おまけですけどだよね。
0:56:38	こういうファイルのグローボックスには、こういうのはこういう配慮してますって、
0:56:44	言うだけだよね。
0:56:45	はい。それってだからさ、設計上の配慮。だから基本はもう弾性設計さえしとけば、許可の許可事項は担保できませんということなんだよね。
0:57:00	なんだけど、それに付加価値がついてるんですよ僕たちはっていう
0:57:07	いうことだよね。
0:57:09	だから、

0:57:13	それだけでしょ。
0:57:16	違う。
0:57:18	でもさ、残念なことさ。
0:57:22	なんだっけ。
0:57:23	建築、
0:57:25	覚えてないんだよね。
0:57:28	ね。
0:57:32	どうしよう。
0:57:43	説明の流れとしては、
0:57:45	その弾性設計になってるんです。実際のその、
0:57:49	観測なり、開口部の詳細な挙動ってどういうふうになるんですかみたいなところは、聞こえる。
0:57:56	いや、だってそうだったら、担保できちゃうんですよってさっきは言ってたんだからさ。
0:58:03	それいいね、私はおまけなんでしょう。はい、和気です。
0:58:07	思いはいいかなって。
0:58:09	紬希いらねえかって、
0:58:13	というか、気持ちはおまけなんですけど一応我々としてはこんな確認をしてますよって。
0:58:19	いうのはよかったのかなっておっしゃいました。
0:58:23	池戸アノ俊として出てくる内容ではないですか。
0:58:36	だから、
0:58:37	現状さ、だから、まだ使い道がよくわかんないんだよね、正直。
0:58:42	結果、
0:58:44	すべて解析に男性。
0:58:47	わかる。
0:58:49	鋼材分の
0:58:52	東西で正しい。
0:58:54	パネルそのものは、
0:58:56	今のFEMモデルに関係ない、入ってないんで、そこはそこはそちらにないんですね、いろいろな整理、
0:59:07	話からすると、あれ、どういう機能なんだろう、限界加速度みたいなのをセットしたときに、実機じゃないと。
0:59:16	実機は適用範囲に入るよね。
0:59:20	ねえ。

0:59:21	だから、実機でないのが不適用だけ適用範囲ってあるじゃん。やって、例えばさすがい観点で能登の地震でもさ、もっちゃったやつと思ってないやつがさ、
0:59:33	お隣同士でもいたりするわけだよね。
0:59:36	ね。
0:59:37	例えば振動台に、
0:59:39	音持ったり言えば最初にのつけて、その地震入れました。もう言えばね、ナガヌマでもちます。
0:59:48	本当に来て、
0:59:50	落ちました。
0:59:53	ね、隣の壊れちゃったね。
0:59:57	隣の家も何かあるまで、
1:00:00	ね、何でうちは何かに耐えられなかったんですかって言ったときに、いやそれはお宅の方が、この家と違うでしょって言うわけでしょ。
1:00:09	ね、今回のグローブボックスも一緒だよね。
1:00:13	ねえ、乗つけたグローブボックスと違うじゃん。
1:00:18	てなるんでしょ。
1:00:19	ね。だから保証されてないんだよ。
1:00:24	完全に保証されてないんだよね。
1:00:27	ね。
1:00:29	もう皆さんあたかも保障されているように説明してるじゃん。
1:00:34	ねえ。だから、数、なぜ保障されるかっていう説明がさ、ちゃんとされない限り、あんまりアレルギーがあってっていうことなんだよね。
1:00:45	それを言ってる。それはだから別の補償範囲ってというのがさ、ね、適用範囲なわけだよね。
1:00:52	ね。どっかでね、ある多分幅を持っていてこの辺まで大丈夫だけどもね。こっからはもう超えたらね、保証しませんよっていうのの中に、
1:01:02	今回は入っているんですか、っていうことなんだよね。
1:01:08	だから、ああいうのを使う。すごさ。
1:01:11	ねえ。
1:01:12	難しいんだよね。わかるでしょ。
1:01:19	何でそれ、
1:01:20	保証できる。
1:01:24	はい。できんだ。
1:01:27	私今、はい。
1:01:29	Dの範囲で、
1:01:30	的に説明できるとすると、保証できるんですかって聞いているの。

1:01:37	はい、そのつもりでおります。はい。
1:01:41	俺なんかずっとさ。
1:01:44	わかんない。
1:01:46	週末これですっきり過ごせるのは、
1:01:51	アノ。
1:01:52	そこで保証入ってっていうのがあるの。
1:01:55	補償範囲とかその、
1:01:57	確認として、
1:01:59	どこまでそのグローブボックスが嫌だから、
1:02:02	実機じゃないところの、どの範囲まで適用している。
1:02:09	あとパネルの漏えいですと、
1:02:11	ある試験をやっているパネルの大きさがありまして、
1:02:15	そのパネルよりも、
1:02:17	実機で使ってるパネルが小さいパネルであれば、
1:02:21	その
1:02:22	揺れたときの影響としては、より小さくなるでしょうから、
1:02:25	より厳しい条件
1:02:27	の下、その結果、
1:02:35	来ただけじゃないよね、締め付け具合はね。
1:02:39	設置shouldのピッチ。
1:02:44	から固有振動数。
1:02:49	そういうものをどこまで依存する。
1:02:55	パネルとしては、
1:02:57	今、概念的な話しかしてなくて、はい。
1:03:01	それはそうです。
1:03:03	だからね、何かを一緒にしないといけないんでもうピッチはこれだけね、 こういう条件でこうだったらね、小さいもんだったら大丈夫。
1:03:18	そうするとその加速度ってどこまでパネルの加速度なんですか。
1:03:23	どこの、
1:03:25	話をしてるんですかとかなんて言って使えれるのか。
1:03:34	ちゃんと詰まってるかっていう。
1:03:39	はい。
1:03:42	俺の質問に答えて、
1:03:47	使えるか使えないかと、さっきの種類は、
1:03:53	実際にパネルに取りつけるナカノ、実機で取りつける形状の、きっと同じ 材質、

1:04:00	同じ寸法の罰金、
1:04:02	むしろ違うんだよ、今信用できるのは振動台乗ってた方なんで、
1:04:09	だからそいつカナイからずれるところまで、
1:04:12	適用できるんですかっていう問いだから、
1:04:15	ね。
1:04:18	パネルは、振動台乗つけたものと同一のもの。
1:04:22	パッキンも同一のものですよね。この締め、締め付け具合は、
1:04:30	アノは、
1:04:32	同じです。同じってない。
1:04:35	その同じピッチで同じボルトで、
1:04:37	同じ締め付けるホデっていう、その締め付けを行って、設置をした。
1:04:42	パネル。
1:04:44	で、試験してます。
1:04:46	それで、どこの家族とか、
1:04:50	確認すればいい。
1:04:52	今とっている加速度は、実際のそのつ取りつけているフレーム部分のその単体部分でもフレームは全体が構造変わったときに変わっちゃうよね。
1:05:02	はい。で、新藤アノ。
1:05:07	揺れの大きさは変わるんだと思っているんですけども、揺れたときに出るその歓待のこの、こういうその揺れ方の形状、
1:05:16	は、出せてると。
1:05:19	まして、そのハラダ計画だから、できるだけ変位が大きくなるん。それミキに行くわけだよね。はい。はい。
1:05:29	で、今もさ、解析上パネルがくっついてないね。
1:05:33	はい。はい。ね。はい。だから、わかんない。
1:05:37	で、その実際に過小試験をやった、その試験体の状態を再現できるかどうかっていう。
1:05:44	解析との比較のその試験の中で、運営だからいいよ。はい。うん。
1:05:50	そこはいい。
1:05:52	やられていて、それが乗つけたものに対して保障できてるからね、載っけてないものの補償の話で、そのときに、立てた解析モデルの、
1:06:02	作り方の考え方と同じ考え方で、今の実機の
1:06:08	モデルの評価もわかるんですけど、そこまでもわからないな、そこまでちょっと新開の家でも同じだったんですけど、
1:06:16	フレームが加速度は同じだったとして、

1:06:19	パネルの加速度が本当に同じなんですかっていうのは、パネルのパネルの固有値という概念がちょっと難しいんだけど、によっても違うし、もちろん入れた入力度、もしくは、加振台の場合は信頼上の加速度の関係と、
1:06:35	それが同じになるかっていうのがわからない。
1:06:39	それがだから、本当はそういうアプローチではないから、前々回の議論のときに、機能確認済み加速度っていう概念がおかしいって話になっていて、
1:06:51	それでおかしいよねっていうので、
1:06:53	考え方なんだったんだろうっていうと、藤ゴムに対し一番不利になるのは、ゴムが一番コウ。
1:07:01	潰した後に出し逃げる方向だから、そういう慣性力が、パネルにかかったとき、
1:07:08	が、伊井監査役なったとき、厳しいはずっていう話になって、そうすると、例えばおっきいのとちっちゃいんだったらちっちゃな容器方が重さがあるんだっけ慣性力が大きくなる。
1:07:18	もちろん潰し色も増えていくよねって話になって、だからそういう説明ならできそうだねっていう議論をしたから、そちのどっかいので包絡できてるよねみたいな議論があったとしても、なかなかそこで暴落してるわけではなくて、
1:07:32	たまたまそういうシールメカニズムに置き換えたときに、
1:07:37	こういう押し付け力が均等にかかったらこうだからっていう話であって、だからだから家族で整理すんのそこに会社やめましょうっていう話。
1:07:46	だったんだと。
1:07:47	だから、確認できてるっていう概念が確認できてるのはあくまでも、
1:07:52	さっきの説明だと、
1:07:55	試験体、これ言った時の債務パネルだけ。いや、いや、だから言ってるんだよ。
1:08:02	さっきの解析でもふわっとしちゃったでしょ。
1:08:05	ね。
1:08:10	そうするとね、解析では何だかって言ったら、こういうセキモデル。
1:08:15	作り方でマルバツが決まっちゃうのってなっちゃうじゃん。
1:08:23	いずれにしろさ、それじゃすっきりしないんですよ。
1:08:32	やった方がいいのでは、何か適用範囲があったとしても、今、
1:08:37	実験しての1点、数点、その数種類のやつってそれぞれ1点のある1点答えになっていて、それに対して範囲っていうのは、前か後かなり、それを、

1:08:47	上限がいい加減なイシタ時の話なんだけど、その説明が多分今できる準備はまだ僕らはできてない。
1:08:54	ていうのもあるし、もう少し、
1:08:58	ちょっと話を変えると、今のFEMで出した、本体の解析の結果っていうのもなんで、
1:09:07	パネルをモデル化しなくていいんですかとか、こういう考え方だからとか、そういうのを、説明できる準備がまだできてない。
1:09:16	から、多分後回しにしてるっていうことになるんだけど、それ。
1:09:21	説明できる値、当たり前で全部できるはずなんですよ。だけどそういう、ちゃんと。
1:09:27	ステップステップの説明ができないからなんだけど、
1:09:31	田井の会合でどこ目指しますかっていう話では、次のやつを意識してどこが
1:09:36	なんていうのもあった方がいいかなと思って、どこでやめますかっていう話。
1:09:42	で、まず都築の言葉だけからするとさっきの話だけだったら形の話で、単純な、
1:09:48	後々の、
1:09:50	類型化って言葉が正しいかどうかは別として、そういうのも意識して、こうだからこれはやりにコウダからこれはやらなくていいという意識した分類ができて、説明していくと。
1:10:00	3月に会合に向けた準備がすごく
1:10:04	から同士、
1:10:06	話だ。
1:10:12	せっかくアップしたとか、実験あんだけ金かけてやったし、それほど馬鹿なこともやってないから、もう少し使い勝手があるんじゃないかなと思ってるので、
1:10:24	ただ所詮最初に言ったように、この話を、ざっくり言っちゃったら、もう男性だったらまずまあ大丈夫だよっていうところに、議決してるだろうと。
1:10:34	思うんだよね。それをさらになんて言うのかな、もう漏れませんまで。
1:10:40	持っていくのかね。
1:10:44	弾性状態っていうのはね。そんなに大きな利益は発生しないっていうだけの問題ない範囲で、リンクするしないとわかりません。
1:10:55	ただおっきい理由はしないし、許可も満足できますという話としては出してないね。
1:11:04	事業者の説明として、

1:11:06	この入りゼロでしたというところまで持っていこうとか、堀井久島線とか何だかしてますか。
1:11:15	一番最初の弾性っていう話ではなくて、後、機能限界加速度以下だから0ですと。
1:11:24	でしょ。
1:11:26	随分変わった。
1:11:28	いるかっていう話で、
1:11:36	何百億もかかっているねとったんだよね。
1:11:43	最初難しい。
1:12:08	我々目的は、許可をもらったからそうなんですけど、だから今、
1:12:17	外外向きにね、
1:12:20	意識しなきゃいけない
1:12:22	そういう観点で取れません。
1:12:26	設計配慮までをしてますするっていう関係で、法律にするのかってそれがここに早々相違なのかどうかという話だけなんですよね。
1:12:36	ただ、
1:12:39	でもなんか、
1:12:41	全然触れてもいいんですわって言いながらも、その数字出してるわけでもないし、なかなかちょっと、
1:12:46	ちょっともう1回整理ができますよね。はい。
1:12:51	29日です。
1:12:53	どうぞ。
1:12:55	今、その数字だけ説明をしてくるので、何もしないっていう
1:13:00	何も疾走
1:13:10	議論さ
1:13:18	を、
1:13:26	これも
1:13:27	設計。
1:13:28	かぶったんですか。
1:13:34	あります。
1:13:35	言うかもしれない。
1:13:41	そうです。
1:13:50	だから、何しろ重要なことはね、今日これだけ時間かけてこの間から受けてるのは、
1:13:57	現在はこういうところか。
1:14:00	すべてにおいてしっかりしてないんで、
1:14:03	今日もさ、午前中に言ったでしょ。



1:14:07	何かをね、判断すると。
1:14:09	何か決めてるはずなのに、イレギュラーをやってみたりね、そのところだけの都合のいい説明をすると、よそに行った時にその話が矛盾してしまう。
1:14:21	だから、ルールも、
1:14:24	一貫してなかったり、ただそれはね、ルールっていう言葉と、考え方とか方針とかね。同じことなんだけど、言葉的にはね、
1:14:34	いろいろね、こう違ってるけど一緒なんだよね。
1:14:37	これも一緒でしょ。
1:14:39	根井。
1:14:40	嘘、そういうところがちゃんとしてない。
1:14:43	一番大事な、一番最初の部分が、
1:14:47	ね、ちゃんとしてないで、各論なりねそういうところの説明をしてるんですよ。
1:14:53	常に、
1:14:54	戻ってるね。
1:14:56	できてるはずのところをして質問すると。
1:15:00	ちゃんとできてないで、自分はできてると思ってたんだよ。
1:15:05	でも詰まってないわけですよ。
1:15:08	ちゃんとね。
1:15:10	単純な質問にね、翻弄されるわけですよ。
1:15:15	この話なんて負圧言ってるんだよみたいな。
1:15:19	言葉で聞かれちゃってさ。
1:15:22	汚染していいのかってね、汚染が起こったときにはね、これはコウダってさ、大したことね説明するくせにね。
1:15:30	ね現在残ってるよね。
1:15:33	なんかねえ。
1:15:35	何でもありません。
1:15:39	どっちになるとね、行ってきたりとも漏えいしないようにこんなことやってますみたいな説明してるわけだよね。
1:15:46	じゃない。
1:15:47	何か一貫してないんだよ。
1:15:51	だからね、あたふたするし、
1:16:01	なんで駄目。
1:16:02	こっちにマスクぶら下げてる加茂さんのやつがさ、ぶら下げて言ってるんだよ。
1:16:10	ね。

1:16:11	それでき不要な被ばくなり、汚染するんだよ。
1:16:15	じゃない。
1:16:19	後から気づきませんでしたとかさ。
1:16:24	いや多分セットこういうところに、今後、
1:16:28	こういう理解をちゃんとすると、
1:16:31	その理解のもとに、ミツイてれば行動ができるんだよ。
1:16:38	これ、能力とか経験とか訓練っていうんだよ。
1:16:44	だからさ、やっちゃいけないんだよ。
1:16:46	まだ。
1:16:48	わかる。
1:16:50	現場の人がこういうことを理解して、
1:16:54	グローブボックスってもしかしたら地震、地震の後はね。こういう部分が、だからね、ちょっと汚染してるかもしれないぐらいのつモリイで、ただ一応ちょっと念のために、
1:17:07	こういうところ隅をとってみましようかとか、
1:17:11	時々角谷とってみましようかとかさ。
1:17:15	根井。
1:17:16	やりやいました。
1:17:17	スミエ取る時にはマスクした方がいいよねとかさ。
1:17:23	ね。
1:17:23	これがだから、リスクとかそういうの含めてなんだけど、だから、そういう説明、こういうところに出るんだよ。
1:17:32	よっぽど俺の方が現場行ってないけど、経験者下にある現場行ってるからね。
1:17:44	トラブルした時にね、皆さんね、
1:17:50	プールのオカタブチ負けるとどうなるかとかさ。
1:17:57	広がるんだよね。
1:18:00	いずれにしろここまで、
1:18:04	自分のものにして、
1:18:08	だんだんわかってきたわかってないことが上がってきた。
1:18:11	ねえ。そう。
1:18:12	詰まってないよね。
1:18:16	だから 10 行で、これでいいのかとか、
1:18:19	なぜとか、
1:18:22	っていうのはやっぱり、なぜだよ、なぜ
1:18:26	差あるかいたじゃん、これ何でだろうとかなぜだろうっていうのを、自分で書いたものに問い掛けるじゃん。

1:18:34	ね。
1:18:35	そうするとねその答えはね。
1:18:37	ね、それより上流にある。
1:18:40	各論側にはないんだよ。
1:18:43	その答えって、
1:18:45	だからなぜなぜなぜってやっていくと、結構、
1:18:49	ね。
1:18:50	ずっと上流行けるんだよ。
1:18:53	だからなぜやってないんだよね。なんでこれでいいんだろう。
1:18:57	さっきのね、何か、
1:18:59	昨日何だか加速度のときにね、それでなぜ、
1:19:03	なぜ問いかけてないで、自分でこれでいいよと思って、
1:19:07	他人がやったことを、
1:19:09	江田ですね、つ詰めてないっていうことはなぜなんだろうっていうところを、
1:19:16	すべてやってないから、
1:19:19	なぜやっちゃうと、
1:19:20	これってさ、何かおかしくないって。
1:19:25	なるのよ。
1:19:27	解けないって気持ち悪いんだよもうね。
1:19:31	溶けてないんだよこれ。
1:19:34	こんだけ金かけてさ、みんなやってやったかって言ったのに、使いもんだねっていうのをさ、
1:19:40	でなくて、自分のどっかがおかしいんだろうなとか思って、
1:19:45	根井でも何でやっても、
1:19:47	同じようなところで、
1:19:49	止まるんだよね。
1:19:56	でも何かそれそこに、
1:19:58	理屈があって使う適用範囲のコグマコウね、出てくるんだろうと思うんだけどさ、いや、そうなんで、必ずそうなんですネ。
1:20:09	この話、ある種、結構実験たくさんやってるから、多少変わってもわからん使わないんだよねそんなにね。
1:20:17	それはわかってるんだけど、
1:20:19	ね。
1:20:20	それのをどう説明していいかが、
1:20:24	わからない。
1:20:26	何かね。物理的にコウね、科学的な根拠の何か説明できる。

1:20:35	でもそれやってなんかはそうか。なるほど。そういうことか。
1:20:41	そうすると、使い道がすごい広がるんだよね。
1:20:47	なんかそういうことだよね。
1:20:50	突き詰めて欲しいんですよ。
1:20:54	すべてね。
1:20:57	決得さん。
1:20:59	これだけ全部逃げるぞ。
1:21:02	もうすごいな。
1:21:09	事件は、
1:21:11	難しいなというのもあってイマセの話を別のセル整理から出てこない、ちょ今日明日とかそういうレベルの情報じゃなくてですね。
1:21:21	ちょっと周知も予防というかあと、
1:21:25	大分ちょっとお時間いただいて、カゴイ後に、
1:21:28	させていただければ、
1:21:32	ちょっと今現在の中で、古いのも含めて、ちょっと今、読み、読みアカンながらやってる。
1:21:42	使わなくても説明できる
1:21:50	大事な。
1:21:57	すべて、
1:22:00	我々そうやってやってるからさ。
1:22:03	やってる方とやってない方は、もうそれ勝負決まってるよね。
1:22:08	最初から、だから最初から遊ばれちゃうんだよ。
1:22:14	なぜ聞くでしょ、だってさ、何でって、
1:22:18	ね。
1:22:21	やってくれば大丈夫だよ。
1:22:25	我々以上に、
1:22:28	かなりきっちりやってるよ。
1:22:34	とかそういうことが、じゃあこういう点もあるんだなあとかってなってますね、自分で納得しちゃうわけだよね。
1:22:40	でもまた終わっちゃうんで。
1:22:48	何とさでもさ、念のためですよ。
1:22:51	.. 5 のさ、
1:22:53	ボリューム量。
1:22:55	はい。
1:22:57	地震差
1:22:58	グローブ 1 個分ぐらい入っても大丈夫。
1:23:02	こんくらいなんだね。

1:23:04	自分で計算してもいいんだけどさ。
1:23:09	業績わかればさ。
1:23:12	歳出しの結果があったのでちょっと、
1:23:15	いやそれはだから参考までに、ちょっと自分で計算し、するか。
1:23:27	つまんない関係、入れなくていいよ。
1:23:29	はい。
1:23:30	9月引いてるとか。はい。
1:23:34	はい。
1:23:50	込みで、
1:23:51	平さん。
1:23:55	具体的に、
1:23:57	来週の会合、それから3月は軽いですね。
1:24:06	はい。
1:24:08	もう3月、2月、2月の会合は、もう今日お話しさせていただいた通りで、どう設計のコンセプトとして、こういう構造で、こういう評価を、
1:24:18	やっていきますまでだと思っています。で、実際それを踏まえて、その歓待としての構造で、貫通部としての構造、皆さん、構造の詳細、
1:24:29	きちんと資料3として、こういう構造になっております。で、この構造として、閉じ込め機能を確保するためには、こういう部位の評価が必要だと思っています。
1:24:39	で、この部位にちゃんと着目をした評価をして、その結果がこうなってます。で、結果がこうなってます。で、いきたいなどは思ってますけど、
1:24:50	まずはでもそのそ、今回ご説明をする方針というか考え方に沿って、ちゃんとその構造が設備に反映されてます。
1:24:59	本間。
1:25:00	準備。
1:25:02	あと、
1:25:04	それは3月の22日、ちょうど1ヶ月ですか。はい。はい。
1:25:09	マニュアル。はい。はい。
1:25:12	耐震設計については説明以上終了。
1:25:17	にしたい。
1:25:23	加振試験
1:25:42	さっき、
1:25:47	イクノあるパターンが了承されて、あとみんなね、やるだけですと。
1:25:53	なった時ねそれ類型化して、
1:26:00	だからね、我々が見ているところっていうのは、
1:26:04	おいシンプルなわかりやすいパターンになって、

1:26:07	すごい。
1:26:11	そういう設計のやり方のプロセスが妥当であればあと取り組むわけでしょう。
1:26:18	ね。
1:26:19	そこなの。
1:26:29	結び
1:26:57	練習場所、
1:27:24	施設長、深見ですけど。
1:27:26	来週の月曜日の
1:27:28	資料には、幾らかの情報は入ってくる
1:27:34	んですね。
1:27:37	はい。人間のタニグチです。
1:27:38	藤海峡。
1:27:41	お話させていただいた。
1:27:42	考え方とコンセプトでそれを踏まえて、こういう
1:27:46	としてやっていきます。はい。
1:27:49	はい。
1:27:50	わかりました。会合で、
1:27:52	議論したいこととかありますか。大丈夫です。
1:27:59	今、
1:28:00	はい、二村谷口です。
1:28:03	今回はあくまでもほんとに上流側の考え方の整理をお示しできるだけ、
1:28:08	なるほど。
1:28:09	実際の中身についてっていうのはですね。
1:28:13	ていう、
1:28:14	うん。
1:28:15	ないようにしか到達できないかなと思っております。
1:28:20	はい、規制庁。
1:28:27	麻生。
1:28:30	海宝。
1:28:32	若井 5 として、
1:28:35	3 月に向けてと、スケジュールですね。
1:28:43	あまり期間が減る。
1:28:49	コウ出していただく。
1:28:51	20 日 20 番目。
1:28:53	うん。そうですね。

1:28:56	3月22日。
1:28:58	今日の資料の第1項、
1:29:01	そこホンダでもいいけど、
1:29:03	スケジュール感が
1:29:06	ヒアリング回数、通知、その規定、
1:29:10	何だ、再来週である程度まとまった話なのか、来週時点で1回骨格みたいな話をした。
1:29:28	多少その瀬古ツツミじゃないですけど、
1:29:33	そうは言ってる。
1:29:40	自分のようにしないし。そうですね。はい。はい。
1:29:46	の形のものとして説明しない限りは、そうですね。
1:29:54	臭いですよ。はい。
1:30:11	私も説明できてない。
1:30:27	あるわけですよ。来週月曜日これのリバイスを出すという、はい。
1:30:32	なければ、これで左猫ホソノ。
1:30:34	振り返りやね、
1:30:42	はい。
0:00:01	ました。それでは午前中のヒアリングの続きとして、
0:00:07	ヒアリング、ヒアリングをやりたいと思います。
0:00:10	出席者の入れ替えがありましたので出席者を紹介し、
0:00:15	規制庁側会議室から、後遅れてコサクが、
0:00:20	になってます。もう等で、アライフジワラは参加しております。
0:00:26	日本原燃側出席者を紹介していただいて、あと午後の説明等について説明をお願いします
0:00:36	はい、日本連事務局の%でございます。
0:00:40	日本、日本原燃側の出席者紹介した、いたします。
0:00:46	ケットク、
0:00:47	ハセガワは、多分、イシカワの話で無理なんでこっちでやります。
0:00:52	申し訳ありませんよろしく申し上げます。人間の出席者ですが、Steeringチームで長谷川医師。
0:01:01	プロタカヤアートイシハラサポートメンバーでセガワシミズ
0:01:08	で、午後の幾つか流れでありますので、午後1回一発目は、教育委員の関係の審査会合資料。
0:01:17	午前中、大枠のところをご確認いただきましたが、詳細部分の確認をやってそのあと、DBSAの設計項目の整理、最後が今後の進め方というところでございます。
0:01:32	はい。

0:01:32	はい。はい。
0:01:37	以上でございます。午前中審査会合資料の4ページとかのお話を伺いましたので、
0:01:44	どちらかというと、評価、評価の説明グループ1の部分ですね、の方で、
0:01:49	ネットを持っています。はい。へえ。
0:01:52	12ページから、評価パターン(1)の漏えい軽油防止に係る評価ということで、広井池沢関係のところが始まりまして、
0:02:02	青字になってませんが前回受けていた13ページの頭のセキの話です。ね、やってグループさん別受注者等を入れさせていただいてありがとうございます。
0:02:12	審査会合資料として前回お話したときに、15ページ以降のオレンジで囲ってある拡充内容これ別出してたんですが、
0:02:23	吹き出しの中身を変えながら、各本来まず吹き出しの中に入れ込むことを考えたんですけど若干弾き飛ばさないところは、オレンジで追加をする形で記載をさせていただいてございます。
0:02:36	あと3ポツ以降の、やることの目的がわかるように、単純に
0:02:42	漏洩量を設定するとかじゃなくてどういうことを考えてそれをやるのかということがわかるような記載にそれぞれ見直しているということでございます。
0:02:51	17ページから評価対象の選定ということでまず全体像を、
0:02:57	明確にしたいということで17ページに表を出しております分析等でレベルがもともと漏えい液受け皿がついているところですので、どういうグローボックスオープンポートボックスにどういう受け皿がついているかと。
0:03:08	ということでこれを全体像にした上で、それ以降、代表の話も整理をしていくということで、やらせていただいております。
0:03:18	18ページのところは、代表云々のところはもうちょっと午前中の話で代表の選定の考え方いわゆる代表サブの選定の、本日でいくと今後の進め方の別添2に入っているな。
0:03:30	工学の考え方との紐づけをしながらですね、投資をして、網羅性云々の話とあと差分の話が今現状全然書いてませんので、差分としてどういうものを抽出するのかということを考えることを、
0:03:42	記載を拡充することで、月曜日に出すやつは、修正したいと思います。
0:03:48	19ページに、全体のもの、
0:03:53	評価条件等のみ説明すべき項目との関係を示した上で、何を代表にするか何が差分なのかということで丸三角の影響を示してはいるんですが、



0:04:03	代表っていうのをどういう考え方になっているかの結論とですねあと差分として示すところの特に 4.1 の営業の設定で、x90 が、3、サブになってますけど、どういう差分をここで説明したいのかっていうのが、
0:04:17	この中でキーワード、目的がわかるように記載をさせていただくことで今後修正したいと思ってます。
0:04:24	はい。20 ページは、漏えい量の設定、計 11 ページの系統のことも考えながら、どういうところで漏えい、一部破損した場合に、
0:04:36	漏えい量が多くなるのかということを考えて一番運営箇所として厳しいところを選んだ上で、そのときに漏えいするような全量を受けられることということの評価しようというのが、
0:04:48	漏洩量の決定の考え方あったということを、20 ページに書いてます。
0:04:52	21 ページこれまだ若干を直さないといけないところがあってですね。
0:04:57	これ右側の吸着処理供給槽の脇にまだろ過装置みたいのがあってですね、全体がまだ入るように、絵を修正します。
0:05:06	その上で、今、バッチで送る場合に、空気作動弁で、ポンプが止まった時には閉になりますとかですね切りができるポイントは、一応書き込みました。
0:05:17	あとはまだ足りてないのが、
0:05:21	今②番で書いてる吹き出し。
0:05:24	等、また別ですね、下のポンプ 3 台ありますけどこのポンプが結局、ポンプの起動時に流れるライン方向の逆方向には流れてこないね逆止構造があるので、
0:05:35	これ例えば、左側の絵でいけば、ポンプの左側で破損した場合には右側のものは流れてこない。
0:05:43	左側の範囲だけが落ちてくる。
0:05:46	ただその逆はあり得るので、一番大きい箇所っていうところの絵でいくと、ポンプの右側が破損するのが一番左側も含めて全部落ちていくので、
0:05:56	上量が最大になるっていうことになるのでそういうことを考えながら、そのあとの漏えいの設定の最大になるところを見つけにいくと。
0:06:03	いうことをやろうと思ってます。
0:06:05	生活まだ書き切れてないのは、この 69 ジャパン活性炭のアノ処理供給槽の、
0:06:12	バッチがスタートする前に、ポンプで右側のライン、その下の配管もそうですけど、全部の配管等ろ過装置に多分水が入ってる状態がMACCS

0:06:23	ではその前のバッチが残ってる状態、ということも考えてその利用料と いうのをカウントしていくということそういう考え方がわかるようにですね 状態をまず正確に書く必要があると。
0:06:34	ということです。
0:06:36	はい。
0:06:39	そういうことを書き足さないといけない、月曜日には確実にハラを書き出 して請求してると思います。
0:06:45	現状ですね、オカ変えないといけないってのは一番最大なのが、今、に 書ききれてないところが多分最大になって、それで液位が7センチぐら いになるっていうのが一番、
0:06:55	最大、
0:06:57	はい。
0:06:58	で、22 ページ以降は、特にタンクの方は、先ほど言ったように、まず、
0:07:05	オオモトで書かないといけないね配管も含めて全体ちゃんとリジッドに 寸法を出して、容量を出しますということを前提に、あまりどこかの湯に 入ってますとか云々という話はもうなくてもいいのかなと。
0:07:17	単純タンクの容量は交渉中でありましょう。そういった方にある程度余 裕がありますよという説明、評価装置の方も、この寸法の出し方の中 で、もともと液が全量入ってない、いわゆる吸着塔の吸着剤タンクがあ って全部液が入ってないんだけどそこ液が満タン入っていると想定して みたいな。
0:07:35	上振れリスクを全部込みで評価をしてますよってことがちゃんと言えれ ば、あまり20%が10%だという議論は要らないのかなと思ってますとい うことですタダアノ。
0:07:45	配管部もちゃんとしますと言ってるんで実際今どこにもうまく書ききれ てないのでそこは、
0:07:50	記載を整理したいと思ってます。
0:07:54	はい。あと26 ページ今日午前中いただいた差分が唐突すぎて何の差 分を言ってるのかわからないところが記載の拡充が、
0:08:03	必要だと思ってますという、
0:08:05	です。
0:08:08	あとは、
0:08:10	修正したポイントは、あとまだ宿題が残ってると思っているのは、
0:08:16	39 ページの床勾配ですね。
0:08:19	これがまだ
0:08:21	先日の宿題が書き切れてないので、ここは月曜日までに何か、何らか 書き出していこうと思ってますはい。

0:08:30	どっちかの小黃砂を考えて、傾けてみてそれでも収まりますよっていう説明だと思うんですけど、そういうことを丁寧に書いていこうかな。
0:08:40	ということですか。
0:08:42	40 ページは許容限界の設定という趣旨に合う記載に直して、実際漏洩量を、
0:08:52	漏洩量を、からはじき出される液位高さとうエキウダ高さを比較して、
0:08:59	判定をしますよってというのが本当はすいません。
0:09:02	42 ページ。
0:09:03	変えて欲しいと頼んだはずなんですけど、会計田井コウコウは出してます。
0:09:08	はい。今ツジになってますけどこれが大体先ほど言った最後の、
0:09:12	1、増益。
0:09:14	漏えい液位ですね、これが大体マックスで7センチぐらいになるということで、43 ページ以降評価をしてますので、次世代充実させていくということで考えます。
0:09:26	はい。
0:09:28	正直ですね、44 ページにあるオープンとポートボックス、これ弁がいくつかあるんですが、運用管理で確実にバッチが終わったら閉にしろって言わないとですね。
0:09:38	べらぼうになるので、そこはちょっとそういう管理も含めて合わせ技でいきます。はい。
0:09:45	46 ページからは運用は。はい。はい。はい。規制庁岡です。一旦ここで降ります。まず、閉じ込め関連の評価関係。
0:09:56	規制庁の方から確認をお願いします。
0:10:00	衛藤アライですけど。
0:10:05	ずっと閉じ込め、
0:10:06	というか最初のDの部分のところを一つだけ確認がありまして、
0:10:14	進捗をあらわす、8 ページ目からの表なんですけど、
0:10:21	紐付け番号の話が注書きで書いてあって、
0:10:25	左と右に、どういった
0:10:29	考え方で、括弧づけの番号を示しているのかっていうところあるんですけど、
0:10:35	中書きの話と、例えば9 ページの11 条29 条の火災の一番右のグループ2 の書き方って整合してますかかっていうのを確認したいんですけど。
0:10:50	はい。
0:10:52	消化剤に容量に係る評価っていうところ。

0:11:01	言えニシダでございます。
0:11:08	自分の番号紙です場合お前、前に括弧で、これが評価材料量が評価11ー29の形だと。
0:11:18	で、これをやるためには左側にある構造図1ー29のは、バンドウ1と、
0:11:23	というのが、
0:11:25	忙しいかー1がいるということで後ろに評価の後に構造設計の番号を出してます。
0:11:33	で、容器の容量に関するときには、消火剤の容量っていうのがこんだけ要りますっていうのと、づくして容器の容量の設定根拠を示す必要があるんで、実際一つ目の評価の考え方等、
0:11:45	構造設計の組み合わせで説明をしましょうということで後ろ側にかっこつけさせていただいています。
0:11:51	うん。要するに後ろにつけてるのは、インプットとして呼び込んでる部分をつけてるっていうイメージで。そうですね。はい。
0:11:59	了解です。はい。ちょっと私が。はい。
0:12:03	閉じ込めも同じような取り組みの20条とかもう同じ2123条。
0:12:12	20条か20上同じように換気風量の設定のところで、評価17のAとか評価23のAと書いてあります。これあの関係側でやっている、今回の負圧維持みたいなやつとか、
0:12:25	ちょうどレベル具崩壊熱除去に関する風量とかこういうのを全部込み込みで全体の風量を出しますよっていうのが、評価20のAになるので、インプットとして後ろ側に変えていくという趣旨です。
0:12:37	わかりました。ありがとうございますちょっと※書きの読み方を私が間違えて理解してたのかもしれないので、正しければそれで結構です。すみませんありがとうございました。
0:12:48	うん。
0:12:51	ずれちゃうと。はい。はい。
0:12:54	規制庁荒井ですけど、簡単な話で、22ページ目の漏えい器のところ、数字の話っていうのは出されるっていうこといいですねまた。
0:13:05	説明にありましたけど、10%の話とか防災の話とかっていうのが、まるつきり消えてたりするんで、10万の雷撃の10%がいるかという、公称値の中での黄砂の話はいると思いますねそこは。
0:13:20	それはあまり配管の容量も含めて全体だとリジッドにいく積み上げますよと言ってしまつと、今までその余裕に全部押し込めようとした話がなくなるので、
0:13:32	あまり意味を出さないかなと思って現状は消しました。
0:13:36	はい。

0:13:36	そうすると、公称値が、余裕を持ったところっていうのは、どこで説明してるのかっていうと、そういうことも、はいはいはい。そう言われればそう。
0:13:49	その余裕があるということも、実態を示しながらその 20%とかの数字はあまり意味がなくなるとすると、どういう考え方でこの公称値を出しているかという考え方をまず書かせていただくということですかね。
0:14:03	はい。そういう意味だとあれですよ公称値の設定の考え方として、ばっちりオザキウエキ量を考慮して、考慮してというか、包含するような形で実験しています。
0:14:13	具体のやつがどっかで示されるっていうイメージですかね。はい。
0:14:18	はい。その舞台をそういう考え方をこの 22 ページに書かさせていただいて実際のその具体の話を閉じ込め予算とかに展開させていただくことかと思えますんで、整理します。
0:14:29	はい。
0:14:30	続いて 25 ページ目で、配管のところ、
0:14:35	非常に細かい話になるんですけど、
0:14:39	系統の中で配管系が変わるようなところとか、レジャーサ部分みたいなところってどう考慮してるのかって説明ありますかね。
0:14:48	はい。峰社でございます。現状は、まずこの系統で多分配管の形が変わるような複雑な系統にはなっていないと思うので、そういうことを前提として、
0:15:00	設計上の配慮で考える、レジャーサみたいに
0:15:04	どこかで、配管系よりちっちゃくなるようなところがあっても、そのまま配管系を延長した形で作っておけば、容量としては大きくなるみたいな、そういった考え方を記載をさせていただくのかなというふうに思いました。
0:15:18	はい、わかりました。あんまり過度に保守性、ご指摘になるっていうのもあるかもしれないので。はい。全体が実態に合うような網羅する形で評価条件を設定してますよってのわかるようにお願いします。はい。ありがとうございます。ありがとうございます。実際 24 ページの下装置とかのくみ上げ方が一番、かなり
0:15:37	保守的なので、配管を幾らいじってもあまり意味がないような気持ちです。はい。
0:15:42	はい。
0:15:43	ろ過槽としてナカノ内部要物なしっていうことで、はい。
0:15:48	多分書いてると思うんですけど、あんま書いてないっていうその辺、

0:15:53	23 ページとかにろ過装置の内部部品があるっていうの欠損物こうして考慮しない。了解です。その意味ですか。はい。了解でミズタ等がありますということですね。はい。
0:16:05	わかりました。続いて 26 ページ目で、
0:16:09	差分のところでは携帯容器ポリビンからの量というところで、2 万 3000 円。
0:16:15	立方センチメートルで出してるじゃないですか。起こって、
0:16:18	分数でってここに書く必要って、何かあるんですけど。
0:16:23	日本A社でございます数字に意味はありません。そういう意味でいくと、出し方の考え方かなと思いますので。はい。はい。それを書くんだったら結局何に繋がるのかっていうところで 43 ページ目の結果のところには繋がるのかなと思うんで。
0:16:39	書くのであれば何か紐づけと書いてってのは、有賀、見やすくなるんじゃないのかなって思い。
0:16:44	はい。塩見伊勢でございます承知いたしました。はい。どうか漏洩量ニズミね。
0:16:50	はい。ちょっと確認します。はい。
0:16:53	はい。あとは床勾配の 39 ページ目の話で、
0:16:58	床勾配って結局、評価のどの部分にどう効いてくるからっていうのが、あんまり、
0:17:06	書いてないような気がしててですね、なぜ考慮するのかっていうのは、
0:17:12	2 本目のインダでございます結局漏えい液受け皿を真っ平らに見るか、多少角度が変わってか、ついた形で見るとかっていうと、
0:17:22	平均を、影響領域の回収でして抑えるだけの高さが、工場ある分だけ低くなるかなと思っていてそこが実際の増益増益よりも上回ってれば 0 だと思ってます。その辺の
0:17:38	差分がどうなるかっていうところをちゃんと説明するのかなと思ってました。
0:17:42	はい。多分そうだと思いますので、いきなり考慮って書いてあって、何に効くのかっていうところの話が
0:17:50	もう少し出されるといいのかなと思っているんですけど。
0:17:55	はい、承知しましたはい。そうですね。これもいきなり何を見るかの議会での目的を明確にしてはいつなげられればと思います。
0:18:04	はい。とりあえず漏えい関係は以上です。
0:18:07	規制庁から、
0:18:08	私からも数件なんですけどツジの結果も月曜日に出てきますか。はい、というふうにインダでございます。えっとですね、42 ページの代表のや

	つのツジは月曜日に間に合いますすでに今ほど出てくるので。はい。あと、
0:18:23	43 ページ 44 ページのやつは、とですね。
0:18:27	全部はちょっと今厳しそう月曜日中にそのぐらいが一緒ですので、月曜日を出した時の数字になってるかもしれませんが、火曜日には口頭で説明できるかどうか。
0:18:38	ということはできるように頑張ります。はい。
0:18:43	承知しました。規制庁岡です。
0:18:45	あと、
0:18:47	警備の話で、
0:18:51	14 ページ名の、
0:18:57	2 ポツ目。
0:18:58	なあ。
0:19:04	越冬
0:19:05	ここ、ちょっとまたの後の分ところが意味月繋がらなくてですね。
0:19:11	部屋の出入口に施設外漏えい防止堰はってなってるけど、そこは、ちゃんと毎月意味が通るような、
0:19:24	全然出入口設置される続くから下げた経過文書が来なかったですよ。はい。入口に設置する施設が清木はこういことっていう設計の方針になる。はい。記載を、
0:19:36	修正します。はい。
0:19:38	規制庁から
0:19:40	あと 15 ペー
0:19:41	からサトウ、
0:19:43	今回、
0:19:44	集中内容を、
0:19:47	トダイタイガワ込みで、別途説明しているというところは、
0:19:53	元資料の前半から通してこれ 12 月の審査会合から、
0:19:59	して拡充しているって意味です。
0:20:02	はい。
0:20:04	ただ個人的には、いや、まだイマダイマダになっていて中に入れたいなと思っているのは、12 月あくまで整理方針に沿う結果を示してるわけじゃないとすると、ここに拡充って書いていないなというところがあるので、何とか
0:20:19	ボックスの中に収めるように、はい。必要があればこっちで答えていきます。その辺はちょっと差別化シマ行きたいと思います。はい。はい。

0:20:28	方針から拡充なので、今私も同じ感覚を持っているんですけど、四角に入れる、吹き出しに入れる必要は、
0:20:38	なくてもいいなと思うんですね、どちらかという拡充したようなポイントが、ここでやる説明ハママツに入っていればいいのかないところ、拡充したどうのこうのっていうことではないと思ってます。はい。
0:20:51	はい。成長不採用の方をお願いします。
0:20:57	うん。
0:20:58	25 ページ目、先ほどもちょっとあった話なんですけど、配管とあとポンプの方、これらは、例えば配管の方は、結局な 2、
0:21:09	の値に基づいて準備されました。
0:21:13	はい。
0:21:13	の設計図書ですね。はい。
0:21:16	はい。その辺も、はい。正確に、
0:21:19	それぞれ引用元ちゃんと書けない必要性調査のポンプの方も設計図書だけじゃなくともうちょっと詳しく、何から基づいたっていう、一次情報。
0:21:31	お願いします。
0:21:37	規制庁赤田です。私から委員長。
0:21:42	オカ規制庁側から、閉じ込め関連のところありますでしょうか。確認事項。
0:21:52	ないようでしたら、その換気関係、お願いします。はい、西田でございます。45 ページからが、負圧ページ、換気風量というか、
0:22:02	ございます。
0:22:03	まず 47 ページ以降、これ概要として、かつ、目次と全体の目次として使うように修正をしました。
0:22:14	結局は西ブロックやっていくということで、今回ターゲットにしている
0:22:22	グローボックスだったり、高低差タテ相手だったりに必要な、関係者全員って何なんだというところが 6 イコールではないところがあるのでその辺の関係性を示すということと、
0:22:32	実際今回今回説明すべき、閉じ込め機能維持に係る風量というのが一体どういうことなのかということの流れで説明ができればなということで、構成をしました。
0:22:46	1.1 で目次っていうのはなかなかちょっと異質ではありますが一応こういう形で今作ってますはい。
0:22:54	は、
0:22:57	見直した通り、49 ページはすいません、午前中ご指摘いただいて昨日もですね、ヒアリングでご指摘いただいて、0.3 回パワーと言っているものから、



0:23:08	1回から2回、第3回ダテ6回積み上げてますけど、この関係性をどう考えたのかというところは、考え方を拡充したいと思います。
0:23:21	正直ですね、グローボックス最後の国会がですね。
0:23:25	再処理を大分念頭に置きながら、目安にしてやってはいるんですけど、再処理は実際10回ぐらいですよ。
0:23:33	かなり多いんですよ。うん。関係しすぎ。
0:23:36	なので、そこも含めて、
0:23:41	実際、
0:23:42	グローボックスの中に入っている雰囲気が出っ損益をあまり壊したくないってのもあるのでその維持も含めてだがこういう回数で設定してるっていうのもあるのでそういったことも含めて、この設定を、
0:23:55	どう考えたのかは、記載をしていこうと思います。再処理はちょっと引き合いです良くないのでももとの考え方をちゃんと過去、
0:24:03	いうことでございます。
0:24:05	はい。あとは、それぞれも、目次に沿って項目だけをしたというところが、
0:24:13	関係が一番大きいですかねあとは、60ページにこれも先ほどと同じように、フローなんですけど、
0:24:21	3ポツ以降の項目立ては、同じように、先ほど駅と同じような形でやろうということ念頭に整理をしたのと同じようにオレンジの枠は、青いボックスの説明で、
0:24:32	どういった視点が加わっているのかわかるような記載にするということでオレンジをなくす方向で、記載は同じように修正をしていきます。
0:24:40	実際以前は、
0:24:43	今回の閉じ込めの負圧維持に必要な風量をどう出すかっていうそうだったんですけど、
0:24:48	これ、2ポツまではあくまで全体の話しようとしてるので、風量決定因子6因子を全部考えた上で、全体のフローに今なってます。
0:24:58	そのうち、下線が引いてあるところが今回着目する負圧維持に必要な項目ですというような、ゾーンの書き方に見直してます。前回とどこが変わっているところです。
0:25:11	サンプル数が63ページからで、評価対象の選定ということ。
0:25:17	ここで昨日の午前中話をした、
0:25:22	話をさせていただいた対象のところがすべてのって書いてるのは多分意味をなさないのここは全部取った形で、項目としては整理させます。

0:25:30	はい。あとは 64 ページも、完全に前が浮いてるので、これがこの後やる、65 ページでいろいろな風量の決定に対してどう関与するのかっていうのが、
0:25:41	繋ぎでわかるようにしないと意味がないかなと思ってます。もうちょっと工夫はします。
0:25:46	加えて午前中あったのが 65 ページのところの代表の設定の考え方ですね。
0:25:54	ここは確かに丁寧に説明しないとけなくて代表云々のときに、まず系統で、
0:26:02	風量で決定するとか必要な風量をはじき出すものなので、
0:26:06	まずは大きくはグローブボックス系と工程室系と建屋系統で、どれが代表になりえますかって話、各それぞれの系統に繋がっている設備を見たときに、何か代表としての考え方が適用されるのかどうかというのを、
0:26:21	丁寧に書き下していく必要があるのでそこをブレークして、まずは本文の中で書いていこうと思います。さらにそれが表の中でもちゃんと読めるようにちょっと整理をしていただきたいというのが、午前中の話を受けた。
0:26:33	考えでございます。はい。
0:26:38	あとは、
0:26:40	あとはすいませんあんまり、
0:26:42	いないと言ってあれですけど。
0:26:46	特段、
0:26:48	C鳥居の関係がわかるように、75 ページで外構不足の話を書いたりというのはリード文がないところは追加をして、繋ぎができるようにさせていただいたと。
0:26:59	ということでございます。
0:27:02	はい。風力関係は以上です。はい、衛藤家です。それでは、規制庁側から確認お願いします。
0:27:10	はい。衛藤のアライですけど、目次のところのページで、
0:27:18	60 ページ目からなんですけど、
0:27:21	先ほど説明あった通り、
0:27:26	2 報通話評価プロセスでこの表そのものっていうところで、3 ポツのところっていうのは、
0:27:33	6 因子全部を説明するっていう意識で今まとめているっていう理解でいいんですかね。はい。日本原燃瀬谷でございます。おっしゃっていただいている通りです。ちょっとそこがわかりづらくなってしまっているところはもうちょっと文章、

0:27:48	修正します。実際 65 ページの表を見ていただくと、換気回数が因子の A ですし、4.2 の機械とかの発熱が B だったり、
0:27:58	N、C、EF、4.6 まで項目見えますので、6 インチ全部を考えて、整理をしようと思ってます。
0:28:08	はい。そうすると、64 ページ目って、多分発言あった通り、浮いてるのかなとは思っててですね、この切り方って、今の C と D を説明するために必要な切り方っていう理解なんですよ。
0:28:24	違ったんですねインダでございます正直 C と D のためにはあまり要らない気がしていて、出てくればいいのか、講演で出てくるかなっていう思いでした。はい。
0:28:35	A の方に効いてくるわけですね配置社員とヒライがあって、このグループ単体でいけるっていうそういうことですか。はい。
0:28:46	はい。
0:28:48	なので、このやり場に今ご覧って言ってるのが正直なところですよはい。
0:28:53	はい。そうすると廃棄 01 の個別説明資料の方についても、ちょっと同じような悩みが出てくるのかなとは、
0:29:01	思っていて、
0:29:03	ちょっと A から F までの視点がわかるような評価対象設備の選定、評価対象設備のそれぞれの A から F の視点がわかるような形で、
0:29:14	まとめないと、非常に下に繋がりにくいかんと思っていますので、はい。宮城仁科でございます。そうですね。はい。
0:29:25	そう例を
0:29:28	そうですね、なるべくそういう意味でいくと、今思ってるのは、48 ページ以降それぞれ因子ごとに説明してるんですけど、
0:29:38	この考え方と、65 ページの表でどう代表を選んでいくかをリンクさせてうまく説明しないと、
0:29:45	何をやってんのかよくわかんなくなってきたところなのでちょっとそのリンクージも含めてちょっと考えます。はい。
0:29:51	はい。
0:29:52	わかりました。それでもう一つは少し前に行っていただいてですね。
0:30:02	結局、49 ページ目の換気回数の話っていうのは、
0:30:10	具体の考え方については、後続のグループっていうところですけど、
0:30:16	このスライドを作った以上、ちゃんと
0:30:19	答えられるようにしたいっていうそういう思いで、火曜日までに、
0:30:24	説明できるようにするって準備をしてるっていう理解でいいですかね。はい、仁科でございます。はい。おっしゃっていただいているという当初こも含めた全体シートリ以外は、

0:30:35	説明グループさんでと思ってましたけど、全体の因子の話がある程度説明できてないのに、CとDの骨格の話をしてもらってるところがあって、そういうのも含めて、
0:30:45	今回の中で、一定程度説明ができるということの状態が必要かなと思ってます。
0:30:51	はい。聞かれたら答えられるように、このページの作った責任としては、対応していただければと思いますけど。はい。具体的な話だったら後続のグループで説明しますっていう形でいいんですかね。
0:31:05	はい、横尾でございます。はい。おっしゃっていただいている通りです。はい。
0:31:09	はい。
0:31:10	続いて 60 ページ目で、
0:31:13	評価対象の設定の 3 ポツのところ、
0:31:19	漏えい液受け皿と違って代表を選定するっていうのが、隅括弧 3 ポツのところを書いてないので少しそこを明記いただきたいんですけど、いかがですかね。
0:31:30	まさしく今回のやつを書いておきながら、書いてないのでこれこそまさしく、おっしゃったように、青字の中に出すべきことだと思います。はい。はい。
0:31:40	はい。あとは堂々ってどう入れ込みますかね。はい、西浦でございます。ちょっとそこもそうですね記載を丁寧に書かないといけないので実際、
0:31:51	どこで入ってくるかですよね。
0:31:55	最初の建屋のところで堂々含む定義付けてしまえば楽なような気がするんだけど他にそごが出てしまうようであればちゃんと書き分けた方が、
0:32:03	いいのかなと。そうですね。はい。人が立ち入るとかいろんな因子で関係ないところが出てきちゃうのでちょっとどこか。
0:32:12	その必然性というか、なぜここでどう同額あるのかっていうのがわかるようにして、必要なECにとも書き下していくかと考えます。
0:32:22	はい。
0:32:25	あとはですね。
0:32:31	65 ページ目の代表の話っていうのは、
0:32:36	評価対象は変わらないにしろ、4 点。
0:32:41	1 とか 4.2 とか 4.3 っていうのはさらに細分化されるイメージなんですかね。

0:32:48	はい。ニューメディアでございます。どちらかというたとえば 4.1 のグローブボックスとかでいくと、換気回数を見てイクノ 2、代表ってどう考えるか、これ系統全体で、まずは一連の流れになっているので、
0:33:03	系統としてグローブボックス工程室排風機、建屋の三つの系統それぞれやる必要があるかどうか、どれかで考え方が代表できますかっていう観点と、
0:33:13	例えばグローブボックス排風機の換気回数を出すときに、ぶら下がってるグローブボックスがいっぱいいますよねと、これをどういうふうにかウントしていくんですかと評価していくんですかってところで代表の考え方が入るかどうかと。
0:33:25	実際は
0:33:28	換気回数の掛け算なので、これ今の負圧維持みたいが一番大きいやつで代表しますって偉いことになるので、実際は一つ一つの容積を足し合わせて換気回数掛け算してやってるっていうやり方になる。
0:33:41	ですよ。そういったところ考え方がなぜそれでいいのかっていうのを説明するためにはそういうところを書くのかなと思ってました。
0:33:49	はい。そういう意味だと、4.3 の負圧維持のところは、ある程度、
0:33:55	代表という概念が出せそうな感じになるんですかね。はい。ございます。そうですね今やってる通りグローブボックス等については、
0:34:06	漏えい率、一定の量というのはみんな同じだと、ということと、あとは実際、大枠、負圧維持に必要なっていうのを、今代表以降、いわゆる、
0:34:18	301 個で一番最大のグローブボックスでカウントしますというような考え方、なぜそれでやるのかっていうのは付した上でですけど、書いていいということから、ここではキーワードを書いた上で、
0:34:30	当該ページで、それをなぜそういうことをやるのかってのがわかるようにするというマツナガリと思いますが、
0:34:37	はい。要するに 4 セキの代表を選ぶのはモリ率が一定だからっていうところなんですよね。はい。でって条件でした。
0:34:44	わかりました。ちょっとこのこの表は工夫が必要っていうところで、
0:34:51	はい。とりあえずは、以上です。
0:34:56	超過です。私からも少し確認させていただきます。まず、
0:35:02	45 ページ目からの、
0:35:08	40、
0:35:10	8 ページ目。
0:35:14	すいません、49 ページ目が見やすいかと思いますが、一般法令の話なんですけど、ちょっと今検討されてるという。
0:35:22	記載の仕方をもう少し

0:35:25	要望がありまして、建築基準法施行令第 20 条の 8 のあとに、何、何々の技術基準っていうそのメイン
0:35:35	賞を入れて欲しくてですね、これ第 1 回の時もこういうところは必ずそうやってその何々の基準っていう名前を入れてもらって、それを申請書と審査書で、
0:35:47	それぞれ統一して書いて、共通認識を持ったという経緯がありますので、一般法令のところはそういう名称を明記。
0:35:55	いただければ、
0:35:57	はい。確かに、そこで書いた、適用しようと思っている基準が、名称がわかれば、正しいものを適用してるかどうかっていう、繋がるということで認識をしました。はい。はい、規制庁コウです。
0:36:13	64 ページ目の先ほどから話題に上がっている、ズー能いろいろ検討はされるっていうシナリオに
0:36:24	まずかった検討されるということなんですが、
0:36:28	ちょっとまだ理解できてないことがあります、昨日のヒアリングでもちょっと
0:36:35	関連するところ、
0:36:38	また秋からのところですね、吸排気バランスの開口部風速、
0:36:42	について、ここの開口部に関しての風量設定であることからグローボックスごとに風量整理するというこの、
0:36:50	理由がですねまだちょっと追いついてなくて、
0:36:53	なぜこれがシャッターで区切られた範囲ではなくて、1 個ずつでいい、いいんでしょう。
0:37:01	はい。梅野イシハラでございます。ちょっと今もうちょっといいやり方。
0:37:07	まず
0:37:09	もともとグローボックスで決まっているのは、グローボックスが負圧にいけます。
0:37:13	さらにグローボックスのポートを 1 個分外れたとしても、外構部の風速が一定以上にできますって言うてるんですけど、
0:37:21	これ実際やってることは、全体のグローボックス 1 個ずつ全部外して行って、ありえないことをやってる近いんですけど、
0:37:28	その上の開口部 1 個 1 個の風速がアノ Meeting。
0:37:34	でしたかね、にできることっていうことなんですけど、そういうことを、なぜか。
0:37:40	結局は検討としての風量全体でいから、なので、グローボックスごとに云々ってのはあんまり関係ない。
0:37:50	どうしようかな、なんかもうちょっと書き方ないから。

0:37:54	イデは関係あるかというと、1個ずつのポートが開いていることを考えてやる以上は、あんまりインターがどこにあるかあんまり関係なくてそれを最後引っ張ってる灰吹の能力に最後聞くだけなので、
0:38:09	どれが三つだろうが、1個ずつだろうが1個ずつとかあんまり関係ないですよ。
0:38:14	いつも見ていくと、ちょっと、はい規制庁から、何となく入っていました結局、
0:38:21	この開口部に関しては、設定であることから、
0:38:27	そうですねここは多分グローブボックスに対して、グローブボックスでポート1個分、開口があったとしても良いというターゲットそもそも最初にグローブボックス1個ずつにターゲット合わせてるんで、
0:38:41	そういう意味であんまり言い掛けを一生懸命やってもあまり意味ない。
0:38:45	はい。大丈夫です。わかりました。
0:38:48	こちら辺が今おっしゃったオカイセ接続するグローブボックスの方も、もう少し
0:38:54	これらの因子が何でシャッター開かせ、
0:39:02	ちゃんとその辺の根拠を論理とか内容、
0:39:07	はい。
0:39:14	規制庁、
0:39:17	11 ページ目。
0:39:19	75 ページ目で、
0:39:22	追加いただいた一段落目、はい、何か。
0:39:27	開口に対して大してってなってる方は、最初ちょっと動きがありましたので、
0:39:32	はい。
0:39:36	はい、規制庁加熱換気関係は私からは以上です。こちら規制庁側から何かありましたらお願いします。
0:39:46	ないです。
0:39:47	規制庁の新居ですけど、最後に確認で、75 ページ目。
0:39:53	今のところを表示してもらってるところなんですけど、
0:39:57	Dの、
0:40:00	要素として二つあって、開口部風速については、不閉じ込め機能維持だっているところの、
0:40:08	説明は、この上の 4.4. 1 でしたるっていう理解でいいんですかね。
0:40:18	今回の説明対象となる範囲。
0:40:21	持尾評価評価対象か。
0:40:28	お前で説明するって、

0:40:31	話してましたよね。そういえば、はい。代表のところでも困ってるところも多分同じだと思ってて 60 ページ目は何でここでこう過去問題っていうところが、
0:40:41	はい、上のところでもうちょっと説明がないと。
0:40:47	しましたはい、乳井西田でございます。おっしゃっていただいたようにもともと今回、閉じ込めに関する部分っていうのを、
0:40:54	どういう範囲が対象ですかという話をするときに、
0:40:58	Dの中は二つに分かれますよっていうのも含めて、65 ページのオレンジで囲った左 4.4 は左側だけが対象ですよって話は頭で言わないと駄目なので、
0:41:10	はい。そこの整理はします。はい。
0:41:13	はい。お願いします。本来の意図としては、すべてグループさんで、関係については示すっていうところだけでも先行して、
0:41:23	許可のあり、許可ありきの数字とかを使うと、この部分は先行して示せますよっていうのが今回の評価のグループ分けと、その具体の評価の内容だと思しますので、そこのところを丁寧に説明をお願いしたいと思います。以上です。
0:41:43	正当化ですとか、規制庁平瀬赴任とありますでしょうか。
0:41:49	特にならなければ次搬送をお願いします。
0:41:53	はい。石田でございます。搬送は、86 ページからになります。
0:42:02	88 ページのフローは同じように、オレンジは、中に取り込んだ、もしくはいらぬ。
0:42:13	で、基本的にまだちょっと記載が足りないの認識をしますけど、90 ページに 4.1 で、
0:42:21	評価方法なり、計画荷重と、最大荷重の考え方、どういう設定をしてるかという基本的な考え方を書いた上で、
0:42:31	計画課除灰方は、すいません細かい話をちょっとするのかと思って、6、90 ページで話は終わってますが、(1)の災害課長の方は、91 ページ以降にそれぞれの代表で選んだものに対して、
0:42:46	最大荷重をどう考えてますかということを書いてはいるんですけど、
0:42:51	運営のリスクがないことを説明しろと言ったら上のリスクがないという語尾を書いただけになってるとかいうので、ここもペレットだったら秤量器で工程上測りながら歩いていくので、そもそもその上振れってそんなにないですよみたいな。
0:43:05	話だったり、まり、粉末管でも、結局は、すり切りいっぱい入れないもの踏切りいっぱいに見たいんですね、そういった



0:43:13	保守的な数字の出し方をしているので、そういう部分でいろんな上振れが関係のものを見込んでますということ、衛藤甲斐ていくのかなと。
0:43:22	思ってます。
0:43:24	そういうものを多分1個1個ちゃんと積み上げていかないと、なぜ上振れのリスクがないのかわからないので、
0:43:30	整理をしたいと思ってます。
0:43:34	例えば91ページの構成容器、外から買ってくるんで構成要素んで200基の、とはいえこれにも、
0:43:41	プラマイがあるはずで、プラマイがどのくらいだから209でやってけばいいでしょって話なんですけど。
0:43:48	あと就労田井の方ももともとどこだっけな。
0:43:53	燃料棒。
0:43:57	長南。
0:43:58	凍結ボードとか、92ページの焼結ボードもペレット1個当たりの大井重要なやつをやりつつ、これにも余裕を多少見込んで始めているので、どういところにそういったものを、
0:44:09	考えているのかって話をちゃんと入れ込んでいく必要があるかなと。
0:44:13	あと92ページの下側のジンノ両方1本も、これも
0:44:18	仮想でかなり変えてるところがあってですね、実際こんなに両方にならないような授業にしちゃってるところもあるので、そういうことをちゃんと丁寧に書くということで、
0:44:28	ある程度の大枠では見えますということ、ちゃんと述べようと思ってます。
0:44:34	ただ前お話いただいて、
0:44:37	苦しんでここくらいしか書きようがないっていうのが90ページの(2)番。
0:44:42	の、設備側の方ですね。
0:44:45	これが
0:44:48	メーカーさんと話をしました。
0:44:50	実際労力計算とかしてるやつも、
0:44:53	見させていただいて、
0:44:54	実際水平方向、昇降方向動く分、果樹必要低角過剰に必要なトルクなんかを出しながら、その登録を上回るような原動機を持っていきますとかって話を、
0:45:07	して、メーカーが積み上げているのはわかったんですけど、
0:45:10	ただこれって、一対一なんですよね。何か共通の考え方があるわけじゃないので、そこをどこまで頑張ってるか書いていうのが、ちょっと

0:45:20	今(2)番、ここが精一杯っていうところ。
0:45:23	エンドパス。はい。
0:45:28	はい。
0:45:29	水超過ですそれでは搬送関係、規制庁側から特にお願いします。
0:45:34	井清とあるソヤの1点だけなんですけど、またプロセスのところ88ページ目ですかね。
0:45:44	機能性能の表については、評価条件のところから、代表の話っていうのが、
0:45:52	ちりばめられてくるっていうところなんですけど、設定根拠の場合って、これが非ナカタニなって、例えば
0:46:01	評価上、評価、許容限界と、評価結果。
0:46:06	の比が一番厳しいやつを代表にするっていうパターンになってくっていうイメージですかね今後も、
0:46:11	はい、米屋でございます結局、
0:46:15	まず評価項目を決めるときに、
0:46:18	同じような評価するやつっていうのをどうやってまずグルーピングするか、そこである程度大枠で累計をしていくと。
0:46:26	あとは実際設定根拠なので、
0:46:30	1あればいいものが1以上ありますって説明するときには、結局は何かを代表にやろうと思ったらし、してはそれぞれカワノかもしれないですけど、
0:46:40	一番厳しいものっていうのが、一つは答えとしてあるのかな。ただこれに全部帰着するかという物によって変わる可能性があると思うので、実際は設計公共のやつの説明のパターンをいろいろさ、
0:46:52	示した上で、こういうそれぞれ考え方でやっていきますっていうのが多分テーブルがないと駄目だなと思います。
0:47:00	はい。何となくそう思って他のイレギュラーパターンもあるのかなとは思いつつも、搬送設備については、資料3からの繋がりとかを考えると、
0:47:12	このような整理になりましたっていうのが、現状だと思っています。設定根拠のパターンって言っても、大小関係見るだけとか、結局は、先ほどあった個数とかの話だと、
0:47:26	もそうなんですけど、そういったものっていくこあ、
0:47:31	なんていうか、設備ごとに、
0:47:33	次で回ってきちゃうわけなんですかね。はい、西野でございます設定根拠の中で多分、今回の評価パターンを(1)(2)分けてますけど、括弧1、2、多分設定根拠図、

0:47:46	設定根拠では今期を預けに行くやつも多分中にはあると思ってて、いわゆる添付書類側で検討の設計をするってところの、
0:47:54	評価をしたのがまさしく根拠だと。
0:47:58	言って、設定こんで書く場合と、まさしく個数みたいに設定こんで、何か必要だからこれ以上必要な個数を確保します。
0:48:06	8個必要だから10個ですかねみたいな話を書くかっていうと、パターンかなと。
0:48:11	思いながら、要は全体が全部頭に入ってるかっていうと最初にも含めて、
0:48:16	全部後と弾ききれないので、そこも含めて分に1回のせて考えるかなというところでした。
0:48:22	はい、わかりました。そういう意味だと、家結果の代表という意味で今回示されるってことなんですよ。そうですね。
0:48:31	はい、わかりました。以上です。
0:48:34	規制庁亀井です。
0:48:36	私、
0:48:37	江藤 80。
0:48:38	7 ページ目。
0:48:42	ここ、1、
0:48:45	なんかこの三つの並びがちょっとよくなくてですね、二つ目のポツで最大荷重の話をして、定格荷重を定義化して、次のポツで、
0:48:56	最大過剰な仮定にしてるもん多くなっていて何か、
0:49:03	例えば二つ目と三つ目は、少しバランスちゃんと
0:49:07	定義する場所と、
0:49:09	それを、今回の評価の目的を示す場所をちゃんと分けて、整えて、
0:49:17	はい、仁科でございます。いたしまして、おっしゃっていただいたように2番目のことで、定格荷重の定義をしてみたい。いえ、最大荷重を考慮してと言って最大荷重がまた一番最後に提供できるということでイトウ目的。
0:49:32	一番最後多分目的でその前に定義をしながらつなげるんですけど、
0:49:36	はい。請求します。はい、規制庁からよろしくお願ひします。次 88 ページ目。
0:49:44	サンポツ一の吹き出しのホウ酸、これはちょっと意味が取ってない。
0:49:51	対象設備は、核燃料物質の移動を行う設備を、搬送設備のうち、ってな
0:49:57	うん。
0:49:58	なんか、

0:49:58	見てる。
0:50:01	はい。
0:50:07	はい。
0:50:10	はい。
0:50:13	まず一つは、
0:50:14	九州ユキ及ぼすっていうのが余りにも強調され過ぎてそうです。まずは、どういったものを搬送するものが搬送設備なんですか。
0:50:22	ただしそこからこういうものを抜きますよっていうような考え方でちょっと日本語発生します。はい、規制庁カセよろしくお願ひします
0:50:30	はい。今おっしゃっていただいた通り、
0:50:32	人に一時影響を及ぼす恐れのある
0:50:35	書く必要はないかなと思ってます。
0:50:41	90、
0:50:42	ページ目からのところで、
0:50:46	4.1の(1)の①のMOX粉末NOところが、
0:50:54	すべての容器について定められた容量の最大を収納するものとして最大荷重の算出等々、何かちょっと変かなと思います。
0:51:05	先ほども言っていたいただいた通り結局ここで、
0:51:09	表現したいのは、
0:51:11	すべての容器で、その容器いっぱい、
0:51:14	分単位を詰めたいっていうことですよ。その状態、通常ありえないその状態を、もう1点想定してやってるっていうところが、多分言いたいことなので、はい。それがちゃんと、
0:51:26	決められた、定められた量の最大って言ったら、
0:51:29	アノヒライ言ってる決められた量と変わらないんです。はい、わかりました。はい。はい、規制庁カノウおっしゃっていただいた通り、
0:51:37	ちょっと今の表現たとえ直しても、
0:51:41	何か定格容量のをに入れて最大荷重にしてるっていうと、外れの説明にならなくてやっぱり上振れの説明が弱くなってしまうので、
0:51:51	それが②でもちょっと同じような印象を受けていて、
0:51:55	実際のところプレート内のする容器の評価は、
0:51:59	どういうふうにか上振れ防止みたいなね。
0:52:03	はやってますか。
0:52:20	そうですね。もうちょっとちゃんと、
0:52:23	ボードとかアノ野瀬てるものの、需要のアノババぶれとかも含めて考えてはいるので、ちょっとそこは、

0:52:30	丁寧にブレークしています。はい。これだと普通乗っかってるやつで一番大きいやつやってるんだって言うだけなんで、上振れするじゃんかって話なんですけど、はい。
0:52:41	考えてところが噛み合わせます。はい。はい。燃料法の方もそうですね。同じです。はい。その辺ももう少し、何、どういう観点で、
0:52:51	上振れまず募集してるかっていうのはそう。
0:52:54	こちら側でもちゃんとしっかり説明いただくという、
0:52:58	一応 9 ページの(1)の③番の燃料棒の方は、今ちょっと書いてる意味をわかりづらいんであれですけどスタッフ、長公園で設定した個数ここで一応余裕分を見込んでいる。
0:53:09	無理ではあるんですけど、その前に文章にまじり込み過ぎてよくわからなくなるので、ここは書きます。はい。はい。
0:53:16	規制庁最初よろしくお願いします。あとさ、③の 4 ポツの集合体は、
0:53:21	発電炉の設置許可等を参考にしてあって、ここで、
0:53:25	これは具体的にどんなものを頭を含めてます。
0:53:30	はい。
0:53:32	ます。
0:53:38	の設計図書なんですよね。はい。
0:53:42	実際燃料を作ったエスビーのアノベースを考えてやってるので、はい。
0:53:49	はい。
0:53:50	場合は、
0:53:51	ここの燃料棒とかは普通にすあれですね、ばねいいですという、はい。
0:53:58	根井。
0:54:00	リスクのための
0:54:02	何か措置って何をしてるんですか。はい、ありがとうございます。
0:54:08	まだ議論している最中、ちょっと考えますはい。
0:54:12	これ、
0:54:27	ちょっとどこで余裕を見ているのかっていうのはちょっとわかるようになります。はい。実際は
0:54:36	この整理を変に上回ったら、
0:54:39	受け取ってもらえない話にもなるので、そういう管理をしてるってことがベースになると思うんですけど。
0:54:45	はい。それも含めてどのぐらいの上振れが想定されるのかっていう、どこを考えてるかっていうポイントがわかるようにさせて、
0:54:53	はい。はい、規制庁加瀬です。その辺の上振れに対するキーになるような情報ですので、そこら辺がわかるようにお願いします。
0:55:03	(2)の定格荷重はちょっと、

0:55:07	はい。
0:55:09	まだ十分な能力のところ、
0:55:14	そして、
0:55:16	ここはまずう
0:55:20	書き方をちょっと考えなきゃいけないんですけど、まず計画改善は、結局はすべての設計の言い方なので、最大数を見てそれを上回るだけの能力があるように計画課長をまず決めますと、
0:55:32	うんで定格荷重を決めたその設備動かす設備に対する設計を決めに行くので、それをインプットにして、それぞれ構成されるモーターなワイヤーなあ。ギアが何らか部と分けたときに、
0:55:46	それぞれに対して、ここにはこんだけトルクがかかります、じゃあその登録が必要最低な努力ですね、じゃあどんな言動級なりますか、これを上回るものを選びますっていう時点で、
0:55:57	余裕が1個ずつ積み上がっていきましてことが説明したいことです。はい。それをもう少し元に積み上げていうことです。
0:56:07	一つ一つの、そういうことがあると。
0:56:10	説得力を増すと思います。
0:56:13	お願いします。はい。
0:56:21	91 ページ目の 4.2、2 ポツ目。
0:56:26	のブロック内外の話はちょっと先日の日はもう伝えましたが、まだちょっとその、なぜ、
0:56:33	何するのかっていう文書が、ヒアリングではちゃんと聞いてますが、はい。文書化ができてませんので、はい。そういうところは、
0:56:41	よろしくお願いします。
0:56:43	はい。
0:56:47	規制庁が、先ほど言っていたいた、それぞれの方式の最大荷重のところ、
0:56:57	今の書き方では何でられないのかっていうところが、
0:57:03	ほとんど書かれてませんので、はい。そこの拡充をお願いします。
0:57:07	はい。
0:57:10	規制庁がちなみによく聞いに対する黄砂は、大事なことはないと思うんですが、
0:57:16	何か書けることってありますか。
0:57:18	容器の大きさに対する数本の講座ですか。はい。
0:57:25	もう講座として考えてるものもあるはずなので、それが、あと重量っていうのは、関西支社で聞かないかというのをちょっと整理していきます。はい。

0:57:36	規制庁、青田イシタことはないと思うんですがそういう材料があると、安心か。あとグループさんでしっかり、その辺は説明しますっていうと、
0:57:45	ちゃんと明記いただければと思い、
0:57:52	軽微な話なんですけど、92 ページ目からのスタッカークレーンの表現がちょっと揺れてますのでスタッフ連とサッカークラブは、いろいろ言われてますので、そこは、
0:58:02	今ちょっと搬送、01 から 03 とかも入れてますので、はい。見なおしていただいて使う方統一いただければと思います。
0:58:13	とりあえず搬送関係後、午前中言ったその受けた処理の考え方は、
0:58:19	結果に対する結果処理の考え方がちゃんと有効数値をもって、
0:58:24	考えて、東西厳しいもの。
0:58:27	0.99 となったものは、はい、1 から 5 あることを示すために使用する第 3 位まででそれは有効数値が、
0:58:34	桁以上のもの。
0:58:36	アビルっていうことをちゃんと、はい。表現していただいてそれをちゃんと記載していただくところだと思います。
0:58:45	10 日ですか、搬送関係で規制庁側から確認等ありますでしょうか。
0:59:26	ただ、すごいふわっとしたスキームの理由は、
0:59:31	とりあえず、
0:59:35	はい。すいません。はい。
0:59:38	部長からちょっと不利。
0:59:39	また、
0:59:48	キーを申し上げる。
0:59:53	エミセガワです。
0:59:55	NSAの設定項目の整備方針について、こういうことを説明させていただきます。
1:00:05	提出した資料の 1、右下ページ、
1:00:08	何か、
1:00:10	思いますすいません。
1:00:12	PDF上の通しページで、ページを指定しながらご説明をさせ
1:00:19	ます。
1:00:20	1 ページ目、青字で前回からの変更点をまとめてございます。19 日にヒアリングを実施いたしまして、様々なコメントいただいておりますけれども、今回整理させていただいたのは、火曜、二つ目のレ点ですけれども、
1:00:36	多様性独立性位置的分散の預け方というのを 1 回個別条文を経由してから、8 条等の、その外部衝撃関係の条文に引き渡すと。

1:00:48	言ったところの考え方と、その実例というものを今回の資料でお付けさせていただきます。
1:00:55	はい。
1:00:56	ページをめくっていただきまして3ページ、通しページ3ページに該当するところで、別添として紐づけの考え方でまとめてさせていただきます。
1:01:06	これは前回の19日のヒアリングですね、それまでのやりとり踏まえて、この別添の本文自体をですね、ポイントを押さえた構成に見直すべきだと。
1:01:18	そういったちょっとコメントをいただいておりますが、今回の提出資料ではそこまでちょっとおよんでおりませんので、まず1ポチの、今回のメインに説明したい多様性独立性位置的分散の部分、ここの部分だけをちょっと考え方を改めて整理させていただいております。
1:01:35	最初の一つ目二つ目はここに記載している通りですね先ほど冒頭で申し上げた通り、個別条文を経由してから八条に引き渡すということを記載させていただきます。
1:01:45	で、さらにですね個別条文から八条に引き渡すときにはですね、この多様性独立性位置的分散というのが、3ポツ目のこ三つ目のポチですけども、想定している現象との見合いで、効果があるのかないのかといったところを、
1:02:02	個別条文の資料2できちんと考察した上で、効果があるものを、八条側に引き渡すという、整理を試みてさせていただきます。
1:02:12	その時の観点というのを四つ目のポチにまとめています。
1:02:16	多様性、
1:02:17	このようにですね、コウはちょっと検討を深める中でもう少し観点が拡充されるものかなと思っておりますが、まず多様性という観点でいけば、機能損傷、
1:02:29	の場合に効果を発揮するものと、動作原理が違うものとかそういった観点での多様性となりますので、機能損傷の観点からというふうにとられてました。これ構造的に壊れるモードまで行きますと、あまり多様性というのは、効果を
1:02:45	効果がなくなりますので、機能損傷ぐらいにとどまるようなものに対しては対応して、独立性というのはいくつか系統的なもの、そして位置的分散が空間的な隔離と、
1:02:55	こういった観点で、分析をまず進めていきたいと考えてさせていただきます。
1:03:00	はい。
1:03:01	それ以降ちょっと本文はですね、青字で、コメント受け見直し中というふうに書かせていただいておりますが、



1:03:08	文章の精査できておりませんので、次回提出までには、端的にまとめたなと思っております。
1:03:16	で、先ほどの3ページの多様性独立性自主的分散に対する考察の部分をですね、7ページのような、別表の形で今回、竜巻だけを記載してございますが、
1:03:28	想定する現象すべてに対してですね、対応性独立的分散というのが、その現象の損傷モードとの見合いで、効果があるのかないのかと。
1:03:38	いうのを分析していきたいと考えてございます。これもまだ全然走り始めでして、竜巻自体もですね、まだ文章が全然充実できるとは思っておりませんので、
1:03:49	引き続きですね来週、29日、再提出目標で作業しておりますが、そこに向けて記載を拡充していきたいと考えてございます。
1:04:00	ただ、ただちょっと今日の部分で1例というかですね、竜巻に対する私どもの認識という部分を少しだけ辺お伝えさせていただきますと、
1:04:11	多様性の部分ですね、例えば竜巻ですと、課税、飛来物そして気圧差という、そういった荷重形態を想定しますけれども、こういった
1:04:21	荷重の形式によってもたらされる設備の損傷というのは、構造的な損傷が主であろうと、中途半端な機能喪失みたいな状態はないであろうということで、竜巻に対しての多様性と、
1:04:34	いう部分は、あまり効果がないという整理をしたいと考えてございました。
1:04:39	独立性のところ、例えばですねわかりやすいやつでいきますと気圧差のところを見ていただきますと、独立性の屋内の気圧の部分ですね。
1:04:48	気圧差のアノ系統として営業が及びますので、こういったものに対して、弁等で隔離する、もしくはもう、ワンスルー外してしまうというような独立性を持たせることによってその気圧差というものが、波及しないということで、
1:05:02	独立性に対して竜巻に対しては、アサノ独立性といった観点が有効に機能するであろうと、そんな整理を進めているところでございます。はい。
1:05:15	こういった考察を全事象、
1:05:18	しっかり分析したいと考えてございました。
1:05:21	続いて、9ページです。
1:05:25	これもちょっとすいません。本文中に、
1:05:28	この資料の展開の解説というのが本来本文中に書かされるべきなんですけど、すみません、素材をまとめるようなところになってしまっておりますが、先ほどの別表での考察を踏まえて具体的な

1:05:42	共通 12 の資料 2 をどう展開していくんだというのを別紙の形でまとめてございます。9 ページをご覧ください。左側に書いてあるのが 36 条の資料に、
1:05:53	もうちょっと今回、県下の様をわかりやすくしたいということで、資料 2 のフォーマットから少し
1:06:02	いじってます。
1:06:04	横方向にですね、設計説明分類をちょっと展開する。
1:06:08	現象を展開するというような形で少しわかりやすく、
1:06:12	修正しておりますが、加工しておりますが、やろうとしてるのは資料 2 の内容そのものです。ここでシステム配置構造、システムというのは独立性配置というのが 1 滴分散構造というのが多様性と。
1:06:27	いう認識のもとですね。
1:06:29	36 条としての要求事項を、この 20 番の設計方針をひもづける形で、具体化しております。この中で、
1:06:40	赤の吹き出しで書いてある通りですね、独立性多様性、位置的分散、こういったものは、事故対処の設備の特色ですね、真ん中ほどに機能構造系統配置と、
1:06:51	書いてありますが、こういった対処の機能説明、これと絡めて説明する必要があるということの認識に立ってですね、一旦、個別事故条文、個別のサポート系の条文に紐づける整理としてございます。
1:07:05	下の方ですね関連する条文の紐づけ番号をしっかり記載してどこに紐づけるんだといったところを明記します。右側にいきましてこれ 39 条の代替安全冷却水系の
1:07:18	多様性、独立性、位置的分散に関する設計が展開されているところ、15 番、22 番なんですけれども、それを右側の方に記載してございます。
1:07:29	先ほどの左から 15 番 16 番に紐づけるよといった形で、右側に行きまして、右上のところですね、36 条の基本設計方針 20 を受けた設計ということで、
1:07:41	左側、左の 36 条の何の設計方針を受けた設計になってますかといった紐づけ関係を明確にすると、2 段目で、39 条の代替安全冷却水系という設備に着目しての、
1:07:54	多様性独立性といった部分の設計項目を整理する。
1:07:58	というのが、上段二つになります。三つ目の段が、じゃあその独立性の話ってというのは、どの事象で独立性を検証したらいいんだという考察をここに展開しようと考えてございます。

1:08:12	ここはちょっと概要だけ書いておりましたが、先ほどの 7 ページ 8 ページでやろうとしていた別表ですね、分析結果を踏まえて、しっかり記載を拡充していくことを考えてございました。
1:08:24	それを丸の方ですね、地震、竜巻、火山というような形で、事象ごとに記載しまして、ここで効果があるよとなったものに対しては一番下のところで
1:08:35	地上の何番の設計方針にぶつけるんだといったような紐づけを行って、その整理を試みて、
1:08:43	はい。
1:08:45	ですね。
1:08:47	竜巻を今回ちょっと例に施工してみたものになります先ほどの別表に示したのが一応整理の結果ではあるんですけども、例えば 10 ページ、
1:08:59	の、
1:09:00	右側見ていただきますと、18 番として、
1:09:05	中型移送ポンプの。
1:09:07	多様性の話。
1:09:09	中型移送コウを用いた、貯水槽をヒートシンクとした多様性という部分ですね、こういったものは、竜巻のところ赤字で書いておりましたが、
1:09:19	一応設計基準は、動的機能に期待したヒートシンクの提案に対して、S Aは貯水槽という、水がめニイツそのものを期待するという、準静的な、
1:09:31	ものを期待したヒートシンクということで、こういったものは、構造的な損傷に対して、すいませんこれ先ほどの別表の整備と違いますね。対応性はないと言ったんですけど、
1:09:42	こういうことあるのでしっかりまた分析は継続するんですが、構造的な損傷が、やはり静的と動的であって異なるであろうということで、多様性は有効でしょうと。
1:09:54	ということで、18 条の竜巻のNo.19、これが外部の環境に対する設備設計を述べているところですけどもそこに紐づけるそんな整理を、
1:10:04	やってございます。はい。これが 11 ページ目までが、
1:10:10	すいません、12 ページ目までですね、が 36 条から個別条文への紐付けになります。
1:10:17	で、
1:10:18	個別条文から八条が不安で受けるときにどうなるんだといったところを、13 ページにサンポセットして載せてございます。
1:10:30	個別条文から受けた設計項目については、青色のハッチングで記載してございます。

1:10:38	で、結ぶオレンジ。
1:10:41	大丈夫でしょう。
1:10:42	のものは、これもSAの設計を、
1:10:46	伸びてるところですけども、発信元が違いまして、36条から直接ひもづいてくる。
1:10:53	というような識別で記載してございます。
1:10:56	で、
1:10:58	先ほどの紐付けとリンクしておりまして、青色のものが多様性独立性、位置的分散の観点での設計項目として前回、
1:11:09	ちょっと1点だけですねこれ事実関係をただまとめただけで、あんまり説明するところはないんですけども、
1:11:16	前回19日のヒアリングで、コサクさんからですね、
1:11:21	位置的分散の要求としては地上たもの、あと環境条件の要求としては地上に来たものを結果して、要求の出どころは違うんだけども、かなり田井設計が同じものがあるよねと。
1:11:36	そういうものをどうやってまとめていこうとしてるんですかという問いをいただいております。それに対する明確な、こういう集約のさせ方をさ、
1:11:46	するんですよといったところまでは今回の資料でちょっと書き合わせてないんですけども、こういった部分そういう問題が発生してますよといったところを1点ご紹介させていただければと思います。
1:11:57	21ページをご覧ください。
1:12:02	79、これ屋外の竜巻、屋外設備の防護設計を展開しているところになります。青色のハッチングで、可搬型屋外に保管する可搬型設備の、
1:12:15	位置的分散に関する設計が、青色の形で展開されております。
1:12:20	もう一つですねその下に、
1:12:23	36条の122番、これ韓国外の可搬型SA設備の環境条件に対する設計を、設計要求を記載しているのが36条、122なんですけれども、
1:12:34	環境側の要求から、
1:12:37	位置的分散に絡む設計が、
1:12:40	展開されてます。
1:12:42	この122番のところ見ていただきますと、風荷重に対しては固縛するんですけども、設計嫌い物に対するショートカット衝突荷重に対しては、
1:12:54	補完するSA設備をですね、互いに100メートル分散しておいて、1円は生き残るようにしますと。
1:13:02	いう設計になります。
1:13:04	上の21番というのは、分散して保管しますよ。

1:13:09	環境がどうかって言えば、竜巻を考慮してきちんと分散して保管しますよということを書いてあるのは、上のは、
1:13:16	これが模擬する設計になります。
1:13:19	これを、
1:13:22	出どころが違うということで、
1:13:25	セーブを分けたまま、
1:13:27	記載するのか、結果して説明することは、分散してる様を説明することになりますので、これをまとめていくのか。
1:13:36	言った部分は、整理が必要とっておりますここ、こういったところに対する回答を次回、
1:13:44	提出資料では、しっかりかけ合わせていけたらなと思ってました。で、今考えてるところだけをお伝えしますと、設計項目の考え方そのものがですね、
1:13:56	目的を
1:13:57	変えて、
1:13:59	要求が飛んできてますので、
1:14:02	ここは 21 と 120mm は分けておくのかなと思います。で、右側、今回の資料では、記載、
1:14:09	省略してますが、
1:14:11	説明グループの考え方。
1:14:15	というのが次の横に量が追加されます。その中で、ませる結合してですね、21 番と 122 番をまとめて、位置的分散というのを説明していきますよと。
1:14:27	いうことを、右側で統合して柿原していくのかなあというふうに今思っております。
1:14:33	はい。
1:14:35	この資料の説明は以上となります。
1:14:40	はい。規制庁の藤原です。
1:14:43	この資料の今の現状というか整理の状況とあと、今回、代表性時、独立性位置的分散についてどう整理
1:14:54	していこうとしてるかっていう流れを説明いただきました。で、
1:14:59	とりあえず、1 ページ目のところ未対応という部分については、今後来週は、できるだけ、この予定期間の一応、市場提出で、
1:15:10	3 月 1 日にヒアリングしたいっていう意図っていうふうに認識していいですか。
1:15:16	はい、長谷川です。はい。
1:15:19	ご認識の通りです。うん。

1:15:21	はい規制庁のフジワラですわかりました。ただ今からの議論で、整理がもう少し必要だねとかってなればこちら辺も少し変わってくるかもしれませんが、整理の状況によってで、
1:15:34	変わってくるのかなと思うので、
1:15:36	とりあえずは据え置きにしておきますので、
1:15:42	次に、
1:15:44	3 ページ目のところで、考え方を、
1:15:48	説明していただいていますけど案。
1:15:51	この後の資料の整理、
1:15:54	多分、文章化しているというところでありまして今説明の中でも、この観点というか多様性、独立性位置的分散ってこういうふうにとかっていうところであったり、また、
1:16:06	7 ページ目でしたっけ 6 ページ目の所、そこにある、
1:16:10	整理も、もう少し検討したら変わってきそうですっていうところなので、下の整理を踏まえながらこちら辺は、変化というか進化していくものと、
1:16:22	適正になっ適切なものになっていくっていう方がいいですかね、そういうふうにされていくという認識していますけど、その認識で大丈夫ですよ。
1:16:29	はい。
1:16:30	瀬川ですけれども、ご認識の通りですまだ全然足りてないと思っていますので、これ、違う現象に対して、考察加えていくと。
1:16:40	こういう観点もあるねってフィードバックが発生すると思っていますので、もう少しお時間をいただいてしっかり議論していきたいと思っています。以上です。
1:16:51	はい規制庁のフジワラですわかりました。先ほどの実は構造の部分が あったので、多様性もありますねっていう話もあったかと思ひますし、
1:17:02	あと今回、パイロットとして 39 条を整理、
1:17:07	されてきていて他の、後ろの方の設備条文サポート系なんかもやっていると、どんどん実はないと思ってたけどあるねとか、プラスアルファでこういう観点もあるねみたいなところ。
1:17:19	が出てくるのかなと思っていますので、これは今後、どんどん整理を進めるにあたってバージョンアップというか、
1:17:29	ドンと整理されて、整備されていくものかなと思っています。
1:17:34	ですのでこの文章を細かく見ようとは思ってませんので、どんどん下の整理の結果をここに、
1:17:44	必要なものは、整理していくと。
1:17:47	あと今の記載を修正していくという形でしていただけたらと思います。ただ一つこれはお願いベースなんですけど、

1:17:55	宮さんの観点で、括弧書きの中に括弧書きって結構今回多かったんですよ後のおっかしい資料になりうる表の中でもなんですけど、
1:18:06	なので、一旦整理するに当たってあき戻しがないようにとか、できるだけ伝わるようにと書いていろいろと多分言葉を
1:18:17	追加されたりとかしている中でこうなってしまったのかなと思うので、今の時点ではいいんですけど、少し、
1:18:24	時間をおいて冷静になったときに、この辺りってこんな括弧書きじゃなくて普通にこういうふうに書けるよねって思えば、少し整理はしていただきたいと思ってますけど、特に今の雄踏衛藤 3 ページ目の 1 ポツの両括弧 1 の 1 ポツ目なんかは、
1:18:39	小牧の中に括弧がいっぱい入ってるんですよ。これって多分整理すれば、普通に括弧書きとかなくてもいけるような文章にもなりそうだなあと思ってるので、無理はない程度でいいんですけど、こういったところはわかりやすいように、
1:18:52	終了していただきたいと思ってますけど大丈夫ですか。
1:18:55	はい。日本原燃の瀬川承知いたしました。はい。
1:19:01	はい。規制庁の藤原です。あと、4 ページ目の、
1:19:06	今回接続の話、接続口ですか、お話なんですけど、
1:19:12	なお書きで、
1:19:14	接続口がハタケ、屋内機器配管なんだけど、アクセスするための、例えば業界扉に対してっていうことで、
1:19:25	奥川猪瀬衛藤。
1:19:27	設備設計っていうふうにする。
1:19:30	それに関連付けて整理するということなんですけど、このときに、建屋の境界の扉だから、
1:19:38	建物構築物と屋外の設備っていうので、特に悩みはなかったんでしょうか。
1:19:44	はい。日本原燃の瀬川です。
1:19:47	これは本当決め事かなといったところで一応今回はですね、なお書きに書いた通り整理させていただいたんですけども、
1:19:56	建物の設計として語った時にはですね、その扉の前後、
1:20:04	違う面に設けるんだという設計をですね、建物の設計と抱き合わせて説明するっていうのが、ちょっとやっぱ、どうも違和感というかですね。
1:20:14	要は屋外の、僕が多分違った結局、この扉に何か期待することがありますか、形状なんて語ることがありますかっていうのがあるかないか。
1:20:29	であるんだとするとそのコミヤの子に対する設計って、今まで他は、建物構築物の方、

1:20:36	何もなくて単純に配置の話だったな、多分。
1:20:41	そう外気配管でやる。はい。でもそれも何かするとか、建物別にA、建物構築物でいったらいいんじゃないのって気はするけど
1:20:52	ですね、すみません。
1:20:54	はい。
1:20:56	そうですね。あんまりここで私の見解を述べて、はい。
1:21:02	はい。はい規制庁の藤丸です。
1:21:06	石原さんがおっしゃってくださったように私も本当は建物構築物かなと思ったり、
1:21:11	部分はというふうに整理、
1:21:15	たところですね経営ではあるんですけど、どちらで説明するのが本当にいいのかっていったところは説明したい内容に応じて、決めてください。なので、
1:21:25	あと、ここでカクウ時にはそういったことを考えたからこっち側で整理しますというふうに示していただきたいんですけどいいですか。
1:21:34	はい、承知いたしました。瀬川です。承知いたしました。
1:21:38	はい。規制庁の藤原ですよろしくお願いします。あとの部分、この部署、今度の
1:21:44	は 19 日のコメント対応中ということですので、とりあえず今回のヒアリングでは確認はえとずに次の段階かなと思っているので、
1:21:55	続いては 7 ページ以降の方に移っていきたいと思います。
1:22:01	で、先ほどの説明にあった通りここもまだ、少しの事例をやったところがあるので、実は、
1:22:11	展開しないというふうに書きつつも、展開するものがあるとか、今後発生していきだろうというふうな認識はおありなので、衛藤。
1:22:21	幾つもの事例に基づいて、やっぱりこういうノダとコウいるねっていうところは、どんどん追加をしていていただきたいと思います。
1:22:32	作文中というところもあるので、
1:22:36	うん。
1:22:37	整備をしてくださいということで、
1:22:39	流れとしてこれこういうことを整理している。
1:22:42	次のところではこうなりますということをお示されたいのかなと思って認識はしています。で、ここで整理されたもの、多様性、独立性位置的分散っていうのが、次の
1:22:57	9 ページ目 2-36 条の方の、
1:23:01	展開の部分でいくと、



1:23:04	多様性は構造設計、独立性はシステム設計、1 適合 3 は配置設計というふうに展開するのに、まずは全体にこの整理を置いています。もちろん次の 39 条にも行くのであれなんですけど、
1:23:18	まずは 36 条の整理として、
1:23:20	どういったらいんですか。
1:23:22	はい、日本へ野瀬があるそのご認識の通りです。ただ、
1:23:27	そういう繋がりを持っているという解説はどこにも、今、記載ございませんので、そこもしっかり見える化したいと思います。
1:23:39	はい。規制庁の藤原です。わかりました何となくそういう意識でされてるんだなということは認識しましたのでわかるようにはさせていただくとともに、あとは出てきた。
1:23:51	いろんな状況を、
1:23:54	整備されていくと、本当に
1:23:57	全部これが一対一で対応するかどうかも考えてはいかなきゃいけないと きが来るのかもしれないので、
1:24:04	こんな多様性は構造でいける、独立性はシステムできる主流はそうかな と思いつつも、その辺も柔軟に考えていただきたいと思いますのでよろ しくお願いします。
1:24:19	はい。種セガワで承知いたしました。
1:24:22	はい。規制庁の藤間です。そこで 36 条のところから、39 条のところに行 く部分でなんですけど、
1:24:34	今回は
1:24:37	39 条のところという、
1:24:40	7 ポツ 2 ポツ 2 ポツサンポ次の多様性位置的分散の具体例のところ にひもづけられていて、
1:24:48	ただ、今回、個別のところを紐づけるっていうのは、昨日この機能とは みたいなところを考えた上で、
1:24:58	とかっていう話だったと思うんですけど、すみませんちょっと説明はされ てたと思うんですけど、この右端の 39 条の右のカラムの、
1:25:08	1 個目は、朝三つに三つの段に分かれていて一つ目は、その 36 条の どの基本設計方針との関係性かっていうのがわかるようになっていて、
1:25:18	二つ目は、何を示してるんですけど。
1:25:22	はい。日本原燃の瀬川です。二つ目は 39 条として、この独立性に対す る設計項目。
1:25:32	そしてどういう説明を設計としてし、どういう説明をしていかなきゃいかん のかと。
1:25:36	そういったところをまとめるのが二つ目のカラムの思いでした。

1:25:42	はい。規制庁の藤原です。39 条として説明するところと、
1:25:47	三つあるところは、その事象の方にバトンを渡していく部分だと認識して るんですけど、39 条として説明したい。
1:26:00	しなきゃいけないと思っている部分と、8 条、今回で言うと竜巻の八条に バトンを引き継ぎたいと思ってるところの説明内容の差分がよくわから ないんですけど、どういう。
1:26:12	観点でもいいんですけど、どういうふうな整理されてますか。
1:26:16	はい、日本へのセガワです。
1:26:19	ですね。
1:26:20	説明の観点は、
1:26:22	同じになります。すいません。それがかけ合わせてますよね。
1:26:27	設計基準設備等、常設衛星設備、この 15 番の例でいけば常設衛星設 備を、に対し独立性を図る設計。
1:26:37	というのを、二つ目のカラムめくらカラムは 39 条として、その機能の観 点で見たときに、
1:26:45	独立性というのがちゃんとはかれているかというのを見るのが二つ目の カラム。
1:26:50	三つ目は、そのやられている独立性の設計っていうのが、関連する事 象を立てたときにも有効なのかどうなのかと。
1:26:59	いう観点を、三つ目のカラムで展開したかったものでして、
1:27:04	見る設計は同じ。
1:27:06	ものを題材に見ることになります。
1:27:10	規制庁の藤間です。えっと、というかあれですかね、39 条で説明したい ところは、このこの機能をはっきりさせるってことなんですかね。なので 本当はあれですか、39 条で、
1:27:23	対基本設計方針のオカとの繋がりで、例えば今 15 番だと、もう普通に 設計の話になっていて、
1:27:32	このこの機能については整理が読み取れない。
1:27:37	文章だと思うんです。
1:27:39	この前段に、7 ポツ 2 ポツに持つ 3 ポツ、
1:27:44	1 があったり、あと、共通の方の基本設計方針、閉じ込めの方の
1:27:50	基本設計方針があたりっていうところとの関係性をここで整理して、
1:27:55	こういう機能を持っているので、この
1:27:59	独立性によって、
1:28:01	機能維持を図るんですみたいなことを整理しようと思えばいい んですかね。

1:28:06	はい。日本原燃の世良です。藤原さんのご指摘の通りですね、すみません、この上流に
1:28:15	通りですね、大体安全冷却水系の機能とは何たるやと、どういう機能を持たせるんだという設計がこの上側で展開されているのが実態でして、
1:28:28	数その機能が何たるやといったところが、やはり今の資料では書き表せてないので、そこはきちんと、
1:28:39	書くのは、
1:28:41	間違いなく書くんですけども、
1:28:44	ただ実際資料 2 を作る時に、あれですね、この 14 番より若井設計で語っていることと、15 番とのリンクみたいなのを、少しやっぱ資料上でも紐付け関係整理しておかないとまずいかなあという印象も持ちつつ、
1:29:01	ですね。
1:29:01	はい。ちょっともう少し検討したいと思います。いずれにしてもちょっと
1:29:05	機能が何たるやといったところの説明がないのは、ご指摘の通りですので、そこをしっかりかけ合わせていきたいと思います。
1:29:13	規制庁ナカジマというか、あれ、この絵と共通 10 年の資料 2 を整理するにあたって 39 条で多分タケノタケノというか、その条文に関係する基本設計方針の
1:29:26	繋がりを、39 条とか他の条文でもやってるみたいにやってることが綺麗に示されていけば、ここのっていうかその整理をして、
1:29:35	いけばここの整理されるんじゃないかと思ってるんですけど、違います。
1:29:40	はい。日本原燃の末松アノ地違い違わないは違わないんですけども、
1:29:49	すみません、この資料を作るにあたってしっかり 39 条の頭から流して、
1:29:57	やってみてやるべきだったところを、クボやってなかったというのが如実に現れてますので、ちょっと今一度ですね、持ち帰ってちょっとしっかり見させていただければと思います
1:30:12	古畑さんが想像されてる通りですね、
1:30:16	特殊な個別条文の中で特殊なことをやるわけではございませんので、ちゃんと流れてると思うんですけども、はい。
1:30:25	旧規制庁ノジマです今回は多分アノン、どういった形で整理していこうとしているかっていう様を見せるのに多分、こういうふうな整理として、
1:30:35	し資料を提示されているし、少しここの部分にフォーカスしてしまったということであって、基本的には、他の条文とやってることは、同じことをし、しようとしてるところが、
1:30:47	ここに整理されていけば、この 2 段目の 39 条でしなきゃいけないことプラス、しなきゃいけないこと。

1:30:57	の観点の部分は整理ができると思っていて、
1:31:02	それが効果的にできるのかっていったところを事象の方に持ってくるのかその検討に持っていくってことかなと思ってますけど、その認識で大丈夫ですかね。
1:31:13	はい。日本原電の瀬川です。
1:31:15	五味ご指摘の通りだと思う。
1:31:20	はい。規制庁の藤原です。そういった形でまずパイロットで、今回は水とかでしたけど 39 条をまず整理する。それに、
1:31:32	それを踏まえて、どんどん他の条文を整理していくことになると思うので、
1:31:39	他の条文、今、資料共通中にですね、その整理方針に基づきやっつけいけば成立できる部分かと思しますのでその辺り整理していただきたいと思います。
1:31:50	次にここからが、
1:31:54	次の資料ですよね。衛藤。
1:31:57	8 以上の方に引き渡すということで 13 ページからしているところ。
1:32:02	なんですけどここもおそらく整理
1:32:05	リバー
1:32:08	このままになるのかどっちなのかっていったところはあるんですけど、
1:32:13	例えば例で言うと、13 ページの 21 番に書かれているこのポチの部分。
1:32:20	さっきの表で見ていると 11 ページのところの、
1:32:27	39 条で整理したいところを書いてあるポチになっていて、それもあって私はどういう整理をしたいのかっていうのを聞いたところではあるんですけど、
1:32:39	俺が結局この下の方の、
1:32:41	竜巻とかでの設計、
1:32:44	2、
1:32:45	明るいてくるのかなと私はこの 3 段目に当たるんですが一つの配置設計だと配置設計の中の 3 段目に当たる。
1:32:55	ところで、竜巻として整理されたものが、えっとさ。
1:33:00	イのところに入ってくるのかなと思ってたんですけど、流れ的にはどういう感じで考えてました。
1:33:07	はい。日本原燃の瀬川です。
1:33:09	今藤原さんがおっしゃられたところもうちょっと施工はした、してはいました。竜巻だけをサンプルに変えていけば、
1:33:19	うまくこう繋がってくるんですけども、これ、次の他の事象も見越して変えていったときに、

1:33:27	どうなっていくんだろうと。
1:33:29	いうのをちょっと想像してしまってますね、今、13 ページとかに展開してる内容は 36 条で述べたような、抽象的な表現に戻っていたというのがこれ実態でございます。
1:33:43	やはりですねちょっと全体を 1 回、
1:33:46	全事象に押しなべて、
1:33:49	やってみないと、どういう記載の仕方がベストなのかっていうのがちょっと今は判断つかなかったのが実態でございます。
1:33:58	規制庁の藤原です。
1:34:01	先ほどのやりとりと今のやりとりとで今の記載になってしまった理由はわかりましたが、
1:34:10	そうですねっていうか全条文が一番ベストですけど、いくつかの条文を上流からばっと流していけば、
1:34:19	このあたりもどういうふうに変えていくのがいいのかって言ったところ、あとは、せっかくこの流れを作っていて、この 3 段目を作っているので、
1:34:30	そことの、
1:34:32	関係性っていうのを整理していく方がいいのかなと。ただその流れをもう少し変えますというのであればいいですけど、せっかくこの、一応、
1:34:42	7 ページ目とか、七、八ページで整理されて、
1:34:48	るもので 9 ページ以降は 36 条と 39 条ですけど、そういった形で流れ持って整理しているところを、最終的に
1:34:58	八条の方に持ってくっていったところがあるので、その辺は、せっかく流れを作ってるのであればそれは途切れることなく、整理をしていただいた方が、ちゃんと考えとしても整理されるんじゃないのかなと思うので、
1:35:12	今一度検討していただけたらと思います。
1:35:15	日本エヌセガワでしょう。
1:35:22	清町の藤原です。流れと大枠のところ、私が確認したかったところは、
1:35:29	とりあえずは、
1:35:31	以上。
1:35:33	です。
1:35:34	あとちょっと細かいところも聞こうかなと思うので、大枠とかで、規制庁側から、何かあればお願いします。
1:35:47	規制庁の藤林特になさそうであれば、
1:35:52	全部のセルを止めたわけではないので、
1:35:58	整備を進めていただいた中でもう少し具体的に確認していこうと思いますが、
1:36:05	一つ気になったのが、

1:36:08	99 ページか。
1:36:12	9 ページの、
1:36:14	2 週間のその 36 条側の設計のところで書いてある。
1:36:19	屋外配置設計、
1:36:23	構造設計もそうですよね。そこら辺の文章なんですけど、オカに設置する重大事故等対処せ、常設重大事故等対処設備括弧外女性初代仁木調整所ってあるんですけど、
1:36:33	女性人自体は屋内機器配管だに整備されてたと思うんですけど整理変えました。
1:36:40	はい。日本原燃の瀬川です。
1:36:42	こちらの整理を少し変えようと思っておりました。
1:36:48	あとご認識の通り、国内機器配管という位置付けではあったんですけども、やはりこの第 1 貯水槽の例えば位置的分散を図ろうと思ったときには、
1:36:58	屋外に設置しているDBの冷却塔、
1:37:02	この位置的分散。
1:37:03	というような、そういう設計を、屋外の設計としてかかりたいといったときに、
1:37:09	屋外の設計語ってるのに屋内機器配管っていうラベルがついていて、やっぱり
1:37:14	直観的じゃないという部分もあってですね、
1:37:18	変えたいなと思って、
1:37:20	です。
1:37:21	はい。
1:37:21	ごめんなさい。長田です。
1:37:25	貯水槽、
1:37:27	だけの問題じゃなくて、保管庫としての中に入っている可搬設備も同じだと思うんだけど、
1:37:35	それを、
1:37:37	僕が言った。
1:37:39	日本での生活そこは屋外とは言っていない。ないです。ですよってすると、貯水槽一緒じゃん。
1:37:47	持って、屋内機器として、防護設計するけど、配置としてはそもそその保管所っていうのを、DBの格納してるものの代替機能ところっていうと、
1:38:00	SA、
1:38:02	対象建屋、

1:38:04	内だったり、今の冷却塔だったり、
1:38:07	いうことであって、それと離隔を図った他場作りますってその作った保管所に格納しますんで、
1:38:14	いうことですよ。はい。
1:38:18	いうことだから、
1:38:20	可搬の保管所の話と同じように変えていけば、掛ける。
1:38:26	て思うんだけど今、
1:38:32	今ですね、日本原電の瀬川です。今回、ちょっと貯水しそう。
1:38:39	同じにしてですねこの煩わしさは過去には話は上がってないんですけども、屋内に保管するホース、そして、屋外保管するホース、同じホースなので、
1:38:50	同じ目的で使うコウそのものに保管場所が含まれて屋外ということがあって、それに対して、当初の設計説明分類は、屋外設計のほうが支配的だろうということで、屋外機器配管というラベルを、
1:39:05	最初は出てました最初でしょう。はい。それではやはり、設計を語りづらいついていうので、今回ですね、そのホースに対しては、屋外機器配管、屋内機器配管っていう二重ラベルを貼る整備にしました。
1:39:19	それによって、設計の係っていうのも、綺麗に収まったと思ってます。うん。そう。それがまず前提にあってですね。そうすると、
1:39:34	その通りだとオクない。
1:39:38	何も悩んだから、
1:39:40	保管庫にしまう。
1:39:45	保管庫にしまっている可搬型設備で、二重ラベルを持ちそうなものというのが、可搬型発電機、
1:39:55	可搬型発電機は、対象PR建屋の近傍に、
1:40:01	常設じゃないんですけども、据え置いて保管しているものと、
1:40:05	あと、予備として、保管料に保管しているものという二つの側面を持っています。
1:40:12	で、その可搬型発電機の位置的分散を語ろうとするとですね。
1:40:18	屋外の、
1:40:20	可搬型発電機ですね。
1:40:23	で、
1:40:25	うん。
1:40:39	鳥飼さん、説明するときに、うん。どっちな片一方見たら屋外です。
1:40:44	それと、いつ的分散を図ったり、いろんな石油考慮するものを行いだってでき持ち上げてなかった。でもそれって、ルールは、とかでその物が置かれてる場所の環境を考えて、

1:40:55	やりましょうって言ったわけでございます。はい。結局、屋内大体保管庫に入ってるって結局見たら、
1:41:03	その外部衝撃から守られる建屋に入れてた守りますっていう説明を、後でそれ以上はこれ屋外だって言ったって意味あんまり通じないよね。
1:41:13	建屋をタケヤ、
1:41:14	設備を行い、もともとDDをやってると同じようにやりましょうよって言ったからこの間二つ設計説明文に入ってもしょうがないよねっていう
1:41:23	やつだと思う。
1:41:24	はい。あんまり、相対するものこちらお聞きしてこっちを何か買いに行きますっていうのはちょっと何か、
1:41:30	本末転倒な、このこの置かれてるみんな人の視点でこの人はどっちっていうのがちゃんとやった方がええ。
1:41:40	はい。
1:41:43	じゃあ、屋内屋外あんまり関係なくて、
1:41:48	保管し、
1:41:49	調整保管庫というのが、言葉として経由するかだけでしょう。うちできますよね。
1:42:01	うん。
1:42:02	それを、
1:42:04	どうするっていう。
1:42:07	括弧っていうのも一つの登録設備、そうですね。
1:42:12	てて、
1:42:15	そういう建屋だって登録せん。
1:42:19	だけど、建屋も安重。
1:42:23	多分、純粹数、
1:42:26	施設か。
1:42:36	セキ分散の方針として、
1:42:47	少ないっていう言い方をしているときに、
1:42:53	重大事故対処の建屋内の、
1:42:57	ところで分散をしますと、
1:42:59	いうことしか考えずに書いているから気持ちが悪いんじゃない。
1:43:09	あるモリをしているところがありますけど、いや、いかもともとがアノを、
1:43:16	設置するのは、その建屋のその建屋じゃないところに離れておきますということと、
1:43:23	その建屋には置くんだけど、剥がして、共倒れしないようにしますという、大きく考えて二つあって、それが書いてある。
1:43:32	はい。その書いてある古藤に何とか紐づけて書こうとしているので、



1:43:38	その建屋ではないのか。
1:43:41	屋内にしまっているものがうまく表現できないって言ったらそれだけでオクガワイデてしまう。
1:43:47	宗田。
1:43:49	タダというかね、可搬型排風機はまさにそうでした、前処理建屋にも可搬型排風機は保管しませんで、これの予備は保管庫に、
1:43:59	保管しています。どっちも屋内機器配管アベで設計方針述べるときには、屋内に保管する可搬型排風機は、
1:44:08	代替元であるDB設備と位置的分散を図って保管しますということを語っております。そのときに、
1:44:15	前処理建屋に書いてある。
1:44:17	金田はいときも、
1:44:19	保管庫に置いてある可搬型排風機も、この基本設計方針の文字づらだけ見れば、どっちも。
1:44:26	大体元のから離れた場所の屋外に保管してますねという読み方を、
1:44:32	今、今おっしゃってます。はい。
1:44:35	えってそれで言うと、
1:44:37	その建屋じゃない建屋に保管しますっていう方針はない。
1:44:42	ねえ。そこの部分は、ここの前処理建屋の可搬型排風機っていうところをし、主眼に見ると、ここに保管する。
1:44:52	可搬型排風機は、異なる場所、100メートル以上離れた異なる場所にも保管する。
1:44:58	というふうに、
1:45:00	設計方針になってまして、その対象が保管庫のナカハタユキです。一方でこの可搬型は一時保管庫の可搬型排風機目線で見れば、もちろんDB設備と位置的分散されてるし、
1:45:12	こいつの予備機、
1:45:15	予備ではないんですけども、は、
1:45:17	前処理建屋の中に、100メートル離れた前処理建屋の中に位置的分散されて保管されてまして、どっちの視点で見ても、きちんとカバーはされるようにはなってると思って。
1:45:28	うん。いや、それはわかりますけど、その上でどうひもづけるかっていう時にね、
1:45:35	基本はその当社の方の100メートル近くですよ。はい。
1:45:40	まずそれを、そのつもりで設置してるんだからまずそこをヤマモトにしましょう。はい。
1:45:47	したときに、

1:45:48	それに附属するものが屋外だって思い込んでるからいけなくて、うん。
1:45:54	そのぶら下がりに屋内屋外がありゃいいんじゃない
1:45:57	うん。
1:45:58	はい。
1:46:02	うんでオクないって何つったら、離れてる他ですっていうことでしょうね。
1:46:09	屋内機器の時には、
1:46:13	何とか守られるような建屋の中に保管しますっていうのがまず方針が最初に作ったんです。
1:46:20	そうするとその方針には、その建屋って何っていうところでの建屋、
1:46:25	きっと。
1:46:25	プロポに入っている機器。
1:46:28	紐付きわかりますよ。はい。
1:46:31	なので、同じように、100 メーターっていうのがあり、
1:46:34	その先に
1:46:37	じゃあその補タテヤギとセットになる。
1:46:40	なっちゃうんだけど、
1:46:42	保管庫ってのがあって保管庫でももらえるって言ってるのがこっちに。
1:46:47	繋がりますよ。
1:46:49	あの日も、
1:46:52	つけて、
1:46:54	メニューは、
1:46:58	しとけば、
1:47:01	一本線じゃなくなる。
1:47:04	2 本線になってくっついて、
1:47:08	実態上宗田から、
1:47:17	はい。
1:47:19	藤原さんそれで、一応、屋内でやりつつっていう形に戻るみたいですけどいいですか。
1:47:26	院長の千葉です。はい。ありがとうございますほほ言いたいことを言っていただけなので、
1:47:34	基本的にお伝えしたいことは、以上であと言葉じりを聞きたいところで 9 ページ目のその横にスライドして 39 条、
1:47:47	ここは本当に言葉なんですけど、赤四角で説明を変えてもらってるところで、
1:47:53	三つ目 5。
1:47:55	設計内容外部衝撃等の環境条件の視点からの検証が必要。
1:48:01	が考察するというのは、

1:48:03	機能維持する。
1:48:06	かどうかっていうことを検討するっていうことが書きたい中身とあっていいですかね。
1:48:12	はい。
1:48:14	日本原燃の瀬川です。はい。
1:48:16	ご指摘の通りでして、
1:48:22	日本が、ちょっとすいません。はい。伝わりづらくて申し訳ない。
1:48:27	はい規制庁のフジワラですわかりました。その下の四角も検証の必要があると。みたいな結構仰々しい感じなので、端的に、ご自分たちにしたいことを書いていただければいいかなと思います。
1:48:41	衛藤。
1:48:44	やりとりしていたような、7ページ以降での流れの、
1:48:49	武漢での整理を、
1:48:51	最初にお伝えした通り、文章でこういうふうな考え方で紐づけて今いきますというところに、反映する、もしくは今ある場所を修文する。
1:49:04	通していただきたいと思ってますけど大丈夫ですか。
1:49:07	はい。日本原燃の瀬川です。
1:49:09	対応するつもりでございます。
1:49:14	規制庁の千葉です。よろしく申し上げます。
1:49:18	これは最終最終的にというかもう、もう次、29 やった後とかぐらいは、共通 12 の方でも示されていくのかなというような認識に、
1:49:29	してますので、
1:49:32	整理を、
1:49:34	どんどん条文進めていって先ほどの7ページ8ページを、その線に、
1:49:41	に基づいて、きちんと埋めていただいとということと、この
1:49:47	7ページの別表とあって、
1:49:50	共通に行った時ってどうどうしますか。
1:49:53	日本ヤノセガワさんこれをちょっとどうしようかなあというのは、
1:49:59	悩んでました。その下、
1:50:03	POのようなこの交差Ⅱの片りんをすべて資料に書き起こすとすると、
1:50:12	これは、
1:50:13	大変かなと思ってますアノというのはですね、今、別表7ページはですね横軸、非常にシンプルな、
1:50:21	行。
1:50:21	別しかないんですけれども、
1:50:23	冒頭藤原さんからご指摘があった通りですね、事故条文だけではなくて、サポート条文も含めてですね、個別条文の中で、

1:50:34	多様性独立性位置的分散謳っている設備たちがたくさんおりますので、 そういったものたちを一応横に並べて小屋面の
1:50:46	2番、ごめんなさい。です。
1:50:49	途中から参加なので、
1:50:51	もっとここの議論したかわからないので申し訳ないんですけど。
1:50:56	イマイ。
1:50:57	これのマトリックスに入ってくるものを横に並べてって言われましたけど、
1:51:03	並べるってどういう意味ですか。
1:51:06	多分、新しく何か兵藤いやそんなもんでなくて、
1:51:11	今、例えばと言ったらあれですけど、今ここで示しているのは、
1:51:17	可搬型ポンプっていう、
1:51:21	古作です。
1:51:23	それだと、表がどんどん何百作るんでしょうか。
1:51:27	はい。で、ごめんなさい。
1:51:31	それだと、あちこちにどんどんつけなきゃいけなくなってあれなんだけど、 そもそもこの日を何に作ったのっていうふうに、
1:51:41	疑問があるというか、ちょっと、ちゃんと文章読むんですけど、ごめんな さいね。
1:51:48	何、何がしたかったかっていうと36条から各個別条文に飛ばしちゃうん だけど、
1:51:55	個別条文に詰まるばる一飛ばしちゃう等それぞれが好き勝手やっちゃっ て違うような、言い方をしたり判断をしたりっていうことになるよと困るよね と。
1:52:07	いうことこの
1:52:10	屋外屋内、
1:52:12	ていうところで防護設計そもそも根本的に説明の仕方を変えているんだ から、それぞれごとに、多様性として考えることを独立性として考えるこ とっていうのは、ある程度遠いⅡ的にあるはずだと。
1:52:27	いうことそれを一旦整理をしておけば、個別条文に飛ばしたところで、説 明性としてはそれぞれ同じようにできるのではないかと。
1:52:38	いうことじゃなかった。
1:52:39	何か
1:52:41	そうです。理科をしてくれないAアノ。うん。
1:52:47	これ、もともと施工してたのは、その思いなんですけれども、さっきイシタ 間でしまったですね。
1:52:56	貯水槽を使った冷却っていう多様性の多様性を持った冷やし方。

1:53:03	というのが、やはり貯水槽という登場人物が初めて見えて、
1:53:08	その代替元との関係で初めて、このシステムっていうのは、竜巻の観点でも多様性発揮するなんていうのが、
1:53:17	実際に登場人物を見て初めて気づく部分も、
1:53:20	あってですね。
1:53:22	うん。わかります。補足ですんで、
1:53:24	この表を作るのが、それが無い状態で作る必要はなくて、はい。
1:53:30	1回位、それぞれやってみました。
1:53:33	でばらついてます。うん。
1:53:35	ばらつきを解消しなきゃ、とりあえずこのマトリックスに何が入ってるかどうか説明してるか入れてみて、はい。
1:53:42	全周をと言ってポンと持ち込みました。はい。ただばらついてますね。
1:53:47	何でだろうね。この集合体ってそもそもどうだったっけ。
1:53:52	話をしていくと、結局こういうことだったよねって一つの文章になれば、
1:53:56	この、このマトリックスのこの部分は、こういう趣旨で、多様性、この事象に対して多様性を確保するということですね。
1:54:05	文章としてはこういうふうに書いて、
1:54:08	いうふうにとまとまる。
1:54:10	いう作業をグルートまわしてやって、そのアウトプットをここに載せれば、
1:54:15	いいんじゃないっすね。
1:54:17	それをやりたいと思ってましたよね。はい。
1:54:20	最初コウ倍数を探しにいく作業として、1回、社内的な対応としては、横に設備って全部並べておたくらの感じでの多様性独立性、位置的分散って何なのだと、いうのを書かせて、その最小勾配数を、
1:54:37	文章として練り上げてこの形でまとめてなかったというのが、次で出してるんだよね。
1:54:43	アカサカです。そうだと思うんですね。ただ、言葉若干気になるのは、1回書かせてみてっていうのは、多分誰も書けない。だから、ここのマトリックスのフィルは、
1:54:56	代表どんなものがあるかねっていうのをパパッと上げて、はい。
1:55:01	結局なんだったっけ、許可のときに何か何考えてたっけ、必要模様ピッと書いてはい。
1:55:07	どう思って皆さんに見てもらって、当てはまるなら手ハマグチ当てはまらなかったらそこに来て、
1:55:15	そういうところも確かにあったね。うん。じゃあそこそれも読めるように講師を貸す研修です。やればいいんじゃない。はい。はい。
1:55:25	わかりました。

1:55:28	30
1:55:30	上澄みとは言わないけど、ここで整理した結果が 36 条とか個別条文とかあるらしいとちゃんと書いてあるじゃん。そうそう。アベアノコサクです。
1:55:41	藤原さんの問いに対応するとしたら 36 条の資料 2、別表なりでぶら下げます。それを各個別条文の人には見てもらいますっていうことだと思うけど。
1:55:54	はい。
1:55:58	古作です。藤原さんそんなんでもいいですか。
1:56:00	規制庁の藤原です。ありがとうございます。はい。
1:56:04	表カセ形になりそうなんだよ。
1:56:11	はい。
1:56:12	で、
1:56:13	1 バーン最初の
1:56:16	鏡の文書は既設ノジリです。1 ページ目のところっていうのはちょっとスケジュール感、一体、あ、すいません内容として、
1:56:24	確認したい項目は終わったんですけど、規制庁側から内容で確認したい。
1:56:30	点ある方いらっしゃいますか。
1:56:32	コサクです。内容の前の、今の流れから含めて、ちょっと何だったので、1 回振り返りがあったら全体にもう一度、
1:56:41	今までの議論を踏まえて、こういうふうにしていきますっていうようなことで説明してもらっていいですか。
1:56:48	はい、日本へのセガワです。
1:56:51	ちょっと
1:56:52	変えるのかね。
1:56:54	はい。
1:56:55	まず 7 ページ。
1:56:57	7 ページ。
1:56:59	77 ページ、話したばかりですけども、全条文ですね、そして登場人物踏まえて、
1:57:08	共通的なテンプレじゃないですけども、
1:57:12	統一的な記載、網羅できる記載というのを、試行してですね、それを資料 2 の方に展開しますし、またその考察の結果をこの別表の形でですね、資料の方に添付するという整理をしていきたいと思っております。
1:57:27	次、9 ページです。36 条から、まず個別状態の繋がりの部分になりますけれども、

1:57:36	先ほどの7ページの考察をしていく中で、
1:57:39	今左側のシステム設計配置設計構造設計って書いてますが、これ今念頭にあるのは、システム設計は、独立性の観点、
1:57:49	配置設計は、位置的分散関係。
1:57:52	構造設計っていうのが、多様性の観点という、今そういう頭でまず整理しています。これが、このまんま、同じ紐づけで成り立つかどうかってのはちょっと7ページの、
1:58:04	考察を踏まえてですね、臨機応変にちょっとか変えたいと思っておりますが今、そういう整理で進めて、
1:58:12	サトウすみませんありがとうございます
1:58:14	そこで言うと、本当かって思うん
1:58:18	ですよ。はい。
1:58:20	それを、
1:58:21	先ほどの
1:58:23	七、八ページ。はい。表で整理をして欲しい。
1:58:28	で、
1:58:28	その整理をした結果として、
1:58:32	9ページの左側、36条のシステム設計配置設計、
1:58:38	このところにその別表呼び込みが、
1:58:41	はい。
1:58:43	呼び込みが入るんですけど、呼び込み。
1:58:46	だけだとちょっとあれだから、よくその呼び込んでる先の具体のポイントみたいなのを、少し文章に書いていただいて、
1:58:55	個別条文振るけど個別条文の中で、こういうような配慮をしている。
1:58:59	ものと、
1:59:01	書いていただいて、具体は、表の方で各事象対応してください。
1:59:07	してもらえばいいかなと思います。そうしておけば、必ずしも、先ほど言った
1:59:16	多様性独立性位置的分散が一对一にはまってなくても、
1:59:22	システム設計に多様性が、
1:59:25	多様性じゃない。
1:59:27	独立性が少し入っていたり、
1:59:30	いうこともあっていいと思う。はい。
1:59:32	ですね。
1:59:33	あんまり厳密に一对一の議論できないよねという思いで、そもそもまとめるわけだから、
1:59:40	っていうので

1:59:43	何らか紐付けておいて、具体は、先ほどの別表でしたっけ、2、
1:59:49	して、なるほどねと思えばいいので、
1:59:52	よろしくお願いします。で、それを踏まえての、9 ページ右側、
1:59:58	田井別条文で、その部分をちゃんとかけ合わせます。はい。
2:00:03	いう。
2:00:04	そうなんだと理解しましたが、多分議論してたと思うんですけど、個別条 文で書くときに
2:00:12	別表で書いてた文言がどこに現れるのかっていうと結局どこに表れ表 す
2:00:18	はい。今、
2:00:19	日本原燃のセガワです。3 カラム目ですね、15 番の、3 段、青色が 3 段 になっていますけれども、3 段目のところ、
2:00:30	2、表現したのが、
2:00:32	そこサクです。それで言うと、15 は、
2:00:37	通う政治的分散の、
2:00:40	冒頭宣言でしかないような気がしてたんですけど、
2:00:43	これがもう最後なんですか。
2:00:45	はい、日本へのセガワです。ですねこの個別条文のこの多様性位置的 分散の 15 から 22 まであるんですけども、
2:00:54	この者たちはですね、冒頭宣言という、ここが最終弱点。
2:01:01	になっています。これの冒頭宣言たる位置付けが、どちらかというので すね
2:01:07	共通方針としての 36 条の、
2:01:09	50 番。
2:01:11	20 番の要求抽象的な要求を受けて、
2:01:16	具体的な設備に対して、こういうものに対してこういう設計上の配慮をし ますなんていうの立付けかと考えてました。
2:01:26	39 条、最初暖房だけじゃなくて、冒頭センミョウ 36 条、全部同等性にし て、個別条文全部上手く、
2:01:34	もともとの整理はそうしてました。最初に、当初、
2:01:41	と、古作です。藤原さん
2:01:45	それ、それ、そうな、そうなっちゃってます。
2:01:51	データを持ちます。今は、36 条の話、39 条、
2:01:58	39 条は、
2:02:03	15 番、武が、こういうのがいますから来ているように多分対応清木セキ グチの項目が始まって、大枠の方針は 36 条にあります。それを受けて 39 条は、



2:02:17	具体の設備に対してこういう独立性確保します対応生活をしますみたいな、
2:02:27	そっか。
2:02:38	古作です。第、状況わかりましたけど確かに、
2:02:43	そう言われると簿、当初、悩まれてたのがよくわかって、
2:02:49	全然分解できてないのでどこに、
2:02:52	こんなの全部紐付けなきゃいけないのかというフローは、
2:02:58	理解。
2:03:00	しましたわ。
2:03:08	それで雄踏、やっぱ今回の別表が大事。
2:03:12	うん。ですね。
2:03:15	それを踏まえて、
2:03:18	ととりあえず作るけど、
2:03:21	16条の基本設計方針で膨らますのかな。
2:03:25	こういう場合はどうこうとか、
2:03:28	いう何か手当が必要かなっていう気は。
2:03:32	しました。
2:03:33	ちょっとあの際、最終的に相談できればいいと思いますけど、
2:03:43	ととりあえずは別表の形ででも入っていれば議論ができて、最終的に基本設計方針入れようってなれば、
2:03:51	別表じゃなくて、表の中に入ってくるっていう
2:03:55	ありますけど。
2:04:02	と、
2:04:03	してもあれですかね、
2:04:06	現状妥当その統一性を持たせたいから、この整理はまず36条側で、
2:04:13	やって、
2:04:15	一つ手としては、基本設計方針の第2章が、
2:04:22	の個別条文対応の部分で、共通方針への対応で、具体のものを書きますというルールになってるから、
2:04:30	そっちでここ変えていくと。
2:04:33	いう選択はあるんですね。
2:04:35	なのだから、今回の説明としても、個別条文側に飛ばして、そこで説明する形にします。
2:04:45	ただまとめたいので、外部衝撃側の説明書類。
2:04:49	購入させます。
2:04:50	ていうのは、そ、
2:04:52	その施工するんだ。

2:04:54	です。
2:04:56	一方で、閣僚が増えたんだと思って、
2:05:00	それがいいのかノモトで行ってて、元のやつ、適当につまみ食いします。
2:05:07	適当にと言いながらも、基本ルールに従って適用するだけなので、個別で書く必要ありませんって、
2:05:13	ということなのか。
2:05:15	いう
2:05:17	36 条が出るか個別情報から、第 1 章で入れるのが第 1 章で決まった。
2:05:21	いう。
2:05:23	ところがちょっと悩む。
2:05:25	次の段階でなるのかなという気がしますけど。
2:05:30	別表が整理されたところでは、どのあんばいがいいのっていうのは話ができるかなと思って、状況がわかりました。
2:05:42	基づかね。
2:05:46	はい。なので現状は、もうここでコウさん。
2:05:54	ここ 15 の中の
2:05:57	三行分かれたところの、最終段でしっかりとかっていうことです。
2:06:03	はい、わかりました。
2:06:11	を、
2:06:12	あと松原さんから 15 のところで合わせて、
2:06:16	上から 2 段目のところこ 39 条としての設計に係る部分になるんですけども、
2:06:23	機能との関係、上流側 14 番より若い番号機能要求が、
2:06:29	規定されてますけれども、
2:06:31	そこの関係というものをきちんと、
2:06:34	見える化、これはまあ実際資料に作っていくと 14 までの姿が見えてますので、その姿との見合いで、ここの記載をどうすべきかというのをきちんと整理する。
2:06:46	でした。
2:06:50	と、9 ページから 12 ページまでは、それで言うと 16 番とか、そもそも何が言いたいの。
2:06:58	いうことに尽きると思うんですけど。
2:07:05	方針で言えば可能な限り独立性は河合知的分散をして、
2:07:11	ということと、
2:07:13	事故時条件、
2:07:15	での健全性と、

2:07:17	いう、その他使用条件って書いてあったかもしれません。
2:07:23	書いてあって、どっちの話。
2:07:27	ですかっていう、両方とも話さなきゃいけないんだけど、
2:07:30	どう表現して、
2:07:34	図った上でまでが今回のお題目でやらなきゃいけないことだと。
2:07:40	うん。下流側はどっちかという、なんでここ、こういう文章書いてしまったのかってのはあるんですが、
2:07:47	環境側の、
2:07:48	話だと思うんで、いや、何で帰っちゃったのかっていうか、
2:07:55	あえて書いたんだと思うんです。あえて書いて、この種説の一番最後に、環境条件に降りますと、
2:08:04	してるんでしたよね。
2:08:07	そうですね。
2:08:09	オノ説の1、
2:08:11	36条はそういう立て付けにしてたんですけれども、
2:08:15	個別個別のね、個別条文が最後で振ってたかっていうのはちょっとすいません。
2:08:24	なので、
2:08:26	同じなんですよね。だから、最後、頑張りますは厳然とそっちしても、この後に書いてあるのか、冒頭の共通上、
2:08:37	の設計方針に従いますっていう踏み込んだりしてることかかっていう話がいなだけなんです。
2:08:44	そこは考え方は、整理をしてそういう説明ができるように、はい。
2:08:50	しておく。
2:08:50	で、それでいう等、
2:08:54	資料、共通中に資料2のサポートする場、
2:09:00	健全性の部分はそういうことなんですってということが書かれてんです。はい。
2:09:05	そっちの番号に飛ばさなきゃいけないので、
2:09:09	それはまず書きましょう。
2:09:12	その上でこれでは独立性及び、
2:09:17	位置的分散多様性だけ。
2:09:24	独立性と位置的分散と言っているのだから、どっちなのかっていうことがはっきりしないといけないし、それがなんでそれでいいのかということをはっきりさせなきゃいけない。
2:09:37	ということだけど、
2:09:41	現状書いてるのは、
2:09:43	主に独立性を確保しますだけだったりして、

2:09:49	またはの意図は、
2:09:51	ていうのが読めないんだけど、これはどっちでもいいから、
2:09:56	ていう完全なのは、ぜひ、
2:09:59	はい。
2:10:00	日本原燃の瀬川益子令和ですね、私もちよっと今回やっていて、
2:10:06	どういう整理しようかなって悩んだところでもあるんですけど、独立性と いう
2:10:12	そういう中にはですね、位置的分散のちよっと概念も少し入ってるかなと 思っていてですね、完全にアノ敬三として、
2:10:20	分割してしまうと、
2:10:22	これは位置的分散に、より近い。
2:10:26	概念になってくるし、
2:10:27	系統がどっかでちよっとジョイントしてて、バルブで区切るだとかWANス プール外すみたいなのは独立性だねという感覚なんですけれども。
2:10:36	その延長に位置的分散が、
2:10:38	要るなっていうふうに思ってた、そこをちよっとどう線引きしようかな というのは、ちよっと悩んでました。そういう意味で、やはりシステム設計 と配置設計、
2:10:50	ていうのも、完全に位置的分散と独立性で綺麗に分かれるもんでもない しなあというので、はい。
2:10:59	まさにそうです。はい。
2:11:03	でごめんなさい。それでと、ここは基本設計方針としては、
2:11:09	独立性または位置的分散だけど、
2:11:12	この表だと説明は全部システムであります。
2:11:15	独立でやりますっていうふうに見えちゃうけど、
2:11:20	完全に位置的分散だけって言った時も独立って言っちゃうんだったら、 分散で説明することが、ちゃう。はい。
2:11:27	はい。それどうするかにもよる。まとめてやりますのでいいんだけど、
2:11:31	ぜひ良くない。
2:11:33	単純に言うと
2:11:35	まず、ここの16番には、
2:11:37	二つを学業なくちゃいけないシステムは1杯。
2:11:43	ナイトウ、資料2としてのお作法に合っていない。
2:11:49	ということがありで、
2:11:52	両方とも呼び合うもいい。
2:11:54	だけど、
2:11:56	まず呼び合うこととして流れ申し上げ、

2:12:01	で、
2:12:09	本来はこういう設備が、
2:12:12	何か解説があつて、その上で、
2:12:15	独立性の1からも、独立性といった結果液滴分散みたいのを、多分グループしていかないとですね、その等々に含まれるものたちっていうのを具体化して、
2:12:29	具体化とか見える化して、
2:12:31	こいつらは独立性だね、このうちのこいつだけが位置的分散なってるねと。
2:12:37	いう、整理になろうかと思つてます。結果して、16番には独立性しかいなくてですね。
2:12:43	位置的位置的分散の概念がやられてるのは15番側で、
2:12:49	表がですね、まさに例で書いてあるんで、一番上の頭で書いてある給水、給排水配管みたいなのはですね完全に位置的分散を図って、
2:13:02	やられる常設の説明なんでも何でもシステムですけど、
2:13:09	語尾五味とですね。
2:13:11	すごい。
2:13:12	そう。ダイゴ組合、
2:13:14	システムながら、
2:13:19	生徒を表現して方針を作ってる。そう。そう。そうなってるんです。先ほど言ったの、やはり、独立性の延長に位置的分散みたいなのが、
2:13:29	ですね。
2:13:30	ただちょっと許可の時にはあんまりそこまで、
2:13:33	もしかしたら、私が削除した部分なんですけど、
2:13:38	イシコ呼ばずだったかな。
2:13:49	位置的に離れていて、
2:13:52	完全ニイツサポート系から何から全部離れていれば、
2:13:57	位置的分散でもあるけど独立性、
2:14:00	ありますよね。
2:14:02	て、
2:14:05	1セキにハラえてないけどベII
2:14:08	はそんなに、
2:14:09	大きく離れてるわけじゃないけど別のものとして、系統オオクマ君。
2:14:15	形も離れてますよ。だったらどこ。
2:14:23	で、
2:14:24	部分的に離れてたらまたは、
2:14:29	理想ですね的には。はい。

2:14:36	そういったことの実情を整理して、別表に表す
2:14:41	だろうねはい。
2:14:43	別表が今、多様性独立性指摘なさってそれぞれの、
2:14:48	別になっててね。
2:14:52	うまくかけ合わせるかなってちょっと心配なんだけど。はい。横には並んでるんで。はい。
2:14:59	相互の関係がわかるように書いてみていただいて、最終的にどう、
2:15:05	というのは
2:15:06	話ができた。
2:15:14	そうすると、
2:15:16	9 ページの方に、じゃあ具体この表はどういうふうに書こうかというふう にまた戻ってくると。
2:15:21	いう感じでできると。
2:15:23	わかりました。
2:15:34	へえ。
2:15:35	3 ページ。
2:15:36	行きまして、
2:15:38	栗原さんから、
2:15:40	その前の、
2:15:41	3、
2:15:42	9 条、36 から 39 に展開した内容が、13 ページの八条側に来たときにで すね、また先祖返りじゃないんですけれども、
2:15:52	内容がバクツとしないようになってしまうので、しっかり
2:15:55	39 で展開した内容をそのまま、
2:16:00	受け継ぐ。
2:16:01	いう工夫を、
2:16:02	せよ、
2:16:03	ご指摘を受けております。
2:16:05	ごめんなさいコサクそれは、
2:16:09	その前までのページ 39 条に行って今、具体的にどう書くかっていう話の 整理があって、
2:16:17	その部分を抜き出してきて、貼り付ける。
2:16:20	ということです。今 36、何番ってなってるやつを 39 何番ってということで、 39441010 日になってくるってということです。
2:16:30	わかりました。

2:16:33	そうなんですか。当然、すごいいっぱいいるんで、そこをちょっと恐れてちょっと今今回はバグっと書いてしまったんですが。はい。愚直に1回並べてみたい。
2:16:46	それが、
2:16:48	別表なんですけど、最終的には
2:16:51	でも、
2:16:53	基本的には、
2:16:57	この13ページ以降でいただいたところはそんなところなんですけれども、コサクさんがいらっしやらなかったときに、説明したところろんで、
2:17:09	今考えてるところを、また復習がてら、
2:17:13	説明させていただきたいんですが、21ページをご覧ください。
2:17:19	19日のヒアリングで、
2:17:22	沢さんの方からですね、
2:17:24	出所は要求の出る頃は違うんですけども、結果して八条で受けたときに、おんなじ設計だと同じ設計をかかるとある場合があるような、
2:17:33	そういうものをどう、重複がないようにまとめていくつもりなんだというご指摘を受けております。本日の資料ではその考え方とかつてのは全然、もう時間、見える化できてないんですけども、
2:17:56	15、新設、
2:17:59	新しく作るのはできるだろう。
2:18:02	僕は既設だから、
2:18:04	満額独立性頑張ります。谷村。
2:18:06	可能な限りをつけて、いつ的にお会いしたっていうのは、だからさっきの私のイメージがあって、
2:18:16	はい。
2:18:17	で、21ページなんですけれども、
2:18:19	上の30、青、青ハッチングかかっているやつがいっぱい、個別条文を経由してきているもの、これは位置的分散に関する設計ですね、薄いオレンジのところ、
2:18:31	36条の環境条件からできているものになります。どちらも、位置的分散の話なんです。うん。
2:18:39	39条の21で書いてある方は、本当に位置的分散という目的のための位置的分散型っていうのが上の青で、オレンジの方は、環境として1滴分散を期待しますよ。
2:18:52	位置的分散するされてる設計を期待して、単一機能を確保しますっていう観点、オレンジなんです。うん。ていうことを、
2:19:03	でも、語りた設計は分散されてますねと。うん。ていうことを、

2:19:09	説明したわけですか。結果して同じことを説明することになるんですね。で、
2:19:14	今ちょっと考えてるのは、出所要求の出所が、これ違います。目的が違うので、出どころが違う様というのはやはりこういった形。
2:19:24	ルートオレンジで書き分けた上で、
2:19:28	今ちょっと後ろに書いてませんが、この右隣に、説明グループの考え方っていう欄があって、これらの設計項目をどういう説明していきますか何を代表に説明していきますかっていうようなところをまとめる欄があります。その欄を、この、
2:19:44	21 の 122 押せる結合しまして、
2:19:47	こういった目的に対してこういう、位置的分散の様を説明していくんですけど、二つまとめて説明しますよという意思表示を右側でできたらいいかなと。
2:19:59	いうふうに考えておりました。
2:20:01	はい。はい。コサクです。わかりました。それが何で必要かっていうと、
2:20:09	オレンジ側は、の時に健全性の説明が、
2:20:14	不足するというか、
2:20:16	ないんですよ。
2:20:17	1 セキ分散でカバーしたと。
2:20:20	カバーするっていう方針にしてるから、
2:20:23	なので、そこの繋がりがわかるように説明しますっていうことなんだと思う。
2:20:30	ですよ。
2:20:33	単純に青だけの場合っていうのは、健全性も確保しますっていう、
2:20:37	なんででしょう。
2:20:39	青はです。
2:20:42	それも本当にある分野だから、
2:20:46	青で位置的分散を図ります。配置提携説明します。
2:20:51	だけの場合は、はい。位置的分散図った設備については、健全性もはい。はい。説明します。はい。ですか。
2:21:00	片やオレンジがついてくる。
2:21:02	設備は、そこはしませんじゃないですか。はい。
2:21:06	ていう扱いの違いがあるんですよ。その違いをちゃんとこの配置設計の時に説明してくださいねっていう。はい。
2:21:15	それだと言われたグループの考え方ところに、こういう説明をしますよっていうポイントなんだ。



2:21:23	そこではっきりしないと何で僕は健全性説明する実現性示さないんだよって。
2:21:28	いう感じに見える。
2:21:30	はい。
2:21:36	吉成ソウノ呉んで説明しないと、ここで説明する解析、こういうことだからジョイントして、全体的に覚えて説明した方がしやすい、それぞれの目的に応じ説明した方が生活1課は、その時に考えて、
2:21:51	飛ばすか、それぞれやるかって言うのですね、オレンジ側のやつって、審査厳しいんですよ。
2:21:58	はい。
2:21:59	オレンジがないやつは、どっちにしたって健全性確保するんだから適当に置いといてもあんたなりそうだよな。
2:22:06	思えるんだけど、
2:22:08	もう配置だけでカバーしますと。
2:22:11	なると、本当に共倒れしないっていう、
2:22:15	より一層見ていかなきゃ。
2:22:16	そのフラグ渡します。はい。
2:22:23	はい。
2:22:26	以上です。
2:22:29	藤原さんいいですか。
2:22:31	内村です。はい。大丈夫です。
2:22:35	成長を、
2:22:36	それでは、2時間以上経ってますので、ここで休憩入れて、
2:22:41	2、介護資料案に関する費用は午前中の分も含め火曜日の
2:22:47	月曜日の提出さんがどういうふうになってるかみたいな話を、
2:22:51	していただいて、
2:23:00	6時
2:23:03	5分で、
2:23:07	16時5分。
2:23:08	まで休憩とさ。
2:23:10	まず、
2:23:11	断定します。
0:00:00	はい、僕も再開しました。
0:00:02	それでは、
0:00:05	本日のヒアリングで
0:00:08	行った看護資料案に対する、
0:00:12	振り返りの方から始めたいと思い、

0:00:15	参加者、少し入れ替えがありましたので、再度
0:00:22	説明します。はい。井川、武DOI、アベもあれか。あれ、違うヒアリングになってるのは、おそらく違う。
0:00:32	午前中とこれセットんでしょ。はい。なあ。
0:00:35	そしたらそこから変わりがある人は、
0:00:39	いないかもしれないですね、途中で1回SDもシミズタカハタイケダけど戻ってきたっていう、そうなんすよね。はい。では、はい。
0:00:49	参加者入れ替わりないなということ、
0:00:53	1時間の方お願いします。
0:00:55	はい。石原でございます。午前中の方とあと午後を出していただいて、共通に関係の保護設計、
0:01:05	ございますが、会合資料でいくと4ページ目の、
0:01:09	最初に廃棄物管理が時間がかかっている理由、今やってきたことタダ項目改定だけなので、これまでここで時間がかかっているのかっていうのを、その背景がわかるような記載とか、
0:01:22	右下5ページに示す私が文章タダ曳田だけであの文書成立しないので、資料4をやっている過程でのいろんな拡充の話と、資料3へのフィードバックの話ということがちゃんと鍵を記載します。
0:01:35	はい。あと6ページの頭の評価パターン(3)は、今日の午後、並行してやっていったヒアリングの状況も踏まえて適切に修正をさせていただきたいと思います。後で聞き取って、はい。
0:01:48	谷口さん。はい。ご説明した方が、ドンでちょっと簡単にだけ。はい。
0:01:54	クロボクとしては、弾性設計をして閉じ込め機能を確保しますというそういう御説明を、構造でちゃんとしていきます。
0:02:01	パーツを分けて、まず、本丸は弾性設計します。それを達成するために、ポイントポイントに対してはこういう設計をやっていきますみたいなことを書いています。はい。はい。はい。
0:02:13	そういうことで、グローブボックスの設計コンセプトの範囲ですかね。はい。はい。ごめんなさい。そうです。そうすると、
0:02:24	あまり具体の耐震の評価のところまではいかないってこと。
0:02:28	はい。日本原燃谷藤はい。その上流側の考え方を整理させていただきましたと。この考え方に沿って説明させていただきますスエナがいいから、はい。青柳。
0:02:37	はい、西田でございます。今までいくと、そういう意味でいくと6ページの下の今後の説明のところもちょっとちゃんと確認しないと、繋ぎをしないと駄目なので、今今回説明する範囲上で、かなり

0:02:49	資料3の多分修正も含めて絶対やらないといけないと思うので、そういうことが今後の説明であったり、対応修正します。
0:02:57	はい。
0:02:59	あとは個別の評価パターンに入りますが12ページから評価パターン(1)ノロ駅、漏えい防止に係る評価、
0:03:08	全体通して同じような修正が必要であります、右下15ページ、前回、
0:03:14	拡充内容を別紙にしていたところが担当したんですけど、すいません、学校にオレンジの枠で拡充していて、前回12月の会合で中身というような整理方針のことを言ってただけなので、
0:03:26	前回から九条さすがにちょっと何か意味が通じなど。
0:03:30	ということで、枠の中に拡張した内容が、何かオギまざったようなこういうことをやりますっていう中身になるように、記載を見直します。これ自体は全部消します。はい。
0:03:41	ということです。はい。あとは、
0:03:46	17ページから評価対象の話になっていますが、
0:03:49	18ページ代表の考え方がこの後、今後の説明方の別添2で示している代表のかんせ選定の考え方であったり差分の話であったりというところをマツナガるように残渣の整理をして、差分の話も今全然かけていませんので、
0:04:03	記載を整理をさせていただくということと、
0:04:06	19ページの表も、差分として出して後どういう目的で、どんな差分なのかということがわかるようにして26ページにつなぐと。
0:04:13	ことにします。
0:04:15	はい。
0:04:17	21ページの絵もですね、まだ書き切れてないところがいっぱいありますんで、これも園芸できるぐらいポイントだったり、今回もちょっと口頭で午後1ご説明しましたがポンプのところ
0:04:30	書いてある矢印の方向には物が流れるんですけど、逆方向躍進なってるので流れないっていう前提も入れて、漏えい箇所を想定しますんで、そういうことも入れてですね、整理をしていくと。
0:04:42	いうことと、配管の破断ポイントで漏えい量が最大になるポイントを決めて、配管、容器の全体の容量を全部足し合わせて、漏えい量、
0:04:53	導き出しますっていう全体の考え方を、ちゃんと20ページも含めて、下記にしていることだと思ってます。はい。
0:05:01	はい。ごめんなさい、古作です。それで言うと、
0:05:07	19ページの代表差分の話にも繋がるんですけど、
0:05:12	21ページのどこの範囲をどうはい。

0:05:17	し得るという、セットにしますか、という考えのときに演技李。
0:05:22	はい。をセットすると。はい。いうことになると思っんですね。はい。そのセットするパターン。
0:05:30	はい。はい。漏れなく上げてますかっていうのがあって、
0:05:34	どんな感じですか。はい、西田でございます。この系統でももともと
0:05:40	移送が終わった後、空気作動弁で自動的に閉まる状態になるものだったり、もともとから、運転状態じゃないか閉になってたり、あと逆止弁だったりっていうパターンが幾つかあるので、
0:05:51	この受け皿だけでもちょっと絵がうまく書ききれなくてですね、右側まだろ過装置があったりするんで、全体額とパターンが幾つか全部コウに多分入ると思って、うん。
0:06:01	そういうパターンも含めて、書きます。はい。
0:06:06	はい。そういった、まずはここで登場するもので使っていただいて、それで拾いきれないものっていうのは、こういうカタガリの仕方もあります。はい。
0:06:16	いうことでそれだけ。
0:06:18	ます。はい。
0:06:21	あとは、24 ページから 8 日装置の業績の話してますがどういったものから、その情報を持ってきたかという、エビデンスというか元ですね。
0:06:31	それを正しくちゃんと表すということでまだ十分足りてないので柿原します。
0:06:36	はい。あと 26 ページで差分の話出てますが代表間の差分と書いてできてないの佐渡成沢様、あるところがあるので、ここは丁寧に義務づけをさせていただきます。
0:06:48	はい。
0:06:50	を、
0:06:51	あとは、
0:06:54	昨日ですかね、39 ページの床勾配の話。
0:06:58	以上またすいません修正シゲトミ床勾配考えませんって書いてあるんですけど、ここもある購買黄砂なんかを考えて最大考えられるいう加工工場みたいに考えても、増益は全部回収できますと。
0:07:10	そういう説明の中に繋がるように、整理します。
0:07:14	はい。あとは、今 42 ページ以降がですね数字になってます。42 ページの代表のx97 は今日の時点ですでに数字出てますので、これは、
0:07:27	月曜日にも入れられる状態になってます。43 ページ以降のそれ以外の分が、全体が月曜日中何とかを回収できるぐらいになっててですね。

0:07:37	月曜日の資料に間に合わなければ火曜日のヒアリングの時には口頭で説明できるようにはさせていただきます。
0:07:43	はい。
0:07:45	ちなみに42ページの、今、数字になってる溶液が一番大きいところで考えても7センチ弱。
0:07:53	ぐらいです。はい。
0:07:56	はい。46ページからが不要になります。給料も、
0:08:03	49ページの、
0:08:05	幹事会数が一番ちょっとね。はい。難しい。この記載を現場に伺えます。はい。
0:08:12	いうのと先ほど言われたアノ儀。
0:08:15	変更例出したときに、この番号だけだと何の項目かわからないので、どこの基準を使っているのかというのがわかるように、紐付けをさせていただきます。
0:08:25	はい。あとは、午後のお話で出てきた道路がどこにも入っていないようにまだなっているので、ちょっと日付をさせていただきます。
0:08:34	不安とかでいけば、53ページの工程主建屋建家管理上下がっているので、その辺がわかるように、
0:08:40	整理をさせていただく。
0:08:44	はい、あとは60ページ以降の評価プロセス、これは先ほどと同じですアノ関連に追加みたいに書いてますけど同じように修正をさせていただきます。
0:08:54	ます。
0:08:56	あと65ページの代表選定、これはちょっとちゃんと口頭でも申し上げましたが、4時間率作りを作り直すということと、あと代表をどう考えるか、効率的な説明をどうしていくかという
0:09:09	話も含めて、代表者内容、ぶら下がってるものをですね、系統としての話と、後は下がってるもののお話ちょっと切り分けて、全体を整理して説明をさせていただきます。
0:09:21	と思ってます。はい。
0:09:24	はい。いいすかね。医療の方はそういったところを修正。
0:09:28	あとまだちょっとこの先、
0:09:31	いくつか指摘いただく動きがあるので、そこは絶対見直しを、
0:09:37	古作です。すいません。風量の関係でいうと、工事回分のあるといったところの仕分けはどこですか。はい、二宮でございます。65ページの表の中で今言われた、いった系統として見る排風機とか換気設備の系統の今回ですけど、ぶら下がってるものにそういう

0:09:57	次回のものも含めて入ってるってこと言った上で、それをどう設定して今回の
0:10:03	中に組み込んでいるのかという考え方を説明する必要があるかなと思ってますけどまだそこまで書き切れてないところが。そうですね。
0:10:11	例えば 66 ページ呉といきなり 301 個全部ありましてみたいな田井が書いてあるんですけど、この中には 3 回の申請分も入っていたりするので、そういった前提がまず全体としての考え方があってそれぞれに対して、丹街道とどう考えてますかみたいなことがわかるように、
0:10:27	記載を展開できればと思います。はい。
0:10:30	それで等、まず 65 ページで、そういった構成の話をして、この部分は今回じゃなくてですね、具体には示せないんだけど、枠を超えますっていう説明パターンがあることを挙げて、
0:10:44	その上で 66 ページ以降でその部分について、具体どうしてるのかっていうのを確認。
0:10:53	はい。
0:10:57	いうことで、はい。
0:10:59	15 ページからが容量野原 C3 層、
0:11:04	87 ページ、ちょっとポツ三つあるんですけども、定義だったりここでやる。
0:11:11	行為の目的だったりっていうので、ここでちょっと見直しをします。
0:11:16	88 ページのフローも先ほどと同じ、追加で応援時ありますけど、全部取り込む形で整理します。
0:11:24	あとで、
0:11:26	と書いておきながらなかなか、90 ページ 90、90 ページ以降による最大荷重のやつを書いているんですけども、
0:11:34	すいません私が上振れのリスクを考えて、余裕がどこにあるかをつけると言ったんですけど、上振れリスクが、
0:11:42	ないということを前面に押し出して、根拠が書いてなくてですね。
0:11:46	答えが、何か非常に厚いふらついているので、一つ一つ 2、これは通常こういう容器にこういう入れ方をするんです。それを、
0:11:56	すいません、コサクです。ちょっと、そもそもの上振れっていうことに、はい。認識がずれてるような気がするの、
0:12:06	2 月の重さが、それより多くなることはありませんでなくて、はい。
0:12:11	部材に、
0:12:12	それ以上の荷重がかかる可能性なんですよ。はい。結局は、慣性力なんです。はい。
0:12:21	クレーンとかのワイヤーの設定って慣性力で、

0:12:29	巻き上げ速度なり何なりから提出した時にかかる荷重が、
0:12:34	何割声になるから、その分の係数を掛けて、それに耐えるものを選定しなさいになってるはずで、
0:12:43	それと同じようなことのを、
0:12:46	比木ではそういうふうに行っているんで、
0:12:48	それのもとになる荷重として定格荷重を作って、
0:12:51	使っているから、物の荷物だけで大丈夫ですって説明をしてくれてるんです。
0:12:58	はい。与儀ニシナプロジェクト今、計画箇所の方はいらっしやっただいて、インプットがもともと決まっていながらも、いわゆるウノアノ。
0:13:08	原動機であるとか、ワイヤであったり、いろんなパーツが浮きに、それぞれ、ここにはどんだけ努力がありまして、計画じゃコウためには、それを上回るだけのこういうものを、
0:13:18	持ってきて付けますよ。だからここで、
0:13:21	定格荷重以上のものがあつたとしても、加古イマセみたいなもんなんですけど、そういうのを、経営企画課長の方には、それぞれちょっと具体ではないにしても、考えている考え方が入ってはいいいながらも、
0:13:33	はい。ただですねこれがですね、米に大分預けて文章との整合がうまくとれてないので、今日も午後お話の 90 ページの(2)を全面的にまず書き直すと。
0:13:45	そこの考え方を、そうすると(1)あんまりじゃないすか。
0:13:49	(1)者は、私は一生懸命意見なんかいらない。(2)があればいい。そうですか。
0:13:56	我々の部分が多い。
0:14:01	アノミイ笠野イワタニツカベ。
0:14:02	はい、わかりました。
0:14:04	今言われたのは、
0:14:06	あれですか、もう、
0:14:14	県側からすると、こういう荷物があるからこういうふうにも足を運べるように作ってくれという要求仕様であつて、その中で部材の設計はもうメーカーがやっただくということで、途中経過のやつは当然こういう取り組みわかるんでこれ以上持っていますとかつていう説明を受けますが、全体的には基本この
0:14:33	重要なものを運ぶ、こういう設備が欲しいというやりとりがベースでは、
0:14:39	はい。
0:14:43	完全市販品の納入じゃない、もちろん設計の考え方も含めて調整させていただいて最終的に定格荷重を、

0:14:55	どういふふうに変えていくかというところはもちろん検査を調整するんですけど、その考え方も含めて相談させていただいた結果という形で、ちょっと物によってももちろんそれがいろんなやり方によって、
0:15:08	全部が直感をすることもあるんで、いちいち綺麗になるのはそんな必要はないかとは思いますが、その辺の考え方が、ぜひできるわけではない。
0:15:19	思います。すいません。以上です。
0:15:22	ニシダでございますそういう意味で現状今、答えれ会という表ですね 96 ページとかの表でいくと、
0:15:29	実際今やってること自体は、ちょっとこれも最大荷重がバラバラなんで統一しないとイケないと思ってますけど、
0:15:37	例えば収納パレット。
0:15:39	こんな運びますときにこの上に乗るものをいろいろ再考して、ある程度多めに見積もったりとか、
0:15:47	いうのはやってるんです。それが今先ほど災害荷重のところにもいろいろ書いてたこととして、そういうのと、メーカーさんに設計してる時にいろんな
0:15:56	施設設備のパートを選ぶときに考えているものっての、組み合わせで、
0:16:02	何ていうんでしょう、A3 の余裕金がありますよっていう説明にしようかなと思ってたんですけど。
0:16:08	それが 90 ページの(1)(2)、両方の視点でと思って作ってました。はい。
0:16:14	とはいえ、(1)が記載も足りないです括弧に書いてない、ちょっと全面的には書き直します。
0:16:23	補足ですけど、ちなみにこれ、比率を書く必要が、
0:16:26	ある。
0:16:29	はい。
0:16:31	全くないですよと、余裕が必要かのように見えますよね。ない。単純にそれが上下関係がわかれば、
0:16:43	1%でない方が場合がない。
0:16:48	はい。はい。単純には比重変えて文化のかっていうのは代表云々をどうしようかなんて悩んで、一番厳しいやつを選びましたってところがあったんで、
0:17:00	入らないの。
0:17:02	設定根拠 2 の説明においても、最大が幾つだからそれを上回る幾つにしましたっていう。
0:17:10	書いてますよね。はいそうです。



0:17:13	はい。
0:17:14	とするならば、
0:17:17	から、ソースアノいうコースじゃないかって議論になっちゃってるような気がするんですけど。
0:17:23	大川さん。
0:17:24	はい。社長から、私は初めから
0:17:44	厳しいものっていうのは逆にたらどれをやっても大丈夫です考え方は一緒ですってその上で、うん。公式プラス、扱うものがいろいろいるんで、
0:17:54	そういうことに何回個性ができますかとかそういう考え方も含めて、
0:17:59	選定します。それであと残りは全部後ろについてますっていう話で、
0:18:04	はい。
0:18:07	結局あれなんですけども、ものを、
0:18:10	どこまで設備管理で見ますかっていうことではあるんですけど、
0:18:15	計画の内に使えるものにしますっていう宣言だけで本当にいいのか。はい。
0:18:22	ていうところがあってね。はい。この荷重どこで受けるのと、そこ本当に強度を持ってる。
0:18:29	とかっていうのを、
0:18:36	この計画のこの評価だけで0にするのかっていうのが気になってるんですけど。
0:18:44	コウは先ほど
0:18:48	91、91 ページ、90 ページの※。
0:18:53	で、
0:18:54	もう表せきれてない。
0:18:59	はい。
0:19:03	いや、ていうのは、
0:19:05	イメージしてるのは、耐震計算で使うサポートなんですけど、あれ部材評価までしてるじゃないですか。
0:19:16	はい。
0:19:17	でも部材評価ってさ、メーカーがやってることで、
0:19:21	全部市販品で、
0:19:24	以下、あれですね、耐荷重っていうのがあってそれに応じたあれですね、衛藤セキんですね。だけど耐荷重
0:19:33	の説明、耐荷重をもって、メーカーで買ってるからいいですってなくて、
0:19:38	その耐荷重でちゃんともつかっていう計算してるじゃない。
0:19:44	やってますね、やってますね。
0:19:47	あれの意味合いが何であるかっていうと、

0:19:52	ちゃんと確認してね。
0:19:54	耐荷重を検証する。
0:20:00	ていうのも、
0:20:01	この搬送設備って何もしてない。
0:20:07	いいのかなあと思って、
0:20:10	三菱サトウソネ搬送というくくりの中で、何を見るかっていう話もそこにあ って、うん。
0:20:19	確かに強度とか耐震という観点で、何か影響を与えるか与えないかって いう、
0:20:26	もしくは発注延長みたいな話をするのであれば何か感想なのっていうと ころは、有井勝、何を、
0:20:36	何、どこに見えるかっていうのは正直あるのはあるんだけど、ちょっと確 かに直接の回答になってないかもしれないですけど、これ学科とかはちょ っと何か違う気はしつつ、
0:20:46	あと一旦、
0:20:47	持ち帰ります、何か綺麗な問題がないけど、
0:20:52	ただ、すべてをまず全部やろうかってのが違うかもしれない。はい。
0:20:57	3D、
0:20:58	ちょっと一般考え方。
0:21:02	メディアの人は生じないと思って、重量物を持ち込まなきゃいけないや つ。
0:21:07	他で何かこう、ナカジマとかアシダとかっていう話で、
0:21:12	こっちだけやりましょうか。
0:21:14	こういう感じでやっていいですか。何かいえるんだったら、
0:21:19	多分いっぱいこのレベルであって、
0:21:22	事業者さんが細かい高いまで確認するっていう運用は実作業としてして ない。
0:21:33	ていうのがあって、どうしようかなと。
0:21:36	うん。
0:21:40	耐震でやってる波及影響研究だけ見てポイント違いますから、その関係 が違うんですよね。
0:21:49	ただそれが、何か問題があったときに、どういうするか。
0:21:54	うん。
0:21:56	いう感じで、ちょっと1回、頭の整理がつかない。はい。ちょっとお答え 申し上げます。補足です。
0:22:05	言われるように全部大脳をよく値見せろっていうつもりはないんですけ ど、

0:22:11	基準、
0:22:13	技術基準要求は、また固縛ツジ期通常搬送の能力を有すると。
0:22:21	ということと、停止した時に保持。
0:22:24	ということなんですね。
0:22:26	停止したとき、だからそのときの先ほど言った慣性力があってですよ。
0:22:33	それを保持できるだけの強度ありますかと。
0:22:37	ということは、条文適合からするとってもらわないとっていうところがあるんですよ。
0:22:43	これまで説明していたかどうか。
0:22:47	実用炉の審査をしていた私からする。
0:22:51	ぐらいをする。
0:22:53	で、
0:22:54	主に代表でいうと、固定費とか、
0:22:59	こちら辺で、これは十分でしょ。
0:23:02	オーダー違いますよぐらい。
0:23:04	てますよっていう。
0:23:05	結果になるような気もしますけど。
0:23:08	ものによっては、
0:23:09	押さえるのは厳しいところは、それなりの、
0:23:12	締結するような気もしますので、
0:23:17	で、
0:23:18	そこで代表できるのっていう説明をナカしていただいているはずなんです。
0:23:28	であれば他の部分はそれ以上の興味持ってるのは真面目だし、というように、
0:23:34	設工認ではそんな説明する必要ないんですよ。
0:23:39	また、メーカーなり、何か設計しているプロセス。
0:23:43	その逆さまになるようなことで聞いてるんでしょというのでいいと思うんですけど。
0:23:48	本当
0:23:50	整理してもらえればなど。で、
0:23:53	通常発想のフクイについては、
0:23:55	そういう荷重がかかるのかどうかちゅうようなこと、その停止時の荷重以上かかるのかどうかと。
0:24:01	ようなところでかからなければ
0:24:03	そこで包含される。
0:24:05	C、

0:24:08	あとはモーター云々という話がバラツというので、説明がつけばそれでいい。
0:24:14	ちょっと整理をしてください。そうすると、少なくとも今回説明するというように、定格荷重の設定根拠とは別なので、はい。
0:24:26	そちらに振りますっていうことになればいいかな。はい。そこら辺で今回の中期を、
0:24:34	書き換えてくるにあたって
0:24:37	意識して、
0:24:38	修正いただければ、
0:24:41	はい、入院してございますと全体として説明すること、あとはこの
0:24:47	設定昆としての搬送要領として、プラントで整理をして、ここでの説明範囲に、
0:24:55	別のところに古いものは何かということを確認にする。
0:24:59	修正を伺えます。はい。
0:25:05	はい。
0:25:13	サイトウオカです。成長から、
0:25:20	じゃ、特にないようでしたら次の議題、今後の進め方の方に移りたいと。
0:25:25	今現在の方から説明お願いします。
0:25:28	はい。上西。
0:25:30	はい。
0:25:32	今後の進め方、例えば、
0:25:38	えーっと、
0:25:39	審査会合の案件は、今回、
0:25:45	まず適正グループ1の評価目標ですね、評価のところは先ほどの記載の拡充とあわせて、同じように、ちょっと2段に分けてる理由がもうちょっとわかるように、
0:25:55	今後修正していきたいと思います。
0:25:59	はい。あとは、3.1 から具体の話になりますが、
0:26:07	2 ページ目の、
0:26:09	最初、2 番目の丸のところ、
0:26:14	えっと、
0:26:16	具体的
0:26:17	な意見。
0:26:24	ずっと行きますけども、最初のディー・ディー・エスの設定項目ということで、
0:26:32	うん。
0:26:38	ですので、

0:26:58	あとは市橋藤。
0:27:01	本日、比嘉踏まえて、また、
0:27:04	館。
0:27:14	でも、
0:27:21	次に、本日の費用で説明差し上げて、
0:27:26	ものですがこれらの
0:27:28	引き続きちょっと対応が必要だという認識で、
0:27:31	当然ながら、
0:27:32	やってるところです。
0:27:35	あと共通の資料 3 につきましては、昨日、部屋を
0:27:40	さして、表を受けさせていただきましたが、むしろさんだけじゃなくてですねその上流からマウス、そもそものところの記載がといったところも含めて、もう靴の大きさも含めてですけども、
0:27:51	直さないといけないというところで、今現状考えていますのは、
0:27:56	ものとして出すタイミングとしては 3 月 4 日ということを考えているんですが、
0:28:01	我々がちゃんと問題意識を認識しているか同様な方向でいくのかといったところについては、一度その前にご説明する必要があるのではないかと思います、2 月 28 日に、
0:28:13	部屋を入れるということを今考えているところでございます。
0:28:19	次回の審査会合というのを前から書いてますけれども、
0:28:23	前回一式まとめて、
0:28:26	一度提示させていただくというようなことを、資料 1 から 3 までという話を前回の進め方ヒアリングでは差し上げていたんですけども、
0:28:34	ちょっと今のあの状態です、全部固めてっていうところは非常にちょっと、
0:28:41	厳しいかなという認識に立っております、
0:28:44	自治会審査会合、
0:28:48	終わった後になるのかなというふうに考えてまして、何とか 3 月末に、説明グループ市全体に関わる構造等の設計について、
0:28:57	それまでにはちょっと代表例っていう形で、
0:29:00	部隊の中で何とか説明できるような形にしたいということで、ちょっとまた別紙設定の方に書かせていただいておりますけれども、そこに
0:29:10	スケジュールを見させていただいてると。
0:29:13	いった状況です。概略としましては以上になります。
0:29:19	いいですか。

0:29:20	はい。日本原燃の高井でございます。説明グループ2の方の構造設計等の説明につきましては、今回ですね記載の方は整理修正というところはさせていただいてないんですが、
0:29:33	前回ですね今後のヒアリングについてはですね、適切なタイミングでというところできちんと見直しをという形で
0:29:41	コメントをいただいております。図全体の説明につきましては設計項目の整理というところで、特にですねDBSAの方の要求事項の紐づけというところも、
0:29:53	含めてですねグループ1の整理と同様にですね、水化学薬品についてもやっぺいこうというふうに思っております。そちらの方はですね先ほどのアノセガワサンポ、
0:30:04	やりとりというところも踏まえてですね別部隊でですね、資料の作成をして、準備をしていきたいなというふうに考えております。そのためですね今現時点ではちょっと3月7日の提出資料というところで置かしていただいているというのが状況でございます。
0:30:20	あと全体に関しましてはですね代表の考え方とかDBのSAの設計項目の整理というところも全部含めてですね一応3月末目標でですね
0:30:30	説明グループ2というところの構造設計等をまとめていきたいと考えております。個別項目の具体的な説明というところでこれまでやってきたヒアリングでの内容ということもあります、
0:30:42	ここも含めてですねこの共通12の資料2からの3というところの流れを踏まえてですね、どういった設計方針やっていくかっていうところ。
0:30:52	一連でのご説明というところが良いのかなというふうに考えておりますので、そこは共通12の提出のタイミングというところに合わせてですね、ご説明をしていきたいなというふうに思っております。
0:31:04	今回ちょっと記載を修正できておらず申し訳ございませんが、総棟を耐震に向けて修正させていただきたいと考えております。以上でございます。
0:31:21	うん。
0:31:22	来週の審査会合収益は来週の月曜日提出して火曜日のヒアリング
0:31:27	をして、
0:31:28	修正後、重ねていく。
0:31:30	脳死評価パターン3も今日のヒアリングを踏まえて、
0:31:38	まずは審査会合資料として評価パターン(3)はジョイントしている提出会議だということで、
0:31:51	ござい
0:31:54	充填

0:31:55	の記載のままでございます。
0:31:57	で、次回会合披露に向けたスケジュールはもうここは割愛させていただきまして、衛藤、この後ですね次回会合資料に向けた表というのを、これ、
0:32:09	今回下線で加えております。ここはですねこの議会看護師の際にですね、
0:32:17	基本地盤モデルがある程度きつい
0:32:21	したことを前提としたときに、こういう形になるかなという形でお示しておりますけれども、本日もいろいろとコメントもいただいておりますし、次回会合でですね、
0:32:32	基本基盤モデルがそこそこいいというような形になるかどうかというのは、もちろん我々もそれを横断するものではないんですけれども、もしもそういう形でモデルがある程度ということになりましたらば、
0:32:48	その次はその基本モデルに基づく入力地震動の算定になって参ります。こうなりますと、かなりのデータをご提示することになりますので、
0:33:00	このですね周辺施設にこれ中央の位置ですけれども、このグループにつきまして、先行してデータをお出ししたいというふうに思っております、
0:33:11	これを、私、建物 08 と、それからその次の介護説明の骨子案という形で、次回会合の翌週末であります 3 月 8 日にご提出してその翌週に常盤いただくと。
0:33:25	というようなことを考えているということでございます。
0:33:30	この先ですね、じゃあ全部出るのはいつになるんだと、ということなんですけれども、仮にですねこの 2 月末で、ある程度どういうモデルが、我々、
0:33:43	確証が持てた場合ですと、そこから作業いたしますと、今、最初の我々のオオモトとしては 4 月の 10 日、
0:33:55	頃がすべてのデータがお出しできるタイミングかなというふうに思惑を持っているところでございます。最後口頭になりましたけども、以上でございます。
0:34:09	はい。
0:34:14	サイトウはです。
0:34:26	うんこ。
0:34:33	までで、何か確認事項等ありますでしょうか。
0:34:48	なるほど。
0:34:51	全体的なところ、
0:34:53	構造設計等が、比率というのが、
0:34:58	ありますでしょうか。

0:35:01	規制庁の荒井ですけど。
0:35:04	代表例を、
0:35:06	今後、次回の会合で示すというのは、2 ポツの最初の再処理廃棄物説明グループ 1 のところを書いてあるんですけど、
0:35:16	代表例っていうのは、昨日言ってた雛形。
0:35:21	ということなんですか。
0:35:25	はい日本原燃の首藤でございます。
0:35:29	昨日言ってたしなかった。
0:35:32	もちろん、設備は違うんですが、代表例ということで、一部になりますので、
0:35:39	雛形で作っていったものを、
0:35:43	出していくということ。
0:35:45	とあと、設備ふやせばいいんですけどもその辺
0:35:49	ちょっと
0:35:50	進捗に合わせてですね、
0:35:53	確定していきたいんですけども、
0:35:55	少なくとも昨日お出ししたの間接来というようなものではなくてですね、もう少し、
0:36:03	前、雛形というのにふさわしい全体を認め、見渡せる設備を少しでも選んだ形でお出ししたいというふうに考えているものでございます。
0:36:14	規制庁の荒井ですけど、ちょっと代表っていう言葉の使い方があれかもしれないですけど、こんこのあと別添 2 で出てくる、代表の視点を織り込ん
0:36:27	だ、
0:36:28	ものであり、かつ、
0:36:32	どういう資料なるんですかね資料 3 ももどきみたいなやつになるんですか。
0:36:38	日本原燃の石黒でございます。
0:36:41	資料 3、
0:36:43	だけですと、上流からの整理が全く見えない形になりますので、この代表例に関わる部分については、
0:36:53	資料 2。
0:36:54	3-13-2 と、
0:36:56	ちょっと 4 は含まれませんが、関連する箇所につきましては合わせてお出しするというふうな認識はしております。
0:37:06	はい、おりました。それで 2 月 28 日って何をするんですか。
0:37:12	具体的に、



0:37:14	そうですね日本原燃の首藤でございます。
0:37:17	この段階ではちょっとまた資料はお出しできないかなというふうに思っていて、
0:37:22	ちょっと
0:37:26	ヒアリング、
0:37:28	に振るほどの内容かどうかっていったところはあるのかもしれないんですが、考えていることにつきましてはですね、ガイド呉をですね、読んでるにもかかわらず、
0:37:40	なかなか資料ができ上がらないといったところ。
0:37:43	我々何なりに分析なりですね、プロセスを変えていかないといけないのかなといったところを考慮しております、いきなり3月4日に資料を出して、
0:37:54	これじゃ駄目だっていうことに、
0:37:56	ならないようにもですね、今のその時の取り組みを一度ちょっとご説明する機会を、を設けた方がいいんじゃないかと。
0:38:05	いうふうに考えて、設定しようとしているものになります。
0:38:09	なので、はい。すいません。
0:38:12	何で来、今まさに今やってるような取り組み、28日までにですね、この時点での、どういったことをしてどういった声かけをして、
0:38:23	展開させてっていうふうなことをしようとしているかといったところを、1度ご説明する機会をいただきたいなというふうに思った次第でございます以上です。
0:38:34	規制庁の荒井ですけど。
0:38:36	取り組み方針の話ってというのは、作業の更新状況等を合わせて、説明できるようにっていうところは昨日の話でもあったのかなとは思いますが、
0:38:48	そもそも代表例ってというのは、どういった目的で、何を示したいのかっていうのが決まっていなくて、その取り組みのやり方ってものを、どうやって人動かすかとか、
0:39:00	そういうところまで、
0:39:02	細かく配慮しないとですね、うまくまとまっていけないんじゃないのかなあと思っていて、昨日のヒアリングのようなことがあると。
0:39:12	あんまり全く意味のない形になってしまうので、
0:39:16	2月28日に設定するのであれば、しっかりとヒアリングの、
0:39:22	目的とかですね、示し、示してですね、そのあとの代表例の提出に向けて、
0:39:29	どう、

0:39:31	作業を進めているのかっていうのをしっかり説明できるようにしていただければと思いますけど。
0:39:37	何かこの進め方の飛アノ代表の視点とかいろいろ入ってる部分とか見ると進め方の中で今こうやってる形で説明してもらえばいいのかなと思ったんですけど、わざわざ個別にヒラタてる意味もないのかなと思ったので、
0:39:51	確認した次第です。以上です。
0:39:56	はい。日本原燃の首藤でございます。おっしゃるように、今日この場で、今後の見通しも含めて、すべて説明できるのが理想。
0:40:07	だと思うんですけども、その辺、その辺少し、こちらの準備も至らないところもありまして、改めて
0:40:16	こちらの準備説明させていただくつもりではいるんですけども、
0:40:19	実際は、
0:40:22	が必要かどうかっていったところも含めて
0:40:26	検討したいと思うんですがぜひちょっとやらせていただきたいというふうには考えているところです。以上です。
0:40:32	はい。
0:40:33	野中。
0:40:36	何をやり、
0:40:40	サンワドー、
0:40:40	ヒアリング申し込んでも、
0:40:42	何やってんのかなみたいな話になるようなので、
0:40:46	これ繰り返すと、本当に何も進まなかった。
0:40:52	私からは以上です。
0:40:55	規制庁岡です。関連してなんですので次回審査会合では、
0:41:03	はい。
0:41:04	夫馬。
0:41:08	ていようなスケジュールですが、
0:41:13	3月末に提出されるものは、今、今日もやったような、PSAの話とかも全部入れて、
0:41:22	グループ1の完成版がこう提示されるっていう
0:41:28	4名のイシグロでございます。
0:41:30	その理解をしておりますその認識です。
0:41:33	はい。店長。
0:41:34	わかりました。あと、
0:41:37	2、
0:41:38	次の会合にかけたらくらい。

0:41:41	の、
0:41:43	管理で今進めて計画されていることです。
0:41:47	日本原燃首藤する。そうですねはい。3月の次の会合で、全体のその構造の部分について、
0:41:54	説明していきたいというふうに考えてございます。
0:41:58	はい。清長官知事会。
0:42:00	介護、3末に、今、希望出されてるところでやる会合に関してはもうそのサンプル的なものを使って、
0:42:10	こういう関西どうであってこういう取り組みをしてますとかそういうことが話されるということで、
0:42:17	日本原燃石黒でございます。
0:42:19	そうですね
0:42:23	ちょっとここで言葉が、この
0:42:25	私いただいた
0:42:27	別添1の日本語の2のところその辺、今まさに、
0:42:32	話しているようなところを、
0:42:35	表にしているので、おそらくこれを説明させていただいて、下の方がちょっとしたらいいのかなと思ったんですけども。
0:42:44	よろしければもう、
0:42:54	この吹き出しは今、
0:42:57	今の考えではある、あるってあるんです。
0:43:00	ちょっとそこがすいません、説明が要るところかなというふうに思っております、
0:43:05	3月、こちらの2月3月4月と書いて左側の項目っていうのは、基本的に書いてないんですが、左側のところの項目って言うところで、
0:43:16	共通中に説明グループ1作成って太字になってるところを前回、一部というふうにしたものを代表例というような表現に少し変えさせていただいております。
0:43:26	ただですね、
0:43:30	大きく変わってるのはこの3月のところで、一式提出を確か3月13かぐらいの費用ですね、記載していたというのが前回の進め方冷やで示していたものでございまして、
0:43:45	に28日に、ちょっと現代でしっかりと認識発生してからであります、方向性を示させていただいた上でですね、
0:43:54	スケジュールで考えて3月4日に、
0:43:58	資料23で
0:44:04	1回シズナルと思うんですけども、

0:44:06	資料提示とヒアリングをさせていただくと、
0:44:11	そこではですね中身の程度というところもあると思うん記載の程度といったような、できる出来栄の話といたしますかですね、その記載の中身の話もあると思うんですけれども、
0:44:22	もし可能であればですね、ナカノセトキシノ説明といったところも含めた形で、3月20日15回のヒアリングの中で、
0:44:32	お話をさせて、
0:44:35	いただくことができればですね、この3月22の会合希望と言ってるところで、説明スタンスというところは、前回と変えてはないんですけれども、
0:44:44	ちょっとこの代表設備という言い方がですね、少し精査が要るかなと思うんですけれども、
0:44:52	一部、設備のその構造について説明を開始しているといったような、
0:44:58	ステータスで、スタンスで説明したいというのが、こちらの希望という形になります。
0:45:07	下の方にですね、共通中に説明グループ左の方ですが、代表設備すべてという形に書いてますが、こちらについては先ほどお話をさせていただいたように、DBSA、
0:45:18	能アノ整備とか代表選定の考え方も含めた形で、3月末に提出させていただいて、4月からは、具体的な構造設計について、
0:45:30	説明させていただくと。
0:45:31	言ったようなフェーズに入る。
0:45:34	いうことを
0:45:35	念頭に記載させていただいております。ちょっと4月以降の会合については、特段ここに合う示しではないんですけれども、
0:45:43	この構造設計について、4月以降の審査会合の中で、ご説明したいと。
0:45:48	いうふうに考えているところでございます。
0:45:52	先生の4分の2の資料につき、説明は以上になります。
0:45:55	10日です。とりあえず考え。
0:45:58	ましたが、衛藤。
0:46:00	3月のスケジュールがかなりタイトに組まれているイメージを持っています、
0:46:07	エントリーヒアリングまでの間も短いですし、最後の提出カーカノウシマ会ご希望のフクマでの、
0:46:17	でも相当短いんですが、
0:46:20	これは伊波衛藤、今の考えられている資料構成案等から考えても、リアリティがあるものになってるんでしょうか。

0:46:31	日本原燃の首藤でございます。
0:46:34	確かに、非常にタイト。
0:46:38	という認識は、
0:46:40	ございます。
0:46:42	ちょっとチャレンジ的な中身だというふうには思いつつも、
0:46:49	会合までに、
0:46:51	何とか2回ヒアリングをさせていただいてっていうところを考えると、
0:46:57	かなりキツキツであるんですけども、
0:47:00	ぎりぎりのところかなというところで、
0:47:03	すみません、だから、できるのかっていう答えに、質問に対して明確な答えになってないのはちょっと認識してるんですけども。
0:47:11	このコウで刺し、
0:47:12	いただきたいなという意識を、
0:47:14	しております。できるだけ、
0:47:18	3月4日の提出物でしっかり判断していかないといけないなと思うんですが、
0:47:25	しっかりこちらで
0:47:29	検討資料、
0:47:30	の
0:47:33	上流からの
0:47:35	整理も含めてですね、しっかりしたものをお出しさせていただくということが前提になると。
0:47:40	ということにはなるかと思えます。以上です。
0:47:43	規制庁、
0:47:44	とりあえず、はい。事業者の考えと理解しました。
0:47:51	越冬
0:47:52	最初のグループ1に関して僕は規制庁の方からあります。
0:48:01	あとは迫です。
0:48:06	代表の話をちゃんとしないと。
0:48:10	具体、どうしていくのかわからないので、
0:48:16	それを踏まえてと言いい。
0:48:18	いう感じではあるんですけど、今ので説明は、
0:48:22	の話。
0:48:26	はい。
0:48:27	じゃあ、そうさせていただきますとしか。
0:48:30	ないかなっていう、
0:48:34	はい。

0:48:35	大岡です。
0:48:41	ですが、
0:48:45	Aとの審査会合に向けて、
0:48:48	陽圧ニワアノ。
0:48:55	の関係はもっと検討して、今、受け皿の設計とか、これをやっていますが、増益の考え方、漏えい
0:49:05	位の間、適用の考え方を、
0:49:08	今週のヒアリングでいろいろ調整しながら、ある程度、考え方がまとまってきた方向性がまとまってきたところなんですけど、今の再処理の水はそこをフォローして、
0:49:19	今の考え方がそれに沿っているっていうことは確認されてますでしょ。
0:49:25	はい。日本原燃の高井でございます。
0:49:29	ヒアリングというところではすいません傍聴してる者もいたんですが、金戸できていなかったというふうに認識してますそれを受けてですねきちんと
0:49:40	今、反映でフォローできてるかっていうところについては、十分にはできてるとは思っていないので、ちょっと今後もですね、特にMOX側での、その概要というところをフォローしていきたいなど。
0:49:53	いうふうに考えているという状況でございます。以上です。
0:49:57	はい。いろんなことが議論されてましたので、その考え方を事業者として、
0:50:05	統一的に実施していただきたいところで、
0:50:08	ところはしっかりステアリングチーム員としても、
0:50:14	実際に実施されてる方々もしっかり把握して、自分たちの設定と同じかということを確認いただければと思います。
0:50:23	はい。日本原燃の高井でございます承知いたしました。
0:50:26	溢水関係もあります。
0:50:30	にないようでしたら、古作です。
0:50:35	スケジュール見直しというのはよくわかんないんですけど、
0:50:37	結局、
0:50:38	SA、DBですよ。
0:50:41	溢水一緒にやるつもりはない。
0:50:49	日本原燃の高谷でございます。
0:50:52	今、最初にグループ1の整理に合わせてやっております。
0:50:58	すいません書き方として、提出時期がずれてしまっていて書いていますので今、現時点でこの先ほどの別表も含めてですね合わせて、
0:51:10	やらせていただく方向で調整したいと思います。

0:51:13	以上でございます。
0:51:17	はい。補足です。少なくとも溢水は、
0:51:21	やってもらわないと議論が収束しないと思って、
0:51:27	網羅的にやるかどうかはちょっと、
0:51:31	もう一つとして、ポイントになるところはやってください。
0:51:34	はい。日本原燃高でございます。
0:51:37	これはアトベさんそれ、そう言ってたはずなのに、これを見直してないっていうのは高屋さんはどういう認識で、
0:51:44	仕事をしている。
0:51:47	はい。日本原燃の高谷でございます。ここで書いているところとしては作業として検討としてはですね同時にやっていくっていうところで、
0:51:56	なくていいんですが
0:52:00	私の認識不足というか物物量を考えてですね。
0:52:05	新アリタから物量を考えて全部はできないんだったら、どういうふうに進めるのかっていうのを整理をして、ここでこういうふうに進めて、ヒアリングで話をしていきたいと、共有する場。
0:52:17	なはずですよ。はい。その時にその話ができるようなメモにしないで、
0:52:22	臨んできてるっていうことはどういうことですか。
0:52:25	はい。日本原燃高屋でございます。はい。そこを
0:52:29	今後どう品、そうですねポイントでもしっかりと議論できるようにというところで、
0:52:34	そこを修正できてないところにつきましては、
0:52:38	そうですね、私の頭の整理とかそういうところの不足だったと思いますんで今後はきちんとそこを整理した上でですね、記載をさせていただきたいと思います。
0:52:48	はい。トダテですよろしくお願いします。
0:52:50	原燃のそれぞれの担当者は、何らか文字なり変わったことがないと、変えなくていいんだとしか思わないんですよ。
0:52:59	これまでも私もなんか、残念ながら、
0:53:02	4年半以上つき合いをしていてですね。
0:53:07	ズーっと思うことですが、文章に表していき、今日もそうでしたけど、文章で書いていることと違うことを、
0:53:14	自分たちで書いている文章にもかかわらず、違うことをやっていて平気で説明をする。
0:53:20	言われないと違ったことをやってるって、気づかないっていうぐらいの人たちだから、
0:53:26	文字で書かなきゃ本当にわかんないですよ。

0:53:29	ちゃんとそういうところまで明確にしてコミュニケーションをとる。
0:53:33	いうことを徹底してください。
0:53:40	他ないようでしたら、
0:53:44	とあります。
0:53:50	の関係で、
0:53:52	一番困ってきて、
0:54:00	はい。
0:54:03	葛西説明グループの構造の方も、今並行して採用して、
0:54:08	すいません私のチェック一瞬ぐらいできてないんで、
0:54:14	普通だと。
0:54:15	あと 20 分ぐらい。
0:54:17	わかっていると思うんです。ただ前回もちょっとお話ししました。グループ 1 の後にグループ 2 が出てきたときに、そのそれぞれの相関をどうしようかみたいなことが作りながら、作業者と話をして、
0:54:29	積み上げてきているので、ある程度の形に持って行っていくっていうのは、今、
0:54:34	はい。
0:54:35	はい、わかりましたマター、何か見えてきたらこの進め方、
0:54:41	反映いただければと。
0:54:43	コサクです。それで言うと、
0:54:46	6 ページ見ると、
0:54:48	最初のグループ 1、
0:54:49	出します。
0:54:52	いるので、
0:54:56	すけど、
0:54:57	3 月末はないよねって思うと、
0:54:59	もっと言ってた 3 月 14 日とか、
0:55:03	するんですけど、
0:55:05	どんな感じですね。はい、西田でございます。
0:55:10	はい。
0:55:11	9
0:55:12	もともとこれ書きちゃうと、私たちは行けるようになります。はい。
0:55:17	もともとすいません評価がずれてきて、ずっと言ってますけど、もともとは 1 月ぐらいに耐水決めて作ったやつなので、重いのかな。
0:55:28	ないんである程度のレベルにちゃんと仕上げてから出したいというのは、もともと持って、
0:55:35	合わせなり、



0:55:36	はい。はい。補足ですどちらかっていうと
0:55:40	MOX外傷差分ということですが、
0:55:45	先行して、
0:55:46	やったっていいぐらいだと思うので、あれば出していただいとていうふうには思い
0:55:53	合わせて、ちょっと先走っちゃうかもしれないですけど、6 ページ。
0:56:00	ものが見直したとか見直し大学がいまいちよくわかんない。
0:56:06	ですけど、
0:56:09	何を考えてるか説明してもらって、
0:56:12	はい。西田。
0:56:14	前回、何本も
0:56:18	独立したヒアリングを並べてやっても物理的に無理ですよ。
0:56:23	ただとは言えということで、差分としてやると言ってるものがどういう位置付けなのかって考えたときに、最初に廃棄物のグループ説明グループ 1 の構造で会社をやりますと、
0:56:34	その一部の差分が、MOX説明グループ 2 の外傷に入っている。
0:56:40	その差分の説明をすと言いながらも結局は再処理の全体の中であわせて説明していくので、
0:56:47	言い方ですけど、矢印は 1 本に相当しますよねっていうような整理をしているのが現状です。
0:56:54	とはいえまだ個別先行と言っているものと、
0:56:59	が、何でしょう、日本線があるものと、最初に合わせてあります同じ整理ですと言っているものとバラバラあるので、この辺を整合をとりながらも、全体の説明をうまくやっていかなきゃいけないなと思ってます。
0:57:14	その思いを示す図になってない。
0:57:17	はい。
0:57:18	はい。
0:57:19	そうですね。はい。整理をしてください。私が気にしてるのは、その最初リーグループ 1MOXグループ 2 のところではなくて、
0:57:30	その次のグループからが、関連するのが微妙にずれていてだけど、ここは一緒にやった方がいいよねって思ったりすることも、
0:57:39	ある中、それがずれてるのに別のものがまとまってるってなってるのが、議論がとても混乱するよなと思ってるところで、
0:57:49	そう。
0:57:50	ここまで整理していただい
0:57:54	そのためにあれですよ。
0:57:57	再処理の評価、

0:57:59	評価項目リストにして、どういう関係なんだろうっていう作業始めたんですよね。
0:58:05	作業はしたけど結果が伴って何人、作業の意味がない。
0:58:10	ええ。
0:58:12	これを仕上げて、
0:58:14	ドイ、
0:58:22	規制庁からです。仮衛生関係で、あと、SAの話も今日ヒアリングしましたが、
0:58:30	何か一遍時点でスケジュール等あります。
0:58:36	はい、わかりました。DSA関係とかなければ、
0:58:40	瀧川、お願いします。
0:58:45	感じですけど、まず、
0:58:51	節税。
0:58:54	ヒアリングしましたけど、次の会合は大分、
0:58:58	限定的な話。
0:59:00	なんで。うん。
0:59:02	なので、
0:59:03	それはそれとして、次回の説明スケジュール表。
0:59:08	なってますから、
0:59:10	今日の資料でお松末
0:59:12	の
0:59:13	場合によっては来週も何か話をしなきゃいけないっていうこともあると思うので、その
0:59:24	一応、あれですよ 3月の会合では一通り、
0:59:28	という。
0:59:30	ではありつつ、
0:59:32	結構宿題が少ないっていうか、うん。2月が大分軽くなったので、大分残るなど。
0:59:40	そうなってくると、だんだんあれも増えてきたなっていった最初を追いついてきたりしない。
0:59:48	そういうケースではない。
0:59:51	私が入っている。
0:59:53	そういう、何か一緒になっちゃったら、みんな危ない。
0:59:59	期待したい。
1:00:03	古作ですけど、そもそも源さん質問ですけど、
1:00:06	今地盤一生懸命やってますけど、
1:00:09	アマノの人たちって何やってる。

1:00:11	この人たち、
1:00:14	とですねえ。そうですね。それぞれの
1:00:19	説明グループ案内図の下で、その耐震のところの部分の、今んな 2 枚一応チェックしていただいた補足説明資料ですね、この補足説明資料の
1:00:32	今までちょっと抜けたところを穴をいっぱい置いてるっていうのが、今やってるところではあります。で、今、それが現実のところですよ。はい。はい。
1:00:43	何を一生懸命やってるのか、ポイントを合わせるために共通 12 があるんだと思って、それ頑張るぐらいだったらまず共通上に作ってどこが頑張るところがはっきりしてからじゃないかと。
1:00:55	いう気がしてて、だからこそそれやったらもう、柘植くんだけやってる間に追いついてきてて、他のパーツも含めて説明できるから僕らまとめて説明しますよと。
1:01:05	いやいいじゃないかっていうこと。
1:01:07	なんですけど、だからこそ、もう、その大事なときに同席していただいるし、最初の方だって毎回言ってる。
1:01:16	いうこと。
1:01:18	なんですよ。
1:01:20	で、一番終わってなくても聞きますよって言ってるのはそういうことなんだけど、
1:01:26	そのつもりがない。
1:01:27	つもりがないっていうことではないです。でですね。
1:01:35	衛藤。
1:01:36	表も自分の分が来ますと、今なかなか私手が回ってフォローできてないというのがもう正直なところですよ。ちゃんとやらないといけないという認識はあります、やります。以上です。
1:01:47	ものがあると。
1:01:49	友野が今どこまでで、どこまでの差分で、ちょっと追いついていかなきゃいけないかというところのフォローもちょっと多いなど。
1:02:02	コサクですね、業務の進め方みたいな。
1:02:06	今更言ってもあれですけど、
1:02:10	菅。
1:02:10	Steeringチームっていう、いわゆる管理職だと思うんだけど、
1:02:15	管理する人って、状況は常に把握してそうですね、はい。
1:02:19	てその上さまよってたりしたら、是正をするのは毎日の仕事だと。
1:02:25	うん。ですよ。

1:02:27	こっちは良くない。はい。
1:02:31	そういうやり方も含めてのご飯に、はい。
1:02:37	カナイト。
1:02:38	先ほども少し現在してきましたけど、
1:02:41	変わりようがないんです。
1:02:45	でございます。橋場です。ちょっと
1:02:49	赤嶺さんの答えになってるかわからないんですけども、敵対心グループ何をしたいかということですね。
1:02:55	耐震の観点から、代表。
1:03:00	前回もちょっとマトリックスみたいな話になりましたけれども、
1:03:04	機器を並べて評価手法横軸に流れていって、マトリックスも整理されていて、していってですね、どれを代表で説明しに行きたい。
1:03:14	差分はこれで説明したい、整理を今やっていってですね。
1:03:18	共通の資料を作るにあたって、まずそのの、
1:03:23	考え方っていうんですかね、その
1:03:26	大井のダイゴで説明した。
1:03:28	みたいなところをですね、1回ヒアリングしたいな。
1:03:31	というのが今、
1:03:32	最新の状況です。
1:03:35	ちょっとその考え方を合わせた上で、資料作り、また、
1:03:40	すいません。
1:03:41	喜納。
1:03:45	コサクですけど、それで言うと、
1:03:48	グループイシイの状況と一緒に。
1:03:53	榎大社ってのはグループ1と四角にも含めて、全部機器を並べて並べたマトリックス今整理してますので、ちょっと1回ご説明を伺いたいなと。
1:04:09	ん。
1:04:10	ごめんなさい。そうすると、
1:04:11	グループ1のところで代表の説明を、
1:04:14	していきたいというので、28でしたっけ。
1:04:18	言ったのに、
1:04:20	グループ2の、
1:04:24	すいません。
1:04:26	今ちょっとごめんなさい、資料3、3までの資料3、
1:04:32	説明はですね。

1:04:34	こちらで言ってる代表っていう話とですね。うん。あと資料4の観点から って言ったらいいですかね。耐震の観点からの代表もちょっとかみ合わ せない。
1:04:43	いけないというのは、我々の中で思っていますね。
1:04:47	シノ4も視野に入れて、代表を決めていかないといけないってのはそう 思っていますと。
1:04:53	北井書記耐震で、どういった機器を選べばいいのかっていうのは、
1:04:59	彼らちょっと、
1:05:01	整理はしていますね。
1:05:04	中であわせてご説明したいなど。
1:05:08	ちょっとその日がまだ設定できてないんです。
1:05:17	越冬なんだろうな。
1:05:20	補足ですけどこの後の話、プラス28と今書いてある。
1:05:26	ものの、
1:05:28	中で、その考え方は、
1:05:32	グループ23C、
1:05:34	567
1:05:35	含めて、
1:05:36	同じであって、
1:05:39	これでいいですよなんて言われても、いやちゃんと考えてやってくださ いしか言いようがない。
1:05:45	と思うんですけど。
1:05:48	考え方をすぐ原燃としては、そこまで含めてこの考えでいけるねって思 うものを、
1:05:55	今日も出してきているし、次回も出すということだと思ってた。
1:06:01	それでは足りない。
1:06:05	また別部隊。
1:06:13	うん。
1:06:16	宿題が、
1:06:18	ん。
1:06:20	ここで、今回ベップに出ている代表佐渡の整理の、
1:06:25	全体のトリックっていうのは別表で個別にナカヤマ考えなきゃ。
1:06:31	作りましようね。
1:06:33	別表の回収がされない。
1:06:35	かつ、布施一条4号でちょっと外しましたけど、今日評価のところ代 表、グローボックス等代表等で再処理も含めて全体をどうやって代表を 選ぶとか、ちゃんと整理して説明しなきゃいけない。

1:06:47	そういう宿題をもらっている状態で、
1:06:50	それも結局今言ってるおっかない最初にもカゲヤマ合わせて、耐震設計を並べて、どういう、どれが実は網羅できてるかもしれない。
1:07:00	という話が出て、かつ前からずっと個別補足作っていったら、全体の頭の整理として作んなきゃいけないやつは、早めに話を、
1:07:10	いけないって駄目だよなって言ってるやつが正しく、耐震建物 01 とババの代表の選び方みたいなやつ。
1:07:16	なのでその辺のちょっとアノフナツの整理をして、はい。話をしないと駄目かなと思います。すみませんちょっと私よく知ってるかもしれない。
1:07:27	コサクです
1:07:31	結局はあれですね資料 3 とかって思うと、代表なり具体を、
1:07:37	整理、
1:07:38	しないと作りこみが出せるまでにはできなくて、
1:07:45	それですらもうサボってたんじゃないかと思う。なるほど。
1:07:49	ええ。
1:07:50	そこには着手していなくて、今、
1:07:54	決めるべく、
1:07:56	議論をしているところ。
1:07:58	いう状況。
1:07:59	だという状況の理解はします。
1:08:08	はい。規制庁、伴です。
1:08:10	もう、
1:08:12	ところでネックになってるところがあるのかなと思います。
1:08:15	いや、耐震。
1:08:18	野中D。
1:08:19	が遅れてるってそういう状況です。何かの外的な要因ではなくて、自分たちで始めるんだけど、ちょっとまだ行ききれない、そういう状況。
1:08:30	元ヤスダです。私がちょっとマトリックスを見て、説明してもらったのはそれが設立、整理がついたと。
1:08:38	言っていたので、まずちょっとすみません、社内で、それを
1:08:44	つすね。
1:08:47	規制庁、水間アノ、やろうと思えばできるんだったら話をすればよくて、
1:08:54	今まで進め方の中で若干そんな話もありつつ、
1:08:58	何かジャブみたいな訴えたような気はするんだけど、
1:09:02	前の日の夕方出てきて、次の時の保全で、そこって言っちゃうと、結局、
1:09:09	こっちも見ることがなくて、っていうのもあるので、そういう話をしたいんであれば、一応ある程度その時間をとってヒアリングをするとして、

1:09:18	ことでやってくれば、
1:09:21	会合直前の方では、
1:09:23	見えるんで、はい、そういう形で作って、
1:09:29	難しい。
1:09:31	ございます。その中で整理して、
1:09:34	はい、規制庁からですねその前提として、資料1は、
1:09:41	大丈夫です。
1:09:45	抜けてる。
1:09:46	何、何か何やろ。
1:09:53	関係というか、
1:09:53	設備関係置かなければ、
1:09:57	地盤の方ですけど、地盤の方の
1:10:04	何か特段今日の時点で話をすることも、
1:10:07	あんまりないのかなっていう気はします。
1:10:10	結局はあれですよ。
1:10:12	iPhone。
1:10:14	で、
1:10:15	会合でどれぐらいの話になるか。
1:10:18	そこでまた楽と。
1:10:21	はい。
1:10:23	コサクですけど、最後の自治会って、
1:10:27	周辺ヘフジイ地域、
1:10:30	入ってるんだ、どういう。
1:10:32	ワングループなんですね、今日、1グループ。
1:10:37	矢田なんです。
1:10:41	もともとですね、これ書いた時に思惑としては、次回基本地盤まで作って、それに基づいて、入力地震動やっていくんだけど、
1:10:52	その物流的に、3月の末の会合にお出しできるのは、パワーグループぐらいが、物流的にちょっとお出しできる範疇かなというところで、
1:11:04	債権はグループをお出しするっていうお話を、こんなさしていただいていたというところでそういうふうに、大分これはキタニ
1:11:17	それ以外はどうする。
1:11:20	今、全く触れず、
1:11:22	えっとですね、3月末時点では、少なくともグループはこうです、他のものも非常に計算進めていますという、ステータスのご報告になるというふうに考えてますこれが、はい。そもそも、
1:11:37	今回の来週の会合でどうなるか思っていない。

1:11:41	今回の会合でけ、その部分まではけりつくもんだと思ってんのかい。そうですね。これからあればですよ。ある。
1:11:50	うん。
1:11:52	その上で、その先どうすんのっていうのが見えないんだけどそこはどうしても、
1:11:57	のこのニワグループの後ですか、不安グループのグループこれ出るのが08でこれ衛藤3月8日に提出しようとしてるんですけども、残りが追っついて、ご提出できるのが4月10日って今聞いてます。
1:12:11	またちょっと詳細は強制するんですけども、そこで全部お出しして、ご覧いただくっていうような工程にもし2月末で、地盤モデル決まればそういうふうに進められるというそういう、関西なんです。
1:12:23	野崎は、
1:12:26	そこで入力地震動というのがみんな決まってくるので、そのアウトプットが出た時点で、今度は設計への適用の方法を、我々が提案していくっていう形になると思ってます。
1:12:46	それで、社長まで了解取れてるね。
1:12:51	衛藤。そういう工程で、
1:12:55	社協にも説明し続けてきてる。すいませんちょっと。
1:13:01	4月では全然まだ、
1:13:04	地盤モデル持つ、地震動をつくれなければ、そのあと解析し直しの範囲の議論もしてません。
1:13:13	これまでの意見からすると、議論を始めてから、
1:13:17	審査会合方向出るまでに3ヶ月かかりますと。
1:13:21	うん。
1:13:22	夏までは解析し直しの範囲が固まりませんと。
1:13:25	うん。
1:13:27	言っておりますね。
1:13:31	いえ、そういう。そうですね。
1:13:33	ちょっとすいません、そういうスケジュールでいきますと今宣言を原燃として示してますけど、
1:13:41	そうですね、会合でここまで説明しますここで説明しますというのを自然にやるとそうなるねっていうことをおっしゃってるんだと思います。
1:13:51	持ち帰らなさい。
1:13:54	それを線を引いて、
1:13:56	計画を立ててそれに応じた作業計画、
1:14:00	具体的に立てると。
1:14:02	いうのも整理中の仕事だと。



1:14:07	高部さん。
1:14:09	大きなイワイMaaS1 枚。
1:14:12	社内では下降し、
1:14:14	それをまた、
1:14:16	来週、
1:14:17	社内で、
1:14:28	理事会で出てくるので、グループとは、このグループに属している建物、
1:14:35	各建物、
1:14:37	その通りです。
1:14:39	という、
1:14:40	規制庁ですけど、全フロア。
1:14:44	フロアではありません。建物の基礎下での地盤のアウト。
1:14:49	基礎下入力。
1:14:54	前、Ss
1:14:56	前Ss層は、
1:14:59	FsSD、
1:15:01	そうですね、はい、1.2 です。
1:15:04	手にSFも、
1:15:06	今は出す工程にしています。
1:15:09	マニュアルは、
1:15:10	乗って、
1:15:12	時刻歴化する。
1:15:13	すると思うんですけど、
1:15:15	どこにあると思う。
1:15:19	はい。
1:15:20	ちょっとそういうのもわかるようにしといてくれと。
1:15:27	まあ、それ見たら、一体何だ。
1:15:30	今出てる
1:15:32	ミイクラベ。
1:15:33	はい。レベル感は確かにそういう最近の作業みたいなふわっとずっとつけますけど、
1:15:42	カミヤ泉。
1:15:43	個人的に気になるのは、このグループで、
1:15:48	全体の相場感を持ってしまうと間違う。
1:15:51	それはそうですね。はい。全然。それは、いや、わかってる人はわかってるんだけど。はい。わかってない人を見る。

1:15:59	見て。
1:16:00	編入があるから気をつけてね。
1:16:03	はい。ミスリードしないように気をつけたいと思います。
1:16:10	あとはあれですね。
1:16:13	08 の、
1:16:15	日付はあるんだけど、どこまでの話を盛り込んだものの 08 が出せるかっていうのはまた、
1:16:23	お話をして、
1:16:24	あの会合を踏まえてそれに対してのコメント回答もあるので、はい。
1:16:29	それも含めてですけど、これぐらいのものを、08、
1:16:35	次回だともう重油入力地震動の話になってくるんで、
1:16:41	必要、それに必要な補足は
1:16:45	はい。はい。
1:16:50	規制庁側で自分にあります。
1:16:55	特になければ進め、
1:17:00	えっと、
1:17:02	他の間で何か、
1:17:05	ないようですが、ページの別添 2 からお話を、
1:17:09	減圧
1:17:11	はい。
1:17:15	前回の代表値と踏まえて修正。
1:17:22	まだ、
1:17:26	添付 1 のわからこれでいいと思ってるわけではありません。まだちょっと、
1:17:31	多分っていうのが本当に何の差分なのかがわからない比率で書いたりする。
1:17:36	または、まだ工夫が必要だと思ってる以上、
1:17:39	そういうのを前提にはい。8 ページからの方法は、
1:17:43	まず
1:17:46	代表だったりサブを選ばなきゃいけないもの、資料 2-3 資料 4 それぞれ出てきますので、どういうステージに何をやるかということを書いた上で、共通的な考え方として述べられることがちゃんと確保ということで整理をしました。
1:17:59	その上でまた、説明すべき事項と、パターンとの組み合わせ、パターンって何っていうのが書いた上で、それぞれ組み合わせで、
1:18:10	対象となるのが象徴的な場合にはそれぞれの特徴だったり、
1:18:14	その特徴だったり、考えて選びましょう。

1:18:17	あのシステム全体として説明しなきゃいけない場合はその生徒像としての考え方を踏まえた上で、代表のやり方を考えましょうということ。
1:18:25	最初そのものがもともと基本設計方針説明すべき事項で特定されてる場合は、それを代表として説明しましょうということです。
1:18:35	9 ページ目は、あとはさらに代表それぞれ事務室、大森セキ代表をもって説明するという考え方で複数の説明すべき事項を網羅できるものっていうのを見つけに行こう。
1:18:48	あとは代表の説明だったり差分の説明の中では、改造内容だったりも踏まえて、考えましょう。
1:18:56	お伺いします。
1:18:58	こういったことの一つの派生だと思うんですけど、
1:19:05	これ今日のそれこそ、
1:19:07	海田な乾燥設備じゃないですけど、何を選ぶんですかってところが一番厳しいやつはどうなのかっていう、ちょっともうちょっと全体にわたって、どういうものを代表に考えるべきかっていうのをちょっと整理します。はい。
1:19:19	当たり事項として、それぞれの資料からのフィードバックっていうのをお互い考えていかなきゃいけないというようなことも、
1:19:27	考えつつ後は、最初に廃棄物の関係だったり、MOXの関係性も含めて、代表点を選んで、
1:19:35	全部考える。
1:19:36	ということです。はい。
1:19:39	前回お話をしていたそういったものをまずちゃんと見える化しましょうということで、マトリックスを作りつつまず全体が網羅的に見えるマトリックスをつくりながら、
1:19:51	とはいえ、耐震だったり外傷によって一つのものを取ったときに、いろんなことを考えなきゃいけない。
1:19:57	いうことを1枚にまとめてしまうとわけがわからなくなるので、それを別表という形で飛ばしながら、全体を網羅したいなというところ。そのまず大枠の裏の表のつもりで、
1:20:09	10 ページ以降の兵頭添付1で作ってもらったんですが、まず
1:20:15	作ってもらいながら、私がうまくイダできなかったんで、
1:20:20	まず、縦軸が今、代表で選んだものの結果だけが出ているので、これが何の代表として考えられているのかっていう全体のセキュリティの計画が関係がまずわからないというところが、
1:20:30	網羅性がなかったり、抜けが出てんじゃないかという気が。

1:20:35	ということと、あと横軸もですね、ここにどこまで書くかをちょっとセンスよく考えなきゃいけないかなと思っていて、レポートの関係でどう切り上げるかってのがやはり、
1:20:44	ちょっと考えなきゃなというところと、
1:20:48	外傷なんかの竜巻、
1:20:51	ですかね、八丈 36 タテますか。
1:20:54	分け方の構造強度、あと外これぐらいはまだ基本設計しかできながらも、
1:21:01	機器と、さらにまた構造強度ができないですっていろんなところで、重複しちゃってるところがあるので、本当にこういう、
1:21:09	項目が基本設計方針の説明すべき事項から出てくるのかっていうところは精査をしないとイケない。
1:21:15	思ってます。今のディー・ディー・エスへのジョイントの話で、
1:21:20	結局Dと衛星乗員として元のDの設計項目 2、SAが追加で要求を課す場合っていうのは、全体としては同じ枠で話を語らなきゃいけないと思うんですけど、完全に別出してつけたってことで、この辺がちょっとわかりづらくなるかな。
1:21:34	いうところも整理をしないとイケないと思ってます。はい。
1:21:39	ということでまだまだちょっと整理を
1:21:42	していかないといけないんですけど、あとは番号時期ですね今上から、
1:21:47	代表者等の説明対象設備のところに①番とか④番とか⑤番とかって番号がアリマ
1:21:54	アノ。
1:21:56	10 ページの方に本部の代表。
1:21:59	パターン。
1:22:00	これは先ほどの、
1:22:02	本部長に書いてあるパソコン書いてるんですけど、
1:22:05	もともとの本文に
1:22:07	経営にあまりならない項目で書いているものを、平成ナツメて番号を付けると、結果どうなるかは、複数の番号が同じものをいただくというセンスのない結果になるという
1:22:17	ちょっと今後、考えます。はい。
1:22:20	はい。あとは、
1:22:23	確かに。はい。うちの人間について、
1:22:27	あれですけど、
1:22:29	今、
1:22:32	外部火災なんかで今、11 ページに、真ん中辺ですかね。

1:22:36	離隔距離を確保する設計停止分科会セキュリティ。
1:22:40	サカイとか何とって①番⑤番ば並んでる。
1:22:45	もともとこれ、
1:22:48	どちらかという説明すべき。
1:22:50	規定されてる場合、③番ダイレクトで、もともとフクイウツミで本文作ってたので、0105じゃねえだろうっていうところも、本文とマツオカして、
1:23:03	あとはちょっと最後は、
1:23:12	差分が浮いてるところが、
1:23:16	13 ページと、
1:23:19	施設に関する考慮点代表代表寒さ部っていう、
1:23:25	このサブって結局、どこの代表で言ったもの多分の話をしているのかっていうのがわからない。
1:23:31	本当の差分なのかっていうのちょっと気になる。
1:23:34	関係性が、
1:23:35	ちょっと明確じゃないので、結局、今日の共通ジンノ審査会合資料にもあった通り、
1:23:42	何かが代表が行ってさらに、家庭系で差分が出てくる。
1:23:46	その関係性が、このマトリックスでもわかるようになってない。
1:23:50	思ってます。
1:23:52	はい。急ぎちょっとそういう部分も、もう1回見てですね。
1:23:57	修正をしていきたい。
1:24:00	まず早め早くこの
1:24:04	代表の説明グループ1のマトリックスをつくらないと。
1:24:08	作業が今どんどん出せないっていう。
1:24:10	はい。
1:24:13	入れる
1:24:14	はい。
1:24:15	ということなので急ぎ作業を進めまして、
1:24:18	はい。ただ来週どっかでもさ、はい。
1:24:25	すいません。
1:24:27	席を外さなきゃいけないので、
1:24:29	最初に言われた、何の代表かわかんないっていうことと言うと、もともとはその関係するものは全部リストアップしてマルをつけた上で、黒丸が代表ですっていうことだったと思うんですが、何でそうしてねって言ったのが直ってない。
1:24:45	はい。
1:24:49	はい。

1:24:50	はい。はいそうですね。そうですね。
1:24:54	作りまして、関係するものを、
1:24:59	代表以外のですね資格たりするとちょっと見づらくなるかなという
1:25:04	私がちょっと水、
1:25:05	違う作業です。
1:25:07	尾崎です。
1:25:09	今日も会合の資料、余計な配慮で消しちゃって、意味が変わってるよって言われた。
1:25:15	と一緒に、
1:25:16	違うことをした方がいいと思うんだったらまず相談。
1:25:21	して、はい。
1:25:22	四つ安いなり、
1:25:24	別の対処方針があるはずだから、
1:25:27	ちゃんと議論しましょうっていうことじゃないか。
1:25:31	ます。
1:25:32	で、
1:25:34	イマダと白と黒は評価云々ってなってるけど、
1:25:38	現時点で評価配慮っていうのは、その大小の時にあれば、
1:25:42	そういうふうに言ってもらったらよくて、どちらかと中期的なレベルでいい。
1:25:47	ですよ。
1:25:49	ていうところとかが、まだちょっとしっくりきてないので、はい。
1:25:59	に関しては規制庁。
1:26:04	あれ、横軸もさつきを少し整理した方が皆、だけどそんな気がするので、はい。ある程度骨格がわかるような場合において、あと部隊は個別の方で分解します。はい。
1:26:23	です。
1:26:29	と、規制庁の場合ですけど、
1:26:33	最後のマトリックスっていうのは、9 ページ目にそのリード文みたいのが書いてあって、
1:26:43	結局は、これをつく。
1:26:45	何につなげるのかっていうところを説明していただきたいなと思ってるんですけど、これを作って、
1:26:52	はいとっていうのは、資料 3 の結果を、
1:26:57	資料 3 を作るにあたって必要だから、何ですかねまずは。
1:27:02	はい、与儀西田でございます。資料 3 を作成する。
1:27:07	2、これがそう。

1:27:10	要求事項から考えると、代表になるっていうのを整理して渡そうというのがもともとのスタート。
1:27:16	はい。
1:27:17	そしたらあれですかね。
1:27:20	資料3でこれを使いますってなった後に、今回のMOX側で評価のマトリックスが個別に出てきたわけじゃないですか。それとの関係で、
1:27:31	どういうふうに今整理しようと思っているのか教えてもらえますか。はい、西沢でございます。そういう意味でいくと、ボックスは野瀬
1:27:41	設備の機能に着目して分類をもともと設計説明ぶりを立てたので、あまり資料3の入口の段階で、分類額を持ち込まなくても整理ができた。
1:27:54	ターゲットが明確だったということなんですけど今回再処理の場合は、
1:27:58	建物構築物屋外機器配管オクノニ木相神田井な設計説明分類になっている。それと要求事項との関係を紐づけて、
1:28:08	どういうものが代表になればいいのかっていうのを一旦まとめておかないと、
1:28:13	資料2から資料3、資料3を作りながら資料2のフィードバックのところで、あらゆる考え方がふらつくなと思っていてこれを挟むと思います。
1:28:22	はい。そうするとあれですね最初に説明のあった、設計説明分類のマトリックス今見てるんですけど、隣の右側の対象設備って、
1:28:33	どんな考え方でリストアップされたんですかっていうところがあんまり、
1:28:37	明確にならないと。
1:28:39	取ってるなっていうのは印象なんですけど、はい、乳井仁科でございます。多分完全にあの右側の磯で丸ついたやつを左に持ってきてるだけ。今、そうでもない。
1:28:50	縦軸、
1:28:51	配送
1:28:53	から整理をする途中経過、結果を入口に入れ込んだ形になってるから良くわかんなくなるので、そこはちょっと整理します。はい。
1:29:04	はい。
1:29:06	そういう意味だと、ここは、
1:29:10	今日、評価対象設備っていうふうに、資料4ではなかったんですけど、
1:29:17	資料3の説明対象設備っていう形で、今後まとめていくっていうことなんですかね。はい。
1:29:24	わかりました。
1:29:27	あとは、
1:29:30	先ほどの、

1:29:33	1 個前の考え方に戻るんですけど、9 ページ目で、資料 5、資料毎の特有の考え方っていうところに、
1:29:44	今の書いてあるやつっていうのは、見直すっていうことになったんですけど。ございます。先ほど、共通順位の評価パターンの(3)番野瀬アノ設定コウのところで、さんからいただいた
1:29:59	厳しいやつが代表になるパターンばかりかみたいな話もあって、絶対見渡してどういう代表の、
1:30:06	やられる方が評価としてはいえるのかというところを整理をした上で、この特有の事故なり何なりというところかなと思いました。はい。
1:30:15	はい。
1:30:16	もうちょっと具体的に作業してみないとわからない部分が出てくるので、視点としてはもう少し増えるかもしれないってそういう印象ですかね。はい。おっしゃってる。
1:30:28	だと思います。
1:30:29	はい。ただ次の教育と、①から⑤っていうのは、
1:30:35	Wetは、
1:30:37	のいくつかと整合していて、
1:30:41	これは変わりはないっていうイメージで今言います。
1:30:45	はい。
1:30:46	ございます。これがはい。①番から⑤番が、まず変わらないか、変わらないと思いつつも、
1:30:56	この一番から 5 番が並列の関係ではないのが本文の書き方なんですけど、これ完全に並列になってしまっているのだからここはちょっと本文との関係も含めて、是正が必要だと思ってました。
1:31:08	はい。
1:31:09	並列。
1:31:11	数字を振ると並列に見えるってだけなんですよね、多分。はい。
1:31:17	はい。それで代表の視点としては①から⑤のいずれかということで見ると、並列ではないっていうのがわかると思うんですけど。
1:31:25	何か不都合があるんですけど。はい。日本イシハラでございます。そこが理解してこの番号が振られているかってところが注意点
1:31:36	はい。
1:31:37	わかりました。
1:31:42	じゃあ今数字振られてるのって上の考え方には、
1:31:45	数字を振って整合させると、そういうことないんですかね。
1:31:50	2 番目のイシダでございます。はい。ちょっと書き方の工夫かなと思いますし、整合させる上の方と、



1:32:00	上はタダノ丸ポチで別途書いてるだけだと思うんですけど。はい。
1:32:09	要するに、あれなんですよね共通的に資料 2 から資料 4 で使える考え方とかっていうのであれば、最初の共通 12 の本文のところに、
1:32:20	書いておけばそれ引用してきて張りつけるだけっていうのは、できるのかなと思ったので、はい、伊井西原ございます。はい。ありがとうございます。
1:32:28	そうですね本文上番号付けて別にここで改めて番号付けることもないですし、そこのリンケージを図っていけばいいかなと思いますはい。
1:32:38	はい。
1:32:39	いました。
1:32:43	とりあえずは以上です。
1:32:46	10 日です。
1:32:48	今の場面、
1:32:51	ホンダ、これ一対一になって、
1:32:56	うん。
1:32:57	はい。
1:32:59	ございます①番は 8 ページの最初のまず、
1:33:03	ですね。はい。
1:33:06	ただ、
1:33:07	違う。
1:33:09	ニワ丸の次の丸の次の点になっているので、これが 0 と 0 点をどう使い分けというのがもともと本文にあるはずなのに、
1:33:19	番号並列して行ってちょっとやるか。はい。もともと多分、8 ページの一番最初、①にしたら、B が 1-1 とか、ああいうふうにとか、どっちを使ったかになるんだと思うんですが、
1:33:30	そういう、
1:33:46	対象として書いてるものは申請対象。
1:33:52	中で、
1:33:54	三谷綺麗に整理できない。
1:34:03	コウで説明するところにつなげていくのに結構、
1:34:06	大丈夫。
1:34:07	されたものです。
1:34:10	はい。
1:34:12	脇。
1:34:12	今、搬送の設備としてもともとエントリーされてる設備が、
1:34:19	見なきゃいけないポイントが、要領とか、何か防止、
1:34:25	いった正式動いてる、いっぱい数みたいなの。

1:34:29	みたいな話が見るポイントとして入ってくるってところで、多分説明すべき事項が増える。
1:34:36	なんていうかな、そのの整理がうまく取ってれば、
1:34:39	いいとは思いました。はい。そこはこれ部材というは、設備に要求する事項かなと。
1:34:47	あります。
1:34:51	なんか、
1:34:52	まだわかってない。
1:34:55	40、
1:35:05	はい、西原でございますこれ資料1の時点で、おっしゃっていただいて説明しないといけないものを、
1:35:11	施設共通みたいなものも、どこかのセキ設備に紐づけて、
1:35:16	インテージを取るの、いずれかどこかには、落とし込まれると。
1:35:20	考えてますか。はい、そうです。例えば溢水、変化の際の配慮するような実績でしたっけ。リストにある溢水原因になる設備とどこかに全部紐付けてた。
1:35:33	違う。違うさっき、
1:35:37	資料事情は人間について資料1上は
1:35:41	水平になる、いアシダサクライ。
1:35:44	2コウ期から変更点で、
1:35:59	文言いろいろ皆さん、
1:36:07	が多い。
1:36:10	どのぐらい。
1:36:11	ほんで、
1:36:17	吉井ですこちらはまだ今、全体枠の前に、日、次の資料3の別行。
1:36:23	作りイメージとかもちょっと合わせて1回、
1:36:28	まず整理したいなど。
1:36:37	資料3の別表を一つのターゲット。
1:36:40	を絞ってちょっと整理したいなと思ってました。
1:36:47	そうですね。その表現シミズ別表の成果を踏まえて、
1:36:52	この大脇の方のみしかもちょっと調整しなきゃいけないと思ってましたので、
1:36:56	はい。
1:37:01	わかりました。
1:37:08	規制庁カミデですけど、さっき耐震
1:37:11	最初にどうなってるっていうので、資料3のチェックができなくてって言ってた話はこの話と、

1:37:20	いや、一緒だと思いますね。っていうかこれと関係をどうするかってところだけが交通整理できれば別に個別でやってもらおうと思いますけど、はい。
1:37:29	はい、規制庁、津田は、これは、
1:37:32	資料3を作り始め、どれにしようかなっていう。はい。最初の整理っていうこと。はい。
1:37:39	はい。
1:37:42	資料じゃないの。そうですか。はい。そうですね、1年前、タイムズ大した規模ですけど。
1:37:50	これでやるならやる。
1:37:53	ねえ。
1:37:56	これ、今日、今日の話なんでしたっけ。
1:37:59	これの中身が云々という話でもなくて、どこまでの話をやってますっていう状況説明しかかってないですね。はい。
1:38:07	はい。清タマウチです。はい。で、これ、縦軸はどこ。
1:38:14	縦軸というか横軸の設備って、これ以上増える。
1:38:19	うんシミズです。今ですね、まず、オダヤマナカ、書いてあるんですが、説明グループ1の部分。
1:38:27	で今整理しているという。
1:38:30	グループに、この作業をしていくと、はい、タテウチスズエ。
1:38:35	はい。
1:38:36	今、目的は資料3を作り始める。
1:38:42	そのためには、
1:38:46	別グループグループ2が必要。
1:38:49	言わない位置だけで話が。
1:38:52	ニシダでございます。まずは、説明グループ1だけで、走らせようと思ってました。
1:38:59	はい。
1:39:04	代表は、これで足りる方なんかは幾らでも、
1:39:08	C、横軸はパッと見ても耐震でも、なんじゃこれっていう感じも。
1:39:16	うん。
1:39:18	で、
1:39:19	これをまたフラッシュ、次はどうなんでしたっけ、オシドリを埋めた状態でまた話ができる。
1:39:26	はい。
1:39:28	はい。
1:39:30	あまり、今の段階で横軸の項目に返事

1:39:34	いやいやます。
1:39:40	また、
1:39:42	お話ができれば、
1:39:44	いずれにしろ3、
1:39:48	2がいつできたって感じします。
1:39:51	はい、わかりました。カミデです以上です。
1:40:00	規制庁の荒井ですけど、ちょっとまた同じような感じになるんですけど、先ほど、
1:40:06	縦軸の設備の話をさしていただいて、
1:40:10	例えば竜巻なんかで言うと、固縛する対象のものとかもありますよね。
1:40:18	いうところで、
1:40:19	固縛するものの対象っていうのは要するに、評価側で見に行くってことになるんですかね評価側で改めて代表の、
1:40:28	人間
1:40:29	項目の書き方がセンスがいいかどうかは別として、えっとですね、今10ページ側でいくと右側に断面のところ固定固縛のやつ余長あります。これが
1:40:41	竜巻で言う固縛の話だと、いうことだと思ってます。はい。ただちょっと左から受けたときに何を話しているかが途中でよくわからなくなってくるので、
1:40:53	ここは明確にしていきたいと思います。はい。
1:40:57	はい。
1:40:58	固定固縛の話は、竜巻の中ではあるかなと思ってんですけど、そもそも質量とか形状の時点で、
1:41:07	飛ばない資機材っていうのもあると思うんですけどそこってどう拾うん。
1:41:12	はい。イメージでいいますと、日本のニシダでございますそういう意味ではもともとの層厚はゲット。
1:41:20	今竜巻の、
1:41:23	番号で確かに、SN、生理的29番っていう項目が、添付書類でいくと、竜巻で2番目に出てくる、対象設備の選定のところの最後に
1:41:34	固縛の話が出てきて、そこでおっしゃっていただいている。
1:41:37	宿題とかを、設計飛来物以上のものを飛ばさないためにどういうものは固定固縛します。こういうものはそれ以上になりえない人貧乏じゃないから、
1:41:47	固縛対象にしませんみたいな考え方があるんですけどその説明を、
1:41:52	この固定顧客の中で合わせて多分システム設計なんか配置設計の中で、全体説明をしてから、個別の話に入るという流れだと思うので、

1:42:02	ここが
1:42:04	MOXハットリ説明アノ協という9棟、資料2の後に出てくる確か別添だったかちょっと表を忘れましたけど、そこで
1:42:15	基本設計方針等、あとは、
1:42:19	システム設計配置設計、構造設計の流れとの関係での代表の選び方みたいなものをしていているところ、それとの関係もちょっと整理をして、どこまでここに示すべきかは考えます。
1:42:36	はい、規制庁新井です。よろしく申し上げます。要するに設備に着目して代表差分を選ぶっていうのは、ある設工認上の
1:42:46	正しいやり方なのかなとは思んですけどやっぱり、外部事象とか、いろんなハザード部分が入ってくると、そういう固有名詞で表れない部分っていうのは、いろいろ出てきてですねそういうのが、すべからく
1:43:00	捨てるかどうかっていうのは非常に重要なポイントだと思いますので、どこにどう押し込んだかっていう考え方が、今後わかるように示されればいいかなと思います。以上です。
1:43:17	規制庁金光他の社長。
1:43:22	それと先ほど古作調査官もおそらく話そうとしていた、
1:43:26	最初の説明グループ1で出そうとしている代表冷凍庫の、
1:43:31	作業との関係だと思んですが、
1:43:34	その関係で、今何か考えられない。
1:43:39	日本原燃の石黒です。
1:43:41	関係といいますかここで代表に、今、52個ありますけれども、
1:43:47	少なくともこの中から、
1:43:49	出ていくことには当然なると、
1:43:53	まだちょっと社内検討中であるんですけども、
1:44:02	代表で説明する設備というところのこの
1:44:04	丸につくついているものが少しでも多い方がですね、より多くの説明が含まれるというようなメリットがあるかなとは考えているんですが、ちょっとそこまでは、具体的な設備については、
1:44:15	まだちょっと28日には、話ができるかと思うんですけども、
1:44:20	現時点では
1:44:22	ちょっとまだ、はい。検討中という、
1:44:24	思います。
1:44:25	おそらくそういう考え方と結びつけてちゃんと説明、体系立てて説明する
1:44:32	と思いますので、
1:44:34	ビジネスでやはり、
1:44:36	いただいた方が、

1:44:37	いいと思いますので、当分、
1:44:40	会員じゃなくて、
1:44:41	そういう観点で、代表例としての考え方を整理していただいた上で、資料提示をお願いします。
1:44:52	日本原燃千葉でございます。承知しました。
1:44:55	規制庁化ですとか、その前提に立って、国松です。
1:45:01	規制庁管理ですけど、この資料って、スケジュール上だとなんて名前は、
1:45:09	はい。
1:45:10	ございます。
1:45:12	21 と、今後の進め方の資料の後に、こんだけ、
1:45:21	そうね。
1:45:23	使った資料の中に入ってる。
1:45:26	代表選定の考え方。
1:45:31	今単体として名前が出ているものではない。
1:45:36	はい、めいめいさん。はい。そうです。
1:45:41	はい。
1:45:44	そうかそうか。
1:45:47	最後の3項についてスケジュール関連。
1:45:59	野瀬。
1:46:05	1回、最初
1:46:13	日本原燃西浦でございます。
1:46:17	そうですね。この人は、イマイ悦2月27の、
1:46:22	資料提出予定に書いてあるところで書いてあるところですが、
1:46:26	これは、
1:46:27	3月4日に、
1:46:32	代表例って書いてるものが、一番下に提出予定と書いてあるんですが、
1:46:37	これを出すにあたって、今、
1:46:41	どのような考え方で、どのような手法を出そうとしてるかっていうようなプロセスも含めて、プロセスってのはカセアノ、社内的な、すいませんという代表を、どのプロセスで選んだかっていう細かい話をちょっとイメージしてるわけじゃなくて、
1:46:55	社内の
1:46:57	これまでできてなかったところをどうやって脱退できていくようにしていくかといったようなところの話も、ちょっとしておきたいなっていったところが、この

1:47:07	方向性確認の中に含まれているという話なのですが、ちょっと先ほどアノイシハラ。
1:47:13	さんの方もですねちょっと社内でしっかりとその辺認識合わせしてから、やりましょうっていうことところもありましてですね。
1:47:19	発するものについても、もう一度ちょっと、はい。思わせていただきたいと思います
1:47:26	残念ながら資料のイメージが全く分かってすみません。
1:47:34	ました。
1:47:44	コメントありました。
1:47:45	あまり、
1:47:54	いいですけどちょっと
1:47:55	2番のところで言い忘れて
1:47:58	ページ、
1:48:03	経営周辺とか、
1:48:05	ちょっと
1:48:07	いう、勝山。
1:48:12	ばらつきどうするんだっていう話。
1:48:15	ばらつきも含め、突っ込めです。
1:48:18	規制庁その辺、
1:48:20	ばらつきどれ、どうやって設定するみたいな話ってどっか、東、
1:48:25	この時に、一緒にご説明する必要あると思ってます。
1:48:30	規制庁カミデですけど、
1:48:32	それで、駄目じゃんこのばらつきじゃったら全く無駄になっちゃう。
1:48:37	はい。
1:48:39	飯泉ハバサキさんその辺何か懸念あります特に中央だったら大丈夫でしようっていう話なのかもしれないです。
1:48:53	お話中かもしれない。
1:48:56	そこの考え方をご定義する必要があるというのはもう間違いないので、それと結果をお出しする日はちょっと我々の方もよく考えたいと思う。
1:49:05	前からもうハバサキからっていう話なんで、そのあたり結果と一緒にじゃなくて、多分、話をする。
1:49:14	した方がいい。
1:49:15	ですから、はい。
1:49:16	来週
1:49:19	どっかでお話聞けるような、会合資料、
1:49:22	話聞いているし、また話聞いているんですね。はい。
1:49:27	以上です。

1:49:29	その他規制庁から、整体を通して確認であります。だっけ。今日ちょっと施設ヤマグチで並行してヒアリングとかやってたのでちょっと確認なんですけども。
1:49:41	今日やった会合資料のヒアリングの修正版は、一応一式月曜日 26 日月曜日に、
1:49:48	午前中は期間午後ですか。
1:49:51	次の日の午前中にヒアリングを予定してるんですけども、
1:49:55	修正版ということで、月曜日の
1:50:00	いや、夕方までには、
1:50:02	はい。予定通り 27。
1:50:20	それでは本日のヒアリング終了。
1:50:23	うん。